au by KDDI

G'zOne

IS11CA
取扱説明書

IS series

ごあいさつ

このたびは、IS11CAをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

取扱説明書ダウンロード
『取扱説明書』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- ダウンロードした『取扱説明書』(本書)のPDFファイルをIS11CAで表示するには、Quickoffice(▶P.147)をご利用ください。

オンラインマニュアル
auホームページでは、『取扱説明書』(本書)を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
http://www.au.kddi.com/manual/index.html

■For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual
英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版／簡易中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS11CAをご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

au電話をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- IS11CAは国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。

■使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。

本体

保証書

電池パック(CAI11UAA)

microSDHC
メモリカード(試供品)

φ3.5イヤホン延長
ケーブル(試供品)

- 取扱説明書(本書)
- ご使用上の注意
- 設定ガイド
- じぶん銀行サービスガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービスご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- イヤホン
- microUSB-USB変換ケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。
- φ3.5イヤホン延長ケーブル(試供品)、microSDHCメモリカード(試供品)は保証の対象外です。

こんなときは・・・

電話機能

- 折り返し電話をかける（通話履歴） ▶P.73
- 着信音などを鳴らさないようにする（マナーモード） ▶P.154
- 電話に出られないとき（お留守番サービス） ▶P.194
- 着信を拒否したい ▶P.72、▶P.170
- 電話帳へ連絡先を登録する ▶P.78
- 通話中の受話音量を調節する ▶P.70

調べる

- インターネットで調べる（ブラウザ） ▶P.113
- 情報を検索したい（クイック検索ボックス） ▶P.56
- 通信料を確認する（auお客さまサポート） ▶P.112
- 今いる場所の地図を見たい（Google マップ™） ▶P.136
- 近くのお店を知りたい（Google プレイス™） ▶P.138
- 道順を知りたい（Google マップ ナビ™） ▶P.138

メール機能

- Eメールを送受信する ▶P.89、▶P.90
- 撮影したフォトをEメールで送る ▶P.89
- PCメールのアカウントを設定する ▶P.103
- 迷惑メールを防止したい ▶P.96
- PCメールを送受信する ▶P.106
- Cメールを送受信する ▶P.99、▶P.100

映像や音楽を楽しむ

- YouTubeを見る ▶P.139
- フォトやムービーを見る（ギャラリー） ▶P.128
- LISMOで音楽を聴く ▶P.134
- 音楽を聴く ▶P.131
- 音楽ファイルを転送する ▶P.161

映像や音を記録する

フォトを撮る ▶P.121

ムービーを撮る ▶P.125

撮影したフォトやムービーを見る（ギャラリー） ▶P.128

通話中の相手の声を録音する（音声メモ） ▶P.75

音声を録音する（音声レコーダー） ▶P.156

機能設定の変更

各種機能を設定する ▶P.166

メールについて設定する ▶P.94、▶P.103、▶P.110

着信音を変える ▶P.170

ホーム画面の壁紙を変える ▶P.49

ecoモードを設定する ▶P.171

Wi-Fiを利用する ▶P.184

便利な機能を使う

G'zGEAR®を利用する ▶P.142

ニュースと天気予報を見る ▶P.140

電卓で計算する ▶P.160

連絡先を送信（共有）する ▶P.83

アラームを使う（時計） ▶P.159

スケジュールを管理する ▶P.158

もしものときに

ロックNo.やPINコードを変える ▶P.173

ソフトウェア、OSを更新する ▶P.179、▶P.181

microSDメモリカードにエクスポートする ▶P.81、▶P.94、▶P.101、▶P.107、▶P.116

バックアップを設定する ▶P.175

目次

アプリケーション 135

便利な機能..................................... 153

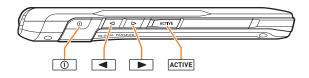
端末設定 165

付録・索引......213

安全上のご注意／防水・防塵のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を次のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く触れて、すぐに指を離す動作です（▶P.44「タッチパネルの使いかた」）。

本書の表記	詳しい操作内容
ホーム画面→ → [1] [4] [1] →	ホーム画面の下部にある をタップします。続けて 、 、 の順にタップして、最後に をタップします。
ホーム画面→ →[設定]→[音]	ホーム画面の下部にある をタップします。続けて、表示されたランチャー画面上で「設定」アイコンをタップして、次に表示された設定メニューの「音」をタップします。
→[アプリの管理]	ディスプレイの下にあるメニューキー（ ）をタップします。続けて、画面下部に表示されたオプションメニューの「アプリの管理」をタップします。

本書でのその他の操作の表記については、「機能利用中の操作」（▶P.45）をご参照ください。

◎本書では「G'zOne IS11CA」を「IS11CA」と表記しています。
◎本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
◎本書では「microSDHC™メモリカード（試供品）」、「microSD™メモリカード（市販品）」、「microSDHC™メモリカード（市販品）」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎本書では、画面が縦表示になっている状態での操作を説明しています（「カメラを利用する」を除く）。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の上下を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

◎地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。

◎本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◎本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。

◎大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■Android マーケット／au one Market／アプリケーションについて

◎アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎IS11CAに搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

◎IS11CAは常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。
このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎IS11CAでのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。（「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。）
また、プランEシンプル／プランEにご加入された場合であっても、Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。（「Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。）

※ Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。（Eメール（XXX@ezweb.ne.jp）はWi-Fi接続でのご利用はできません。）

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

● この「安全上のご注意」にはIS11CAを使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

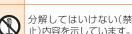
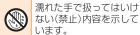
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

区分	説明
⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

図記号	説明	図記号	説明
	行ってはいけない(禁止)内容を示しています。		水に濡らしてはいけない(禁止)内容を示しています。
	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。		必ず実行していただく(強制)内容を示しています。
	濡れた手で扱ってはいけない(禁止)内容を示しています。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ IS11CA本体、au ICカード、電池パック、充電用機器、周辺機器共通

⚠危険　必ず、次の危険事項をお読みになってからご使用ください。

IS11CAに使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブルや変換アダプタ、イヤホン関連機器は必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

外部接続端子やイヤホン端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

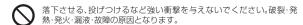
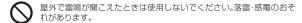
ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS11CAの電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。(おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。)

IS11CAはソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理などをしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS11CAまたはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

警告

必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

IS11CAは防水・防塵性能を有する機種ですが、万一、水などの液体や粉塵が外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーなどからIS11CA本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

IS11CA本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は保証外となり、修理ができません。

外部接続端子やイヤホン端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

IS11CAが落下などにより破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生などには使用しないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

イヤホンなどをIS11CA本体に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

注意

必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込んで窒息したり、傷害などの原因となる場合があります。

湿度の高い場所で使用しないでください。身に着けている場合は汗の付着が故障の原因となる場合があります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたときは使用しないでください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますのでご注意ください。長時間肌に触れたままにしていると、低温やけどになるおそれがあります。

外部から電源が供給されている状態のIS11CA本体・電池パック・指定の充電用機器(別売)に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

金属製のストラップやアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パックの端子、特にコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

電池パックカバーを外したまま使用しないでください。

接続端子にゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

イヤホンなどをIS11CA本体に装着し音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

■IS11CA本体について

⚠警告 **必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内での携帯電話の使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。

※航空機内での携帯電話の使用は、電子機器に影響を与える場合があり、航空機の運行の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用などの禁止行為をした場合は、法律により罰せられることがあります。

IS11CAのディスプレイパネルには強化ガラスを使用しています。破損してしまった場合、破損部でけがをするおそれがあります。万一、破損の際には破損部に手を触れずにauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は携帯電話の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

高精度な電子機器の近くではIS11CAの電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、音楽を聴くときは周囲の安全をご確認ください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

撮影ライト(フラッシュライト)を目に近付けて点灯させないでください。また、撮影ライト(フラッシュライト)点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に撮影ライト(フラッシュライト)を他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車などの運転者に向けて撮影ライト(フラッシュライト)を点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師とご相談ください。

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

⚠注意　必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときにはすぐに使用をやめ、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

IS11CAで使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装カバー（表示側）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装カバー（電池装着側）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外装カバー（側面側）	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池パックカバー	PC-GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ロックノブ（電池パックカバー部）	POM樹脂	—
プロテクタ（メインアンテナ部）	ウレタン樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
プロテクタ（サブアンテナ部）	ウレタン樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
プロテクタ（受話口部）	ウレタン樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ディスプレイパネル	強化ガラス	—
外装ケース（操作側ストラップ部）	PA-GF樹脂	—
イヤホン端子キャップ	PC樹脂／エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ	PC樹脂／エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
受話口カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
送話口カバー	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
サイドキー（電源・音量UP／DOWN・ACTIVE）	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
撮影ライトカバー	PMMA樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
赤外線ポートカバー	PMMA樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
レンズカバー	PMMA樹脂	アクリル系UV硬化処理
レンズ周りカバー（内周側）	PC+ABS樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
レンズリング	PC+ABS樹脂	不連続蒸着＋UV塗装処理
近接／光センサーカバー	PMMA樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
ネジ	ステンレス	クロムメッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びた物を近付けないでください。記録内容が消失される場合があります。

通常は外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり、水などが入り、故障の原因となります。

外部接続端子、イヤホン端子、microSDメモリカードスロットに液体、金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。外部接続端子、イヤホン端子を使用しないときは、ほこりなどが入らないようキャップをお閉めください。

イヤホン（別売）、ハンドストラップなどを持ってIS11CA本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷付いているなど、傷んだストラップは取り付けないでください。

IS11CA本体の吸着物にご注意ください。受話口やスピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口やスピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS11CA本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

IS11CAのBluetooth®機能は日本国内の無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内でご使用ください。IS11CAの無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外で使用すると罰せられることがあります。

microSDメモリカードの取り付けの際は、カードが飛び出すのを防ぐため、急に指を離したりせず、指定の方向にmicroSDメモリカードがロックされるまで押し込んでください。取り外しの際は、同様にロックが解除されるまで押し込んでください。また、顔などを近付けないでください。カードが勢いよく飛び出し、けがや破損の原因となります。

電子コンパスの計測を行う場所により、計測誤差が大きくなるおそれがあります。建物や乗り物の中／永久磁石（磁気ネックレスなど）／高圧線、架線／金属（鉄製の机、ロッカーなど）／家庭用電化製品（テレビ・パソコン・スピーカーなど）の近くでの計測にはご注意ください。

IS11CA本体を永久磁石（磁気ネックレス・バッグの留め金など）／家庭用電化製品（テレビ、スピーカーなど）の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS11CA本体そのものが磁気を帯びたとき（着磁または帯磁と呼びます）は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。

運転中は、電子コンパスを使用しないでください。電子コンパスを使用可能な範囲は日本国内のみとなります。命の危険性に関わるスポーツでのご使用は避けてください。

■電池パックについて

（IS11CAの電池パックはリチウムイオン電池です）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。
なお、リチウムイオン電池の取り扱いについては、本書または電池パック（CAI11UAA）（別売）の取扱説明書をご参照ください。

⚠危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂のおそれがあり危険です。
必ず、次の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックをIS11CA本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂、火災、発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず接続部を十分にご確認ください。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレス・ヘアピン）などと接続端子が触れないように専用ケースに入れてください。電子回路のショートによる火災や故障の原因となる場合があります。（専用ケースは予備電池パックに付属しています。）

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。また、電池パックのラベルをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏みつけたり、破損したり、漏液した電池パックは使用しないでください。発火・発熱・破裂の原因となります。

電池パックは防水・防塵性能を有しておりません。電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を負うおそれがあるのですぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗った後、すぐに医師の診断を受けてください。

漏液したり、異臭がするときは、すぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

■充電用機器について

⚠警告 **誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。**

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 共通ACアダプタ01（別売）；AC100V（日本国内家庭用）
  単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ（別売）；AC100V〜240V
- DCアダプタ（別売）；DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。傷んだ指定の充電用機器（別売）や緩んだコンセントまたはシガーライタソケットは使用しないでください。

共通DCアダプタ01（別売）／共通DCアダプタ03（別売）はヒューズを使用しています。万一、ヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズ（定格1.0A、250V）と交換してください。発熱・発火の原因となります。（ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01（別売）／共通DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。）

指定の充電用機器（別売）の電源コードを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・電子回路のショート・火災の原因となります。

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や電子回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

指定の充電用機器（別売）は防水・防塵性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはすぐに電源プラグを抜いてください。

濡れた手での使用は絶対にしないでください。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。IS11CAが外れたり、火災や故障の原因となります。

指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ01（別売）／共通DCアダプタ03（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

濡れた電池パックを充電しないでください。

IS11CA本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■au ICカードについて

必ず、次の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau ICカードを入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠注意　必ず、次の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au ICカードの取り付け・取り外しの際はご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au ICカードを分解、改造しないでください。
データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au ICカードを濡らさないでください。故障の原因となります。

au ICカードのIC（金属）部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au ICカード保管の際には、直射日光があたる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んで窒息するなどして、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS11CA本体・au ICカード・電池パック・充電用機器・周辺機器共通

- IS11CAは防水・防塵性能を有しておりますが、IS11CA本体内部に水や粉塵を浸入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。
- IS11CAは、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーをしっかり閉じた状態でIPX5(旧JIS保護等級5)相当、IPX8(旧JIS保護等級8)相当の防水性能およびIP5X(JIS保護等級5)相当の防塵性能を有しておりますが、完全な防水・防塵というわけではありません。雨の中や水滴、汚れが付いたままでの電池パックの取り付け/取り外しや、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食したり、故障の原因となります。また、付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れや粉塵の浸入による故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。
  外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
  充電用機器・周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。(周囲温度5℃~35℃、湿度は35%~90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃~40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  IS11CA本体・電池パック・au ICカード(IS11CA本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。掃除の際は強い力を加えて電源端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。また、ほこりなどが付着した場合には、軽く拭きはらってからご使用ください。
- 家庭用電化製品(テレビ、スピーカーなど)をお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ムービー起動中や音声通話中、充電中など、ご使用状況によってはIS11CA本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 電池パックはIS11CAの電源を切ってから取り外してください。
  電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ IS11CA本体について

- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- IS11CAはディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS11CAで使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ポケットおよびかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。また金属などの硬い部材を使用しているストラップは、ディスプレイに触れると傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。

- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS11CA本体が損傷するおそれがあります。
- IS11CAには、お買い上げ時にディスプレイ部に傷防止のためのシートが貼り付けられています。必ずはがしてからお使いください。はがさずにお使いになると画面の確認やタッチ操作に支障があります。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。ガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- IS11CA本体(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS11CAが電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS11CAに登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS11CAに保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、外部接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- ムービー撮影・ブラウザを繰り返し長時間連続動作させた場合や、フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合、IS11CA本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、IS11CA内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データは、メール添付などを利用し個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- IS11CAは不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- 磁石やスピーカー、テレビなど磁力を有する機器に近付けると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- IS11CAは、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられています。ご利用になる方が変更になる場合には、新しくご利用者になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わる場合がありますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- かばんやポケットに入れているときにキーが誤作動しないように、画面ロックを設定しておくことをおすすめします。
- 直射日光など明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- カメラ機能などをご利用の際は、光センサーに指がかからないようにご注意ください。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤作動し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなることがありますのでご注意ください。
- ムービーを起動中に録画サイズを「HD」に設定していると、充電できません。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、画面ロックした状態で収納してください。画面ロックを解除したまま収納すると誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作をしないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護シートや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、IS11CA本体から外し専用ケースに入れて高温多湿を避けて保管してください。（専用ケースは予備電池パックに付属しています。）
- 初めてお使いのときや、長時間使用しなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。）
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 周囲の温度が高いもしくは低いため保護機能が働き、充電できない場合があります。周囲温度が5℃～35℃の場所に置いてください。充電を開始します。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを、電源プラグに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS11CAの故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、その場合、当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかをご確認ください。
- 他人の容貌などをみだりに撮影、公表することは、その人の肖像権などの侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない文字情報の記録には、使用しないでください。

■ microSDメモリカードについて

- microSDメモリカードを本製品に挿入していないときは、microSDメモリカードに関する操作はできません。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードスロットに液体・金属体・燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- microSDメモリカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDメモリカードを利用することができません。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指を傷付ける可能性があります。また、端子付近の本体背面を強く押さないでください。端が破損することがあります。
- 爪ではじいたりするとmicroSDメモリカードが勢いよく飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- microSDメモリカードの端子面に（手や金属で）触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリカードによっては初期化しないと使えないものがあります。本製品で初期化してからご使用ください（▶P.176）。
- 長時間お使いになった後、取り出したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSDメモリカードを幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、けがの原因となります。
- データの読み込み中、書き込み中には振動や衝撃を与えたり、microSDメモリカードを引き抜いたり、電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。データの消失や故障の原因となります。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- microSDメモリカードにラベルなどを貼り付けないでください。

■ 音楽機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は音楽を聴かないでください。自動車、原動機付自転車などの運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく表示に気をとられ事故の原因となります。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン（別売）からの音漏れにご注意ください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様がIS11CAで撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の目的となっている画像を転送することはできません。

■ au ICカードについて

- au ICカードはauからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードは、auショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

- 他のICカードリーダー／ライターなどにau ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
お手入れは柔らかい乾いた布などで拭いてください。
- au ICカードにラベルなどを貼り付けないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。

<IS11CAの記録内容の控え作成のお願い>

- ご自分でIS11CAに登録された内容や、外部からIS11CAに受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え※をお取りください。
IS11CAのメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。

※控え作成の手段
電話帳や音楽データなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信することで、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS11CAをご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS11CAには次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
おサイフケータイ ロック設定	設定方法は、「おサイフケータイ®の機能をロックする」（▶P.156）をご参照ください。
画面ロック	設定方法は、「画面ロックを設定する」（▶P.172）をご参照ください。
UIMカードロック	設定方法は、「UIMカードロックを設定する」（▶P.173）をご参照ください。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。（▶P.173「UIMカードロックを設定する」）

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードをロック」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PIN変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に、PINロック解除コードを入力することでロックを解除して、新しいPINコードを設定できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS11CAが再起動することがあります。
◎「PINコード」は「データの初期化」（▶P.175）を行ってもリセットされません。

防水・防塵・耐衝撃性能のご注意

IS11CAは防水性能と防塵性能、耐衝撃性能を持ち合わせます。

IS11CAは外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーが完全に装着された状態でIPX5(旧JIS保護等級5)※1相当、IPX8(旧JIS保護等級8)※2相当の防水性能およびIP5X(JIS保護等級5)※3相当の防塵性能を有しております。また、日常生活におけるハードな使用にも耐えうる耐衝撃性能(MIL規格準拠※4)を実現しました。(当社試験方法による)

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かにIS11CAを沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

※4 アメリカ国防総省が制定したMIL-STD-810G Method 516.6-Shockに準拠した独自規格において、高さ1.22mから合板(ラワン材)に製品を閉じた状態で26方向で落下させる試験を実施しています。

※ 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をする等、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。また、本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

❶ 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップをしっかり閉じ、電池パックカバーは完全に装着した状態にしてください。

- 完全に閉まっていることで防水・防塵性能が発揮されます。
- 接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。

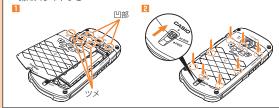
- 手やIS11CAが濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーの開閉は絶対にしないでください。

外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップの閉じかた

キャップのヒンジを収納してから外部接続端子キャップ①、イヤホン端子キャップ②のキャップ全体を指の腹で押し込んでください。
その後に③の矢印の方向になぞり、キャップが浮いていることのないように確実に閉じてください。

電池パックカバーの閉じかた

1 電池パックカバーの上端3箇所のツメを斜めにして本体の凹部へ入れ、電池パックカバーを閉じる

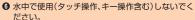
2 電池パックカバーの図中○マーク位置8箇所を確実に押し、電池パックカバー全体に浮きがないことを確認してからバッテリーロックをLOCK側にスライドする

- 電池パックカバーを閉じる際は、電池パックのPULLタブを挟まないようにご注意ください。水や粉塵が浸入する原因となります。
- 電池パックの取り付けかたについては「電池パックを交換する」(▶P.215)をご参照ください。

❷ 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
❸ 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
❹ 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
❺ 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、IS11CA本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

石けん／洗剤／入浴剤　海水

温泉

砂／泥

❻ 水中で使用（タッチ操作、キー操作含む）しないでください。

❼ お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後はIS11CA本体のすき間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。（水がたまったまま持ち運ぶと、水が漏れて服やかばんの中などを濡らすおそれがあります。また、濡れたままですと、音量が小さくなる場合があります。）
- 水抜き後も、内部は濡れています。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。（▶P.28「水に濡れたときの水抜きについて」）
- ディスプレイが汚れていたり汗や水で濡れていると、タッチパネルが誤動作する場合があります。その場合はディスプレイの表面をきれいに拭き取ってください。

■利用シーン別注意事項

『雨の中』：雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます。

- 雨とは、「やや強い雨」の場合。（1時間の雨量が20mm未満まで）
- 雨がかかっている最中、IS11CAに水滴が付いてるとき、または手が濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーの開閉は絶対にしないでください。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

『シャワー』：シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

『洗う』：やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは電池パックカバーをしっかり閉じた状態で、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

『お風呂』：お風呂で使用できます。濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。

- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。防湿設計ではありません。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- ご使用する場所によっては、電波の入りが悪くなることがあります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などにIS11CAを持ち込むときは、IS11CA本体が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

『キッチン』：キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。耐熱設計ではありません。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。

『水面に落とす』：うっかり水面に落としても電話機としての機能を保ちます。

- 水面から1.5m以下の高さより自然落下、水深10cm～50cmを想定しています。

■共通注意事項

- **外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーについて**

  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップはしっかりと閉じ、電池パックカバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップを開閉したり、電池パックカバーを取り外し、取り付ける際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。キャップを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーに劣化・破損があるときは、防水・防塵性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

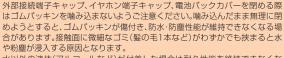
- **海水／洗剤などが付着した場合**

  万一、水以外(海水・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃~35℃)の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、電池パックカバー、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップが開かないように押さえながら手で洗ってください。

- **水に濡れた後は**

  水濡れ後は水抜きをし、電池パックカバーを外さないで、IS11CA本体、電池パックカバーとも乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地ではIS11CA本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。(本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。)

- **ゴムパッキンについて**

  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ周囲のゴムパッキン、本体内部3箇所のゴムパッキン、電池パックカバーのゴムパッキンは、防水・防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。

  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水・防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
  水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
  外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池パックカバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。IS11CA本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が浸入する原因となります。
  防水・防塵性能を維持するため、電池パックカバー、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ部のゴムパッキンは、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。ゴムパッキンの交換については、お近くのauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

- **充電について**

  IS11CA本体が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。

- **防水性能について**

  耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所(蛇口・シャワーなど)でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。また、規定以上の強い水流(6リットル／分以上の水流:例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接当てないでください。IS11CAはIPX5(旧JIS保護等級5)相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
  IS11CAは水に浮きません。

- **耐熱性について**

  熱湯・サウナ・熱風(ドライヤーなど)は使用しないでください。IS11CAは耐熱設計ではありません。

- **衝撃・落下について**

  投げつけたり、無理な落としかたをするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また本体の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。

■水に濡れたときの水抜きについて

IS11CAを水に濡らした場合、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。下記手順で水抜きを行ってください。

❶ IS11CA本体に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ってください。

❷ IS11CAをしっかり持ち、図のように矢印の方向に各20回位振ってください。
※IS11CAを振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。

❸ IS11CAをしっかり持ち、スピーカー部に乾いたタオル・布などに軽く当てながら、図のように矢印の方向に5回位振ってください。

❹ IS11CA内部より出てきた水分を乾いたタオル・布などで拭き取ってください。

❺ サイドキーを乾いたタオル・布などでおおい、各キーを2～3回押します。

❻ 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください。（30分程度）

■充電のときは

付属品、オプション品は防水・防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- IS11CAが濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- IS11CAが濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子キャップを開いてください。
- 充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電の原因となります。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

au電話のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

- **Bluetooth®機能:2.4FH1**
  au電話本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- **無線LAN機能:2.4DS/OF4**
  au電話本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

Bluetooth®についてのお願い

- IS11CAのBluetooth®機能は日本国内の無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■Bluetooth®ご使用上の注意

IS11CAのBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. IS11CAを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11CAと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11CAの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内でご使用ください。IS11CAの無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外で使用すると罰せられることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 近所に複数のアクセスポイントがあったり、電気雑音の影響を受けると、通信などが阻害されることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- Wi-Fi対応の航空機内であってもIS11CAは使用できません。機内モードに設定してから、電源をお切りください。

■無線LANご使用上の注意

IS11CAの無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. IS11CAを使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS11CAと「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11CAの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◎Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

ご利用の準備

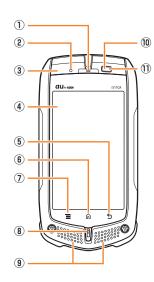
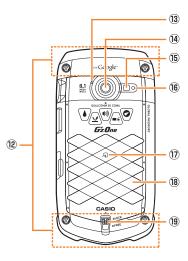
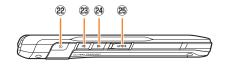
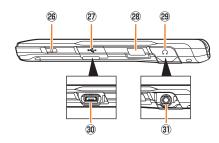
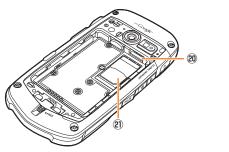
各部の名称と機能

①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
au by KDDI
IS11CA

⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
with Google
8.1 MEGA PIXELS
QUALCOMM 3G CDMA
G'zOne
GLOBAL PASSPORT
CASIO
LOCK
FREE

㉒
㉓
㉔
㉕
ACTIVE
GLOBAL PASSPORT

㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛

⑳
㉑
with Google
GLOBAL PASSPORT
ACTIVE
FREE

① **受話口(レシーバー)**
通話中の相手の声などが聞こえます。

② **温度センサー**
G'zGEAR®で温度を計測するときに使用します。

③ **LEDランプ**
充電中に赤色で点灯します。
着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

④ **ディスプレイ**
IS11CAのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

⑤ **バックキー**
1つ前の画面に戻ります。

⑥ **ホームキー**
ホーム画面を表示するときなどに使用します。

⑦ **メニューキー**
オプションメニューを表示します。

⑧ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。

⑨ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑩ **光センサー**
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑪ **近接センサー**
通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。

⑫ **内蔵アンテナ部**
通話時、インターネット利用時、Wi-Fi利用時、Bluetooth®機能利用時、GPS情報を取得する場合は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください(Bluetooth®機能、無線LAN機能、GPS測位機能は本体上部のみ)。また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話/通信品質が悪くなります。

⑬ **背面マイク**
ハンズフリーで通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。

⑭ **レンズ部(カメラ)**

⑮ **撮影ライト/フラッシュライト**
撮影ライト、フラッシュライト使用時に明るく点灯します。

⑯ **カメラお知らせランプ**
フォト・ムービー起動時、セルフタイマー撮影時に点灯、点滅します。

⑰ **FeliCaマーク**
おサイフケータイ®利用時にこのマークをリーダー/ライターにかざしてください。
FeliCaアンテナは電池パックに内蔵されています。必ずIS11CA専用の電池パックを使用してください。

⑱ **電池パック/カバー**
電池パックの取り外し/取り付けについては、「電池パックを交換する」(▶P.215)をご参照ください。

⑲ **バッテリーロック**

⑳ **microSDメモリカードスロット**

㉑ **au ICカード**
au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.39)をご参照ください。

㉒ **電源キー**
電源ON/OFFやスリープモードの起動/解除に使用します。

㉓ **音量UPキー**
音量をアップします。

㉔ **音量DOWNキー**
音量をダウンします。

㉕ **ACTIVE ACTIVEキー**
長押しすると、Active Slot(初期設定時)を表示します。

㉖ **ストラップ取付口**

㉗ **外部接続端子キャップ**

㉘ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
㉙ **イヤホン端子キャップ**
㉚ **外部接続端子**
microUSBケーブル01（別売）や18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）などの接続時に使用します。
㉛ **イヤホン端子**
イヤホン接続時に使用します。

電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。赤色に点灯していたLEDランプが消灯したら充電完了です。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約240時間（Wi-Fiを利用していないとき）
	約130時間（Wi-Fiを利用しているとき）
連続通話時間	約450分

※日本国内でご利用の場合の時間です。海外でご利用の場合の時間については、「主な仕様」（▶P.223）をご参照ください。

memo

◎充電中、IS11CAと電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。
◎電池パックは、「安全上のご注意」（▶P.12）をよくお読みになってお取り扱いください。
◎カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎指定のACアダプタ（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、電池パックの寿命が短くなります。
◎海外での充電には必ず共通ACアダプタ03（別売）または共通ACアダプタ02（別売）をご使用ください。共通ACアダプタ03（別売）／共通ACアダプタ02（別売）はAC100VからAC240Vまで対応しています。
共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
◎外部接続端子・イヤホン端子キャップは、しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
- Wi-Fi機能、メール機能、カメラ機能、LISMO機能、位置情報などの使用
- アプリケーションなどでスリープモードにならないように設定されている場合
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

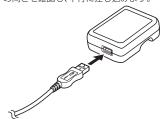
◎充電中、LEDランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、（十分）が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、使用時間も充電完了時より短くなります。

■指定のACアダプタ（別売）で電池パックを充電する

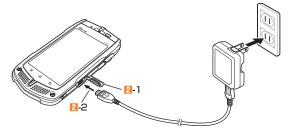
共通ACアダプタ03（別売）と、共通ACアダプタ03に付属のmicroUSBケーブル01が必要です。

充電時間は約140分です

1 共通ACアダプタ03（別売）に共通ACアダプタ03に付属のmicroUSBケーブル01を接続する

USBプラグの向きを確認し、平行に差し込みます。

2 IS11CAにmicroUSBケーブル01を接続する

外部接続端子キャップ（2-1）を開け、microUSBプラグの向きを確認し、平行に差し込みます（2-2）。

3 共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む

IS11CAのLEDランプが赤色に点灯し、充電ピクトが表示されます。充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

4 充電が終わったら、microUSBプラグをまっすぐ引き抜く

5 IS11CAの外部接続端子キャップを閉じる

6 共通ACアダプタ03（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎電池が切れた状態で充電すると、LEDランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎IS11CAとパソコンをmicroUSBケーブル01で接続しても充電ができます。
◎共通ACアダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）と18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）を使用して充電することもできますが、充電時間は長くなります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **［⏻］（2秒以上長押し）**

ロック解除画面が表示されます。

- 🔒を右にドラッグすると、ロックが解除されます。画面ロック（▶P.172）を設定している場合は、ロックNo.入力画面が表示されます。
- 📳を左にドラッグすると、マナーモードになります。🔊を左にドラッグすると、マナーモードが解除されます。
- ロック解除画面には、電子コンパス、日付、曜日、時刻が表示されます。

《ロック解除画面》

memo

◎電源を入れてから「Android™ au with Google™」のロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面には触れないようにしてください。「Android™ au with Google™」のロゴが表示されている間に画面を触った場合は、正常にタッチパネルが動作しない場合があります。
◎お買い上げ後、初めてIS11CAの電源を入れたときは初期起動時設定画面（▶P.37）が表示されます。
◎電子コンパスに関する注意事項については、「電子コンパスについて」（▶P.142）をご参照ください。
◎電子コンパスを使用する前には、電子コンパスの調整（方位計キャリブレーション）を行うことを推奨します。（▶P.143「電子コンパスの調整（方位計キャリブレーション）について」）

電源を切る

1 **［⏻］（2秒以上長押し）**

携帯電話オプション画面が表示されます。

携帯電話オプション
マナーモード
マナーモードをONにする
機内モード
機内モードをONにする
電源を切る

《携帯電話オプション画面》

2 **［電源を切る］→［OK］**

スリープモードについて

［⏻］を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。

■スリープモードを解除する

1 **スリープモード中に［⏻］**

ロック解除画面が表示されます。

◎充電中に、スリープモードに移行することを防ぐことができます。詳しくは「アプリケーション開発時の設定をする」（▶P.151）をご参照ください。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めてIS11CAの電源を入れたとき、IS11CAの初期化後に再起動したときは、自動的に初期起動時設定画面が表示されます。

1 [電源]を2秒以上長押しして電源を入れる

初期起動時設定画面が表示されます。
画面の指示に従って次の初期設定を行ってください。

表示言語	使用する言語を設定します。 ・日本語または英語(English)を選択できます。
日付と時刻	日付と時刻の表示形式を設定します。 ▶P.179「日付と時刻を設定する」
Eメール設定	auケータイのEメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定を行います。
au one-ID設定	au one-IDを設定します。 ▶P.178「au one-IDの設定をする」
Wi-Fi設定	Wi-Fiのアクセスポイントについて設定します。 ▶P.184「Wi-Fiを利用する」
Googleサインアップ	Google アカウントを設定します。 ▶P.37「Google アカウントをセットアップする」

memo

◎初期設定には、パケット通信料がかかります。
◎初めてIS11CAの電源を入れたときの初期設定では、[ホーム]は無効です。初期設定を完了するまでホーム画面を表示することはできません。
また、Eメール設定画面、au one-ID設定画面、Wi-Fi設定画面、Google アカウントの設定画面で「設定」をタップした後それぞれの設定を中止する場合は、[戻る]をタップして元の画面に戻ってください。
◎ホーム画面→[■]→[初期設定]と操作しても設定することができます。

Eメールの初期設定について

◎Eメールをご利用いただくには、お申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
◎初期設定は、「エリア設定」を「日本」に設定し、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
◎時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「ただいまメール設定を行っています。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
◎初期設定のEメールアドレスを変更する操作については、「アドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.95)をご参照ください。

Google™ アカウントをセットアップする

IS11CAにGoogle アカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Google アカウントのセットアップ画面は、初期設定を行うときや、Google アカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したとき、「アカウントと同期」(▶P.174)を初めて設定するときなどに表示されます。

1 Google アカウントの設定画面→[設定]

Google アカウントのセットアップ画面が表示されます。

2 [次へ]→[作成]／[ログイン]

Google アカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」をタップし、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」をタップします。
Google アカウントをお持ちではない場合は「作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

■ Google パスワードを再取得する場合

1 ホーム画面→[■]→URL表示欄をタップ→「http://www.google.co.jp/」を入力→[→]

2 [ログイン]

Google アカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

アカウント再設定画面が表示されます。

4 画面の指示に従って操作する

画面にこんな表示が出たら

■ 📶 が表示された場合

サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。

📶 が消える所まで移動してください。

■「au ICカード(UIM)エラー」が表示された場合

- 「カードを挿入してください」と表示されているときは、お客様のau ICカードが挿入されていません。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」と表示されているときは、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されています。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。

■ 🔒 が表示された場合

おサイフケータイ®の機能がロックされているため、おサイフケータイ®が利用できません。

おサイフケータイ®のロックを解除してください。

■「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」が表示された場合

- 落下などの衝撃が加わると、表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 繰り返し「au ICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」と表示された場合は、正しくau ICカードが取り付けられているかどうかご確認ください。

  au ICカードの取り付けかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.40)をご参照ください。
- アクセスエラーが発生した場合、セキュリティ確保のためIS11CAが再起動することがあります。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

memo

◎au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS11CA本体のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎au ICカード着脱時は、必ずmicroUSBケーブル01(別売)などのmicroUSBプラグをIS11CA本体から抜いてください。

◎au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。

◎取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードが挿入された場合

au ICカードを挿入しない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。また 3G ／ 1x が表示されません。

- 電話をかける／受ける※
- Eメール／Cメールの送受信
- UIMカードロック設定
- IS11CAの電話番号の確認

※110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

■PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。(▶P.173「UIMカードロックを設定する」)

au ICカードを取り外す

1 IS11CAの電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」(▶P.215)をご参照ください。

2 au ICカードを図の矢印方向にまっすぐにスライドさせて取り外す

au ICカードを取り付ける

1 IS11CAの電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」(▶P.215)をご参照ください。

2 au ICカードのIC面を下にして、矢印の向きでガイドの下に挿入し、軽く上から押しながらゆっくりスライドさせて奥まで押し込む

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカードを含む)をIS11CA本体にセットして、データを保存することができます。また、メールやブラウザのブックマークなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎ アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎ IS11CAでmicroSDメモリカードにデータを保存する場合、1ファイルの最大サイズは4GBです。
◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS11CAでは正常に使用できない場合があります。IS11CAで初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.176)をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行えてもIS11CAで再生できない場合があります。

■取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、電池パックを取り外したり、IS11CA本体や機器の電源を切らないでください。
  IS11CA本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- IS11CA本体にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。記録したデータが壊れる（消去される）ことがあります。
- IS11CA本体のmicroSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSD／microSDHCメモリカード>

※4GB以上はmicroSDHCメモリカードの対応状況です。

発売元	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
東芝	○	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	−
SanDisk	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	−
バッファロー	○	○	○	○	−
ソニー	○	○	○	−	−

○：動作確認済み　−：未確認または未発売　2011年4月現在

※IS11CAでは、2011年4月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

microSDメモリカードをセットする

1 IS11CAの電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」（▶P.215）をご参照ください。

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 電池パックを取り付け、電池パックカバーを装着する

memo

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
　無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

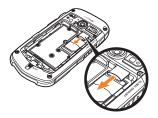
1 **IS11CAの電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す**

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを交換する」(▶P.215)をご参照ください。

2 **microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む**

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 **microSDメモリカードをゆっくり引き抜く**

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 **電池パックを取り付け、電池パックカバーを装着する**

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

基本操作

タッチパネル

タッチパネルの使いかた

IS11CAのディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面に軽く触れたまま目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指で上下左右にはらうように操作します。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。

■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

memo

◎ 次のような場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
- 手袋をした指での操作
- 爪先での操作
- ボールペン、鉛筆など先が鋭いものでの操作
- 異物を画面上に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- 画面を強く押しての操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 水中での操作

◎ フリック操作は、最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

機能利用中の操作

項目を選択するには

表示された項目やアイコンを選択するには、画面を直接タップして選択します。

メニューを表示するには

■オプションメニューについて

オプションメニューは、メニューを表示できる画面で☰をタップすると表示されるメニューです。

例：電話帳一覧画面の場合

■コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：文字入力画面の場合

設定を切り替えるには

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。

アイコン	説明
☑	設定が有効の状態です。
☐	設定が無効の状態です。

ホーム画面とランチャー

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、IS11CAの状態や現在の設定を確認したり、ショートカットアイコンからアプリケーションの起動などができます。また、お好みのウィジェットを配置して利用することもできます。

① **ステータスバー**
▶P.46「ステータスバーの見かた」
② **通知アイコン**
▶P.46「通知アイコンの例」
③ **ステータスアイコン**
▶P.47「ステータスアイコンの例」
④ **ウィジェット**
▶P.50「ウィジェットを利用する」
⑤ **フォルダ**
▶P.52「フォルダを利用する」
⑥ **ショートカットアイコン**
▶P.50「ショートカットを利用する」
⑦ **電話ボタン**
タップすると、電話番号入力画面、通話履歴一覧画面、電話帳一覧画面、お気に入り画面、近況画面のうち、最近表示した画面が表示されます。
▶P.70「電話をかける」
▶P.73「通話履歴を利用して電話をかける」
▶P.80「電話帳の登録内容を利用する」
▶P.84「お気に入りを表示する」
▶P.85「近況を確認する」

《ホーム画面》

※画面は各機能の説明のためのもので、お買い上げ時の状態とは異なります。

⑧ **ランチャーボタン**
▶P.53「ランチャーを利用する」
⑨ **ブラウザボタン**
▶P.113「ブラウザを利用する」

ステータスバーの見かた

ステータスバーは、IS11CAの画面上部にあります。ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側にはIS11CAの状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり（Eメール） 未受信メールあり（Eメール）
	新着メールあり（Cメール）／お留守番サービスの伝言お知らせあり 送信失敗（Cメール）
	新着メールあり（PCメール）
	新着メールあり（Gmail）
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	USBデバック接続中
	発信中／通話中
	Skype™の新着イベントあり
	本体の空き容量が少ないとき

アイコン	概要
	赤外線通信中
	Bluetooth®ペア設定リクエストあり
	USB接続中
	データのアップロード中
	データ、アプリケーションのダウンロード中／ダウンロード完了／インストール中 • ダウンロード中のアイコンはアニメーション表示されます。
	インストール完了
	VPN接続 VPNに接続中 VPNに未接続
	PC Link PC Link起動中 PC Link接続中 PC Linkアクセス中 ユーザ登録通知／ホスト名変更通知
	利用可能なアップデートあり
	メジャーアップデート（OSアップデート）更新あり
	まとめられたアイコンあり

memo

◎ 同じ種類のお知らせが複数ある場合は、アイコンの右下に件数が表示されます。

■ステータスアイコンの例

アイコン	概要	ページ
10:30	時刻	P.179
	アラーム設定あり	P.159
	電池レベル状態（充電中） （）十分／（）残量約80%／ （）残量約60%／（）残量約40%／ （）残量約20%／（）残量約10%／ 残量なし • 充電中のアイコンはアニメーション表示されます。	–
	機内モード設定中	P.167
	ecoモード設定中	P.171
※	電波の強さ（受信電界） レベル4／レベル3／レベル2／ レベル1／レベル0／圏外	–
※	／データ通信利用可能 ／データ通信利用中	P.112
※	ローミング中	P.209
	au ICカードが未挿入	P.39
あ A	文字種	P.60

アイコン	概要	ページ
	マナーモード状態 マナーモード中(バイブレーションあり) マナーモード中(バイブレーションなし)	P.154
	ハンズフリーで通話中	P.70
	通話中のマイクをOFFに設定中	P.70
※	Wi-Fiの電波の強さ レベル4／レベル3／レベル2／ レベル1／レベル0	P.184
	Bluetooth®待機中／接続中／利用中	P.191
	GPS利用中 • GPS取得中のアイコンはアニメーション表示されます。	−
	データ同期中	P.174
	おサイフケータイ®ロック設定利用中	P.156

※Google アカウントを設定すると、Gmail、カレンダー、連絡先などの同期や設定のバックアップなど、Google サービスに接続中はネットワークのステータスアイコンが緑に変わります。

通知パネルを表示する

通知パネルでは、通知アイコンやステータスアイコンの詳細を確認したり、アイコンに対応するアプリケーションを起動できます。

1 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

《通知パネル》

① **機能スイッチ**
(マナーモード(▶P.154))、(ecoモード(▶P.171))、(GPS(▶P.136))、(Bluetooth®機能(▶P.191))、(Wi-Fi(▶P.184))、(自動同期(▶P.174))をタップすると、それぞれの機能のON／OFFを切り替えられます。
(画面の明るさ(▶P.171))をタップすると、画面の明るさを調整できます。

② **通知エリア**
IS11CAの状態や通知の内容を確認できます。
通知によって、タップすると対応するアプリケーションを起動できます。

③ **「通知を消去」ボタン**
「通知を消去」ボタンをタップすると、チェックボックスにチェックが入れられている通知を消去します。
消去されたくない通知は、チェックボックスをタップしてチェックを外してください。

④ **閉じるタブ**
上向きにフリックまたはドラッグすると、通知パネルを閉じます。

ホーム画面でできること

1 ホーム画面→目

2

追加	ショートカット	▶P.50「ショートカットを追加する」
	ウィジェット	▶P.50「ウィジェットを追加する」
	フォルダ	▶P.52「フォルダを追加する」
	壁紙	ホーム画面の背景に表示する壁紙を変更できます。 ・「ギャラリー」をタップすると、microSDメモリカード内のデータを選択できます。 ・「ライブ壁紙」「壁紙」をタップすると、IS11CAにあらかじめ用意されている壁紙を選択できます。
アプリの管理		▶P.150「アプリケーションの設定をする」
壁紙		ホーム画面の背景に表示する壁紙を変更できます。
検索		▶P.56「クイック検索ボックスを利用する」
通知		通知パネルが開きます。 ▶P.48「通知パネルを表示する」
設定		▶P.166「端末設定」

ホーム画面を切り替える

ホーム画面を左右にスライド／フリック（▶P.44）することで、ホーム画面を切り替えることができます。

左右に3ページずつ、合計7ページのホーム画面が用意されています。

各ホーム画面には、ショートカットやウィジェット、フォルダを追加して利用できます。

《ホーム画面の切り替えイメージ》

ホーム画面の別のページに移動する

ホーム画面のページのサムネイルを表示して、直接移動することができます。

1 ホーム画面→ をロングタッチ

ホーム画面のページのサムネイルが表示されます。

2 移動先のページのサムネイルをタップ

ホーム画面のページを並び替える

1 ホーム画面→ をロングタッチ

ホーム画面のページのサムネイルが表示されます。

2 並べ替えるページをロングタッチ

ページが拡大表示されます。

3 移動する位置へドラッグして、指を離す

ホーム画面のアイコンを移動する

ホーム画面に登録されているショートカットやウィジェット、フォルダのアイコンをロングタッチ(▶P.44)することで、アイコンの移動や並び替えができます。

1 ホーム画面→移動するアイコンをロングタッチ

アイコンが拡大表示されます。

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

memo

◎アイコンを画面の左右の端までドラッグすると、左右のページにアイコンを移動できます。

ショートカットを利用する

ホーム画面にアプリケーション、Gmailのラベル、Latitude、ブックマークなどのショートカットを追加できます。

■ショートカットを追加する

■オプションメニューからショートカットを追加する場合

1 ホーム画面→▤→[追加]→[ショートカット]

2 項目をタップ

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ホーム画面からショートカットを追加する場合

1 ホーム画面のショートカットを追加したい場所をロングタッチ→[ショートカット]

2 項目をタップ

データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは、ショートカットを追加できません。

■ショートカットを削除する

1 ホーム画面で削除するショートカットをロングタッチ

アイコンが拡大表示され、画面下部の ▦ が 🗑 に変わります。

2 🗑 までドラッグして、指を離す

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、ホーム画面に登録できるアプリケーションです。

■ウィジェットを追加する

1 ホーム画面→▤→[追加]→[ウィジェット]

ウィジェット一覧画面が表示されます。

2 ウィジェットをタップ

IS11CAでは次のウィジェットがご利用可能です。

ウィジェット	概要	ページ
Analog clock (Large)～Analog clock (Small)	アナログ時計を表示します。	－
au Wi-Fi接続ツール	au Wi-Fiへの接続のON／OFFを切り替えることができます。 • 詳しくはauホームページをご参照ください。	－
Digital clock (Large)～Digital clock (Small)	デジタル時計を表示します。	－
Facebook	Facebookにコメントを投稿できます。	P.140
Flashlight	フラッシュライトを点灯します。 • 最大で約5分経過すると、自動的に消灯します。	－
G'zGEAR EARTH COMPASS	コンパスを表示します。 • タップすると、約10分間、方位を表示します。	P.143
G'zGEAR Moonrise Moonset	月の出、月の入りの時刻や月の方角などを表示します。	P.145
G'zGEAR SEA TIDE	潮の潮位のグラフと、満潮時刻、干潮時刻などを表示します。	P.145
G'zGEAR Sunrise Sunset	日の出、日の入りの時刻や太陽の方角などを表示します。	P.145
jibe	Twitterやmixiなど複数のソーシャル・ネットワーキング・サービスのメッセージをまとめて参照したり、コメントや画像を投稿できます。	P.139
Latitude	Latitudeに参加して現在地情報を共有できます。	P.136
Memo	ホーム画面上でメモを入力できます。	－
Voice Memo	ホーム画面上で音声を録音できます。	－
YouTube	YouTubeの動画を簡単に再生できます。	P.139
おみせメモツール	ホーム画面上でGoogle プレイスのお店評価を入力できます。	－
カレンダー	カレンダーに登録している予定を確認できます。	P.157
ニュースEX	最新のニュースや天気、運勢を確認できます。	P.141
ニュースと天気	最新のニュースと天気を確認できます。	P.140
マーケット	Android マーケットを利用できます。	P.148
音楽(小)	microSDメモリカードの音楽ファイルを再生できます。	P.131
音楽(大)		
検索	クイック検索ボックスを表示します。	P.56
写真フレーム	保存しているフォトをトリミングして表示します。	－
電源管理	Wi-Fi、Bluetooth®機能、GPS、自動同期(DATA Sync)のON／OFFを切り替えられます。また、画面の明るさ(Brightness)を調節できます。	－

memo

◎表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは、ウィジェットを追加できません。

■ウィジェットを削除する

1 ホーム画面で削除するウィジェットをロングタッチ

ウィジェットが拡大表示され、画面下部のがに変わります。

2 までドラッグして、指を離す

フォルダを利用する

■フォルダを追加する

1 ホーム画面→→[追加]→[フォルダ]

2

新しいフォルダ	ショートカットを格納できるフォルダを追加します。
Bluetoothで受信したデータ	Bluetooth®機能で受信したデータを表示するフォルダを追加します。
Facebook電話帳	Facebook電話帳を表示するフォルダを追加します。
スター付きの連絡先	スター付きの連絡先のみ表示するフォルダを追加します。
すべての連絡先	すべての連絡先を表示するフォルダを追加します。
電話番号のある連絡先	連絡先に登録されている電話番号をすべて表示するフォルダを追加します。

memo

◎表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは、フォルダを追加できません。

■フォルダにショートカットを格納する

1 ホーム画面で格納するショートカットをロングタッチ

2 格納先のフォルダにドラッグして、指を離す

■フォルダ名を変更する

1 ホーム画面でフォルダをタップ

2 フォルダ上部のフォルダ名をロングタッチ

3 フォルダ名を入力→[OK]

■フォルダを削除する

1 ホーム画面で削除するフォルダをロングタッチ

フォルダが拡大表示され、画面下部のがに変わります。

2 までドラッグして、指を離す

ランチャーを利用する

インストールされているアプリケーションがアイコンで表示されます。アイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。

ランチャーを表示する

1 ホーム画面→ ▦

ランチャーが表示されます。
ランチャーを左右にスライド/フリック（▶P.44）すると、ページを切り替えられます。

《ランチャー》

アイコン	アプリケーション	ページ
	電話	P.70
	電話帳	P.78
	Eメール	P.88
	Cメール	P.99
	ブラウザ	P.113
	au one Market	P.150
	au one	–
	GREEマーケット	P.150
	フォト	P.121
	ムービー	P.125
	ギャラリー	P.128
	YouTube	P.139
	電卓	P.160
	時計	P.159
	カレンダー	P.157
	設定	P.166
	おサイフケータイ	P.154
	ニュースEX	P.141
	Quickoffice	P.147
	ATOK	P.66
	G'zGEAR	P.142
	Active Slot	P.55
	★GET CA★ by CASIO（カシオ専用サイト）	–
	CA'zCAFE（カシオ専用サイト）	–
	PCメール	P.103
	Gmail	P.108
	音楽	P.131
	マーケット	P.148

アイコン	アプリケーション	ページ
	マップ	P.136
	ナビ	P.138
	Latitude	P.136
	プレイス	P.138
	音声レコーダー	P.156
	音声検索	P.57
	トーク	P.137
	ニュースと天気	P.140
	Skype™	P.140
	jibeアドレス帳	P.139
	Facebook	P.140
※1	GREE	–
※1	LISMO	P.134
※1	LISMO WAVE	–
※1	LISMO Book Store	–
※1	Run&Walk	–
※1	BrandGarden	–
※1	unlimited	–
※1	Sfera Android	–
※1	Nドライブ	–
※1	レアジョブ	–
※1	Pulse	–
※1	ラグナロク Mobile Story	–
※2	au Wi-Fi 接続ツール	–
	検索	P.56
	ダウンロード	P.115
	Q&A	P.148
	初期設定	P.37

※1 au one Marketから簡単にダウンロードできるショートカットアプリです。利用するにはダウンロードが必要です。
※2 詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

◎ アプリケーションを使用すると、アプリケーションによっては通信料が発生する場合があります。
また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。
◎ アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

ランチャーのアイコンを並び替える

1 ホーム画面→ [icon] →▤→[並び替え]

2 移動したいアイコンをドラッグ

アイコンを画面の左右の端までドラッグすると、左右のページにアイコンを移動できます。

3 移動する位置で指を離す

アイコンが移動します。

4 [完了]

アプリケーションを削除する

Android マーケットなどからインストールしたアプリケーションは、削除できます。

1 ホーム画面→ [icon] →▤→[削除]

削除できるアプリケーションには ⊖ が表示されます。
削除できないアプリケーションは半透明で表示されます。

2 削除したいアプリケーションをタップ→[OK]

アプリケーションが削除されます。

3 [完了]

memo

◎削除を実行すると、アプリケーションはアンインストールされます。
◎アンインストールしたアプリケーションを使用したい場合は、もう一度ダウンロードしてインストールする必要があります。

Active Slotを利用する

アプリケーションをすばやく起動することができます。

1 ACTIVE（長押し）

Active Slot画面が表示されます。
次のようにタッチパネルを操作することでアプリケーションを起動できます。

《Active Slot画面》

操作	起動するアプリケーション（お買い上げ時の設定）
中心のアイコンをタップ	G'zGEAR
上側のアイコンをタップまたは中央のリングを上向きにフリック	Eメール
下側のアイコンをタップまたは中央のリングを下向きにフリック	電話帳
左側のアイコンをタップまたは中央のリングを左向きにフリック	フォト
右側のアイコンをタップまたは中央のリングを右向きにフリック	ギャラリー

memo

◎画面が消灯している場合でも、ACTIVEを長押しするとActive Slot画面が表示されます。
◎ホーム画面→ →[Active Slot]と操作しても、Active Slot画面が表示されます。
◎「画面ロック」（▶P.172）を「有効」に設定している場合は、画面が消灯しているときにACTIVEを長押しすると、ロックNo.入力画面が表示されます。
◎通話中は、ACTIVEは無効です。
◎「ACTIVEキー設定」（▶P.167）を「Active Slot」以外に変更した場合は、ACTIVEを長押ししてもActive Slot画面は表示されません。「ACTIVEキー設定」は、お買い上げ時は「Active Slot」に設定されています。
◎左右のアイコンを確認したい場合は、リングをタッチした状態で左右に指を動かしてください。

Active Slotに配置するアプリを変更する

1 Active Slot画面→ →[設定]

Active Slotに登録されているアプリケーションの一覧が表示されます。

2 登録を解除するアプリケーションをタップ

登録可能なアプリケーションの一覧が表示されます。

3 登録するアプリケーションをタップ

クイック検索ボックスを利用する

IS11CA内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面→ →[検索]

クイック検索ボックス画面が表示されます。

検索画面で をタップすると検索対象一覧画面が表示され、検索対象を選択できます。

検索対象一覧画面で をタップすると、検索対象一覧画面に表示させる検索対象を選択できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

《クイック検索ボックス画面》

3 一覧表示から項目をタップ／クイック検索ボックスの

ブラウザが起動してGoogle 検索の検索結果が表示されます。

一覧からアプリケーションをタップした場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎検索対象を「アプリ」に設定すると、Android マーケットでアプリケーションを検索します。
◎一覧表示された項目の をタップすると、選択した項目が、入力欄に追加されます。
◎「現在地情報を使用」確認画面が表示された場合は、[同意する]／[同意しない]→[戻る]と操作します。
◎クイック検索ボックスについては、「検索」（▶P.177）で設定できます。

Google 音声検索™を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面→ 🎤

Google 音声検索画面が表示されます。

ホーム画面→ ▦ →[音声検索]でも同様に操作できます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle 検索の検索結果が表示されます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

IS11CAの向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例:縦(横)表示から左(右)に90°回転した場合

《横表示》　《縦表示》

memo

◎IS11CAを垂直に立てた状態で操作してください。IS11CAを水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。

◎縦横表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」(▶P.171)で設定できます。

◎ムービーなどアプリケーションによっては、IS11CAの向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

起動中のアプリケーションを確認する

1 ⌂ をロングタッチ

起動中のアプリ一覧画面が表示されます。

■起動中のアプリ一覧でできる操作

アプリケーションをタップ:選択したアプリケーションに切り替え

☒ をタップ:選択したアプリケーションを終了

全てのアプリを終了する をタップ:起動中のアプリケーションをすべて終了

memo

◎バックグラウンドでアプリケーションが起動していることで、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。こまめに終了することで、電池の消費を抑えることができます。

ロックNo.／ロック解除パターン／パスワード

ロックを解除する

画面ロック(▶P.172)を解除するときや、重要な操作を行うときは、ロックNo.または、ロック解除パターンの入力を求められます。(▶P.23「ご利用いただく各種暗証番号について」)
お買い上げ時の設定ではロックNo.の入力を求められますが、「ロック解除方法選択」(▶P.172)の設定を変更すると、ロック解除パターンを使用できます。

ロック解除パターン／パスワード

■ロックNo.を入力する

1 ロックNo.の入力が必要な操作をする

ロックNo.入力画面が表示されます。

2 ロックNo.を入力→[OK]

■ロック解除パターンを入力する

1 ロック解除パターンの入力が必要な操作をする

ロック解除パターン入力画面が表示されます。

2 ロック解除パターンを入力

■パスワードを入力する
1 パスワードの入力が必要な操作をする
パスワード入力画面が表示されます。
2 パスワードを入力→[OK]

◎ロックNo.／ロック解除パターンの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」をタップし、入力可能になったら再入力してください。

ロックNo.／ロック解除パターン／パスワード

データを複数選択する

データの一覧にチェックボックスが表示されている場合は、複数のデータを選択して削除／移動／保存などができる場合があります。
データをタップすると、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。チェックボックスにチェックが入ったデータをタップすると、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

文字入力

文字入力について

IS11CAでは、画面に表示されたATOKのキーボードを使って文字を入力します。
キーボードは文字入力欄をタップすると表示され、☰をロングタッチすると非表示になります。

キーボードとパネルの種類について

ATOKには、2種類のキーボードと、5種類のパネルが用意されています。
テンキーキーボードを表示中に ⌨ → ⌨ をタップすると、QWERTYキーボードに切り替わります。
QWERTYキーボードを表示中に ⌨ → ▯ をタップすると、テンキーキーボードに切り替わります。
⌨ → ♥（絵文字）／(^_^)（顔文字）／#!?"（記号）／定型文（定型文）／文字コード（文字コード）をタップすると、それぞれのパネルを表示できます。

■テンキーキーボード

一般的な携帯電話と同じように文字を入力できるキーボードです。ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力、T9入力の4種類の入力方式を使用できます。（▶P.60「テンキーキーボードを利用する」）

■QWERTYキーボード

一般的なパソコンのキーボードと同じように文字を入力できるキーボードです。（▶P.63「QWERTYキーボードで入力する」）

■絵文字／顔文字／記号パネル

絵文字／顔文字／記号を入力するためのパネルです。一覧を左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。（▶P.64「絵文字／顔文字／記号パネルで入力する」）

■定型文／文字コードパネル

定型文を選んで入力したり、文字コード表から文字を選んで入力するためのパネルです。カテゴリーはタップすると変更できます。一覧を上下にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。（▶P.64「定型文／文字コードパネルで入力する」）

テンキーキーボードを利用する

テンキーキーボードでは、ケータイ入力、ジェスチャー入力、フリック入力、T9入力といった入力方式のいずれかを利用できます。

テンキーキーボードの入力方式を切り替える

1 **キーボードの あA1 ／ あA をロングタッチ→［ATOKの設定］**

ATOKの設定画面が表示されます。

2 **［ソフトウェアキーボード］→［入力方式］→［ケータイ入力］／［ジェスチャー入力］／［フリック入力］／［T9入力］**

テンキーキーボードで入力する

1 文字入力欄をタップ

QWERTYキーボードが表示された場合は、▦ → ▯ をタップすると、テンキーキーボードに切り替わります。

2 文字を入力

■ ケータイ入力／ジェスチャー入力／フリック入力での入力操作

■ ケータイ入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで繰り返しタップします。

繰り返しタップ

- かな入力では、文字を入力した後、゛゜小 をタップすると、濁音／半濁音／拗音にできます（可能な文字のみ）。
- 英字入力では、文字を入力した後、A/a をタップすると、大文字と小文字を切り替えられます。
- ジェスチャー入力／フリック入力でも、ケータイ入力と同じ方法で文字を入力できます。

■ ジェスチャー入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、ジェスチャーガイドが表示されます。画面から指を離さずに、目的の文字まで指を移動して離すと、文字を入力できます。

- 濁音／半濁音／拗音をジェスチャーガイドで入力することができます。

例：「ぷ」を入力する場合

① ロングタッチした指を離さずに下に移動すると、濁音の表示に切り替わります。
② 指を離さずに中央に戻して、もう一度下に移動すると半濁音の表示に切り替わります。
③ 指を離さずに「ぷ」に移動してから離すと、「ぷ」を入力できます。

- 英字入力の際は、上記と同様の操作で大文字／小文字を切り替えることができます。

■ フリック入力での入力操作

入力したい文字が割り当てられているキーをロングタッチすると、フリックガイドが表示されます。画面から指を離さずに、フリックガイドで示されている文字の方向にフリックすると、文字を入力できます。

- フリックしなかった場合は、中央の文字が入力されます。

フリックガイド

■ 推測・漢字変換

ひらがなを入力するごとにキーボードの上部には、推測変換候補が表示されます。

- 推測変換候補をタップすると、変換が確定されます。
- 変換をタップすると、未確定のひらがなが漢字変換されます。変換をタップするたびに、次の候補に変換されます。このとき変換候補には、推測変換候補は含まれません。
  ↵をタップするか、一覧の変換候補をタップすると、変換が確定されます。
- 変換候補は、左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。

■ その他のキー操作

キー	説明
↩	文字を逆順で表示します。
戻す	直前に確定した文字を変換前の文字に戻します。
⌫	カーソルの左側の文字を削除します。 ・「文字削除キー」（▶P.67）を「CLR」に設定した場合は、CLR が表示されます。タップするとカーソルの右側の文字を削除します。
← ／ →	カーソルを移動したり、変換対象を選択します。
あA1	文字種をひらがな入力／英字入力／数字入力に切り替えます。 ・数字入力では、半角数字のみ入力できます。 ・ロングタッチすると、「ATOKの設定」「単語登録」「英語入力モード」を選択できます。英語入力モード中は、「日本語入力モード」を選択できます。
␣	スペースを入力します。
カナ英数	ひらがなを入力して カナ英数 をタップすると、入力時にタップしたキーに対応したカタカナ／数字／英字／年月日の変換候補が表示されます。 ・「半角」／「全角」をタップすると、変換候補の半角／全角を切り替えることができます。
後変換	変換 をタップした後、後変換 をタップすると、一覧からひらがな／カタカナ／英字を選択して確定できます。
↵	改行します（可能な場合のみ）。変換中の場合は、変換を確定します。
次へ	次の入力項目に移動します。
確定 ／ 実行	入力した内容で操作を確定／実行します。

※入力項目や入力状態によっては、表示されないキーがあります。

■ T9入力での入力操作

少ないキー操作（1文字1回のタップ）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の単語を選択します。

例：「春」を入力する場合

① 「は行」の は をタップ
② 「ら行」の ら をタップ
　「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測・変換候補が表示されます。
③ 「春」をタップ
④ 「春」をタップ

memo

◎ 予測･変換候補は、左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
◎ グレーの文字で表示された予測･変換候補をタップした場合は、もう一度同じ予測･変換候補をタップするか、「変換」タブまたは「予測」タブの単語をタップした時点で確定されます。
黒の文字で表示された予測･変換候補をタップした場合は、その時点で確定します。
◎ 英字入力の際も、同様に少ないキー操作（1文字1回のタップ）で単語を入力できます。

■ その他のキー操作

キー	説明
戻す	直前に確定した文字を変換前の文字に戻します。
⌫	カーソルの左側の文字を削除します。 • 「文字削除キー」（▶P.67）を「CLR」に設定した場合は、CLR が表示されます。タップするとカーソルの右側の文字を削除します。
← ／ →	カーソルを移動したり、変換対象を選択します。
␣	スペースを入力します。
漢字かな	予測･変換候補の漢字／かなを切り替えます。
あA1	文字種をひらがな入力／英字入力／数字入力に切り替えます。 • 数字入力では、半角数字のみ入力できます。 • ロングタッチすると、「ATOKの設定」「単語登録」「英語入力モード」を選択できます。英語入力モード中は、「日本語入力モード」を選択できます。
読み編集	読み編集モードになり、カーソルが未確定の文字の先頭に移動します。カーソルの位置のひらがなの行の文字が表示され、タップすると、その文字に置き換わります。 • ← ／ → をタップすると、カーソルを移動できます。 • 濁点切替 をタップすると、濁音／半濁音が表示されます。
⇧	英字入力の際に ⇧ を一度タップすると、次にタップした文字が大文字になります。 ⇧ を二度タップすると、CapsLockがかかり入力した文字がすべて大文字になります。さらに ⬆ をタップすると、CapsLockが解除されます。
↵	改行します（可能な場合のみ）。変換中の場合は、変換を確定します。
次へ	次の入力項目に移動します。
確定 ／ 実行	入力した内容で操作を確定／実行します。
英語 ／ 日本語	英語／日本語を切り替えます。

※ 入力項目や入力状態によっては、表示されないキーがあります。

QWERTYキーボードで入力する

1 文字入力欄をタップ

テンキーキーボードが表示された場合は、▦ → ⌨ をタップすると、QWERTYキーボードに切り替わります。

2 文字を入力

• 数字キーを非表示に設定した場合は、英字キーを下向きにフリックすると、キーの下部に表示されている数字／記号を入力できます。上向きにフリックすると、英字が入力される場合は大文字／小文字を入力できます。
• 推測･漢字変換については、「推測･漢字変換」（▶P.62）をご参照ください。

■ キー操作

キー	説明
(シフト)	タップするたび、キーが大文字→大文字(ロック)→小文字と切り替わります。 • 大文字(ロック)のときは、(シフト)の左上が点灯します。大文字や記号を続けて入力できます。
(削除)	カーソルの左側の文字を削除します。
後変換	英字を入力した直後や 変換 をタップした後、後変換 をタップすると、一覧からひらがな／カタカナ／英字を選択して確定できます。
あA	文字種をひらがな入力／英字入力に切り替えます。 • ロングタッチすると、「ATOKの設定」「単語登録」「英語入力モード」を選択できます。英語入力モード中は、「日本語入力モード」を選択できます。
(スペース)	スペースを入力します。
記号	キーボードを記号のみに切り替えます。もう一度タップすると、通常のQWERTYキーボードに戻ります。 • 横画面でQWERTYキーボードを表示しているときは、表示されません。
← ／ →	カーソルを移動したり、変換対象を選択します。
(改行)	改行します(可能な場合のみ)。変換中の場合は、変換を確定します。
次へ	次の入力項目に移動します。
確定 ／ 実行	入力した内容で操作を確定／実行します。

※ 入力項目や入力状態によっては、表示されないキーがあります。

絵文字／顔文字／記号パネルで入力する

1 キーボードの (キーボード) → ♥（絵文字）／ (^_^)（顔文字）／ #!?"（記号）

絵文字／顔文字／記号パネルが表示されます。

• カテゴリーや一覧を左右にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
• カテゴリーをタップすると、そのカテゴリーの一覧が表示されます。
• ← ／ → をタップすると、カーソルを左右に移動します。
• (削除) をタップすると、カーソルの左側の文字を削除します。
• (テンキー) ／ (QWERTY) をタップすると、テンキーキーボード／QWERTYキーボードに戻ります。

2 一覧の絵文字／顔文字／記号をタップ

定型文／文字コードパネルで入力する

1 キーボードの (キーボード) → 定型文（定型文）／ 文字コード（文字コード）

定型文／文字コードパネルが表示されます。

• カテゴリーをタップすると、一覧からカテゴリーを選択できます。
• 一覧を上下にスライド／フリックすると、スクロールさせることができます。
• ← ／ → をタップすると、カーソルを左右に移動します。
• (削除) をタップすると、カーソルの左側の文字を削除します。
• (テンキー) ／ (QWERTY) をタップすると、テンキーキーボード／QWERTYキーボードに戻ります。

2 一覧の定型文／文字をタップ

ATOKダイレクトを利用して入力する

マッシュルーム対応アプリを呼び出して利用できます。
あらかじめ用意されているアプリケーションでは、電話帳がマッシュルーム対応アプリです。

例：電話帳の登録内容を入力する場合

1 キーボードの ▦ → ✿
マッシュルーム対応アプリの一覧が表示されます。

2 [電話帳／ATOKダイレクト]
連絡先の一覧が表示されます。

3 連絡先をタップ→入力したい項目のチェックボックスをタップしてチェックを入れる→[OK]

よく使う単語を辞書に登録する

よく使う単語をあらかじめATOKの辞書に登録しておくと、読みを入力したとき変換候補に表示されます。

辞書に単語を登録する

1 キーボードの あA1 または あA をロングタッチ→[ATOKの設定]
ATOKの設定画面が表示されます。

2 [ツール]→[辞書ユーティリティ]
ATOK辞書ユーティリティ画面が表示されます。

3 ▤→[新規登録]

4 単語、読みを入力→品詞をタップ→[登録]

memo

◎ 単語を登録する際、適切な品詞を設定すると変換の精度がよくなります。
◎ ATOK辞書ユーティリティ画面で単語をタップすると、登録内容を編集できます。
◎ ATOK辞書ユーティリティ画面で単語をロングタッチ→[削除]→[はい]と操作すると、単語を削除できます。
◎ あA1 または あA をロングタッチ→[単語登録]と操作しても、単語を登録できます。

ATOK辞書ユーティリティ画面のメニューを利用する

1 ATOK辞書ユーティリティ画面→▤

2

新規登録	▶P.65「辞書に単語を登録する」
全削除	登録されている単語をすべて削除します。
一括登録	microSDメモリカードに保存されている辞書データを読み込みます。 • 「場所」欄に「sdcard」以外が表示されているときは、「場所」欄をタップ→「/」をタップ→一覧の「sdcard」をタップしてください。
一覧出力	名前を付けて単語データをmicroSDメモリカードに保存します。 • 単語データは、テキストデータとして保存されます。 • 「場所」欄に「sdcard」以外が表示されているときは、「場所」欄をタップ→「/」をタップ→一覧の「sdcard」をタップしてください。

よく使う文章を定型文として登録する

定型文を登録する

1 キーボードの [あA1] または [あA] をロングタッチ→[ATOKの設定]

ATOKの設定画面が表示されます。

2 [ツール]→[定型文ユーティリティ]

ATOK定型文ユーティリティ画面が表示されます。

3 [メニュー]→[新規作成]

4 定型文を入力→「未分類」をタップ

カテゴリーの一覧が表示されます。

5 定型文を登録するカテゴリーをタップ→[登録]

memo

◎ATOK定型文ユーティリティ画面で定型文をタップすると、登録内容を編集できます。

ATOK定型文ユーティリティ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューを利用する場合

1 ATOK定型文ユーティリティ画面→[メニュー]

2

新規作成	▶P.66「定型文を登録する」
初期化	定型文をお買い上げ時の内容に戻します。 ・新規に作成した定型文はすべて削除されます。
カテゴリー	カテゴリーの一覧が表示され、タップするとカテゴリーの名称を変更できます。 ・カテゴリーの一覧で[メニュー]→[新規作成]と操作すると、カテゴリーを追加できます。

■ コンテキストメニューを利用する場合

1 ATOK定型文ユーティリティ画面で定型文をロングタッチ

2

タイトル変更	定型文のタイトルを変更します。 ・新規に作成した定型文の本文を編集するとタイトルも連動して変更されますが、「タイトル変更」でタイトルを変更すると連動しなくなります。
削除	定型文を削除します。
カテゴリー移動	カテゴリーを変更します。
上に移動	定型文の一覧での表示位置を1つ上に移動します。
下に移動	定型文の一覧での表示位置を1つ下に移動します。

ATOKを設定する

1 ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[言語とキーボード]→[ATOK]

ATOKの設定画面が表示されます。

2

ソフトウェアキーボード	▶P.67「キーボードを設定する」
入力･変換	▶P.68「入力･変換に関する設定をする」
デザイン	▶P.68「キーボードのデザインを変更する」

ツール	▶P.65「よく使う単語を辞書に登録する」 ▶P.66「よく使う文章を定型文として登録する」
設定の初期化	ATOKの設定を初期化します。 • 学習データや、ユーザー辞書、定型文は初期化されません。
日本語入力システムATOK	ATOKのバージョンが表示されています。

キーボードを設定する

1 **ATOKの設定画面→[ソフトウェアキーボード]**

2

キー操作音	キーをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
入力方式	▶P.60「テンキーキーボードの入力方式を切り替える」
トグル入力	トグル入力をケータイ入力以外でも有効にするかどうかや、トグル入力時に自動カーソル移動を有効にするかどうかを設定します。 • 自動カーソル移動を有効にすると、文字を入力した後に一定時間操作しないとカーソルが自動的に右へ移動します。自動でカーソルを移動するまでの時間も設定できます。
文字削除キー	テンキーキーボードに表示する文字削除キーをタップします。 • 「BS」をタップすると、 が表示され、タップするとカーソルの左側の文字が削除されます。 • 「CLR」をタップすると、 が表示され、タップするとカーソルの右側の文字が削除されます。
ジェスチャーガイド	キーをタップしたときにジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの時間も設定できます。 • 「入力方式」を「ジェスチャー入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。
フリックガイド	キーをタップしたときにフリックガイドを表示するかどうかを設定します。 • 「入力方式」を「フリック入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。
フリック感度	フリック入力の感度を設定します。 • 「入力方式」を「フリック入力」に設定しているときの動作を設定する項目です。
切り替え時は半角英字	テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに半角英数入力に切り替えるかどうかを設定します。

<table>
<tr><td>縦画面の数字キー表示</td><td rowspan="2">縦画面／横画面にQWERTYキーボードを表示したとき、数字キーを表示するかどうかを設定します。
• 数字キーを非表示に設定した場合は、英字キーを下向きにフリックすると、キーの下部に表示されている数字／記号を入力できます。上向きにフリックすると、英字が入力される場合は大文字／小文字を入力できます。</td></tr>
<tr><td>横画面の数字キー表示</td></tr>
</table>

入力･変換に関する設定をする

1 ATOKの設定画面→［入力･変換］

2

推測変換	推測変換の変換候補を表示するかどうかを設定します。
未入力時の推測候補表示	文字を確定したときに次に続く文字の入力予測候補を表示するかどうかを設定します。
自動スペース入力	英語入力モードで単語を確定したときに、自動的にスペースを挿入するかどうかを設定します。
スペースは半角で出力	日本語入力時にも半角のスペースを入力するかどうかを設定します。
学習データの初期化	学習データの初期化を行います。 • 一度入力した語句は「学習データ」として自動的に記憶され、変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、記憶された内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。 • 絵文字／顔文字／記号パネルの履歴も消去されます。

キーボードのデザインを変更する

1 ATOKの設定画面→［デザイン］

2

文字サイズ	変換候補の一覧の文字サイズを設定します。
表示行数（縦画面）	縦画面表示のときの変換候補の一覧の行数を設定します。
表示行数（横画面）	横画面表示のときの変換候補の一覧の行数を設定します。

日本語入力ソフトをATOK以外に切り替える

ATOK以外の日本語入力ソフトをインストールした場合は、ATOK以外の日本語入力ソフトに切り替えることができます。

1 入力項目のある画面の文字入力欄をロングタッチ

2 ［入力方法］

3 日本語入力ソフトをタップ

電話をかける

1 ホーム画面→[電話アイコン]

電話番号入力画面が表示されます。

① **電話番号入力欄**

② **ダイヤルキー**

③ **発信キー**

④ **お留守番サービスキー**
お留守番サービスに電話をかけて、伝言・ボイスメールを再生します。

⑤ **通話履歴**
通話履歴一覧を表示します。
(▶P.73「通話履歴を利用して電話をかける」)

⑥ **ダイヤル**
他の画面を表示中にタップすると、電話番号入力画面を表示します。

⑦ **電話帳**
電話帳一覧画面を表示します。
(▶P.80「電話帳の登録内容を利用する」)

⑧ **お気に入り**
お気に入り画面を表示します。(▶P.84「お気に入りを利用する」)

⑨ **近況**
連絡先に登録したSNS(Twitter、mixi、Facebook、GREE)の更新情報を時系列順に一覧表示します。(▶P.85「近況を確認する」)

⑩ **訂正キー**
入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除できます。

《電話番号入力画面》

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [電話アイコン]→通話→[終了]

通話中に[◀]/[▶]を押すと、受話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。
通話が終了すると、通話終了画面に通話時間の目安が表示されます。

memo

◎通話履歴からも電話をかけることができます。(▶P.73)
◎発信中/通話中に顔などによって画面がおおわれると、誤動作を防止するため画面上のキーが非表示になります。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカードを購入し、ご登録された残高から引かれます。
◎送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
◎「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)、お客さまセンター(157)へは電話をかけることができます。
◎通話中に「ダイヤルキー」をタップするとダイヤルキー画面が表示されます。タップした番号のプッシュ信号を送信できます。
※送信するプッシュ信号の音は、IS11CA側では鳴りません。

マイクをOFFにするには

◎通話中に「ミュート」をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。もう一度「ミュート」をタップすると元に戻ります。

ハンズフリーで通話するには

◎通話中に「スピーカー」をタップすると、スピーカーから相手の声が聞こえるようになり、ハンズフリーで通話できます。もう一度「スピーカー」をタップすると元に戻ります。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001(001国際電話サービス:お申し込みは不要です)
- 171(災害対策用ボイスメール)
- 177(天気予報:市外局番が必要です)
- 117(時報)
- 104(電話番号案内)
- 115(電報の発信)
- 110(警察への緊急通報)★
- 119(消防機関への緊急通報)★
- 118(海上保安本部への緊急通報)★
- 157(お客さまセンター)
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。IS11CAは、緊急通報受理機関への緊急通報の際、基地局の信号により、お客様の現在地が緊急通報先に通知されます。

※次のNTTサービスはご利用になれません。
　コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116(NTT営業案内)

■電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→目

2

発信	音声発信	音声電話をかけます。
	日本へ発信	日本に電話をかける場合や、グローバルパスポート利用者に電話をかける場合に選択します。
	Cメール	Cメールを作成します。 ▶P.99「Cメールを作成して送信する」
連絡先を追加	▶P.80「他の機能から電話帳へ登録する」	
特番付加	電話番号に特番を付加します。	

memo

特番付加について
◎「184」と「186」は同時に付加できません。

P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「はい」をタップすると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号入力画面→電話番号を入力→目→[特番付加]→[P付加]

P(ポーズ)を入力できます。P(ポーズ)を含めて32桁まで入力できます。

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号	➡	P(ポーズ)	➡	口座番号
22X		目→[特番付加]→[P付加]		123XX

※P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3

電話番号「030001XXXX」に電話がかかり、最初のプッシュ信号(22X)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

4 [はい]

最初のプッシュ信号(22X)が送信され、2番目のプッシュ信号(123XX)を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

5 [はい]

2番目のプッシュ信号(123XX)が送信されます。
プッシュ信号の送信が終わると通常の通話中画面に戻ります。

memo

◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

電話を受ける

1 着信中に ● を右方向にドラッグ

2 通話→[終了]

通話が終了すると、通話終了画面に通話時間の目安が表示されます。

■電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。画像を設定しているときは、設定した画像がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。

  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」

  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ステータスバーに が表示されます。ステータスバーをタップすると、着信のあった時間や電話番号または電話帳に登録されている名前などが表示されます。

着信時に着信音を消音にするには

◎着信中に[◀]／[▶]を押すと、着信音が消音になり、バイブレータが停止します。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度使用していた機能のご利用が可能となります。

◎音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

着信を拒否する

1 着信中に ● を左方向にドラッグ

呼出音が止まって電話が切れます。

memo

◎お留守番サービス（▶P.194）、着信転送サービスの無応答転送（▶P.200）を設定している場合は、着信拒否すると、お留守番サービスまたは着信転送サービスに転送されます。

着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する（選択転送）」（▶P.201）で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に ▤ →[着信転送]

memo

◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」に設定している場合のみ、選択転送できます。

◎お留守番サービス（▶P.194）を設定している場合、転送先が登録されていないときはお留守番サービスに転送されます。

国際電話を利用する

memo

◎ 国際アクセス番号は国によって異なります。

IS11CAから海外へかける（001国際電話サービス）

IS11CAからは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：IS11CAからアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面でアクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→

アクセスコード※1	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番※2	→	相手の電話番号
001010		1		212		123XXXX

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力されアクセスコード（001010）が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

memo

◎ 001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。

◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。

◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。

◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から フリーコール 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

◎ 海外へ電話を転送できます。（▶P.201「海外の電話へ転送する」）

通話履歴を利用して電話をかける

通話履歴を呼び出して利用できます。

1 電話番号入力画面→［通話履歴］

通話履歴一覧画面が表示されます。

《通話履歴一覧画面》

① **電話番号**
電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
発信番号が通知されなかった場合は、その理由が表示されます。
ネットワークサービスを利用した場合は、そのサービス内容が表示されます。

② **発着信状態**

: 発信履歴

: 通話着信

: 不在着信

③ **発信アイコン**

タップすると発信します。

④ **グループアイコン**

同じ相手の通話履歴が連続した場合、履歴が1つのグループにまとめられていることを示します。グループアイコンのある履歴を選択して、グループ内の履歴の表示／非表示を切り替えることができます。

2 電話をかける履歴の をタップ

memo

◎通話履歴は最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、au電話の電源がOFFだったり、機内モード中だったり、電波の届かない場所にいた際、お留守番サービスに着信があったことをお知らせするサービスです。

お留守番着信お知らせには、「お留守番サービス」(▶P.194)で伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」(▶P.196)と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」(▶P.197)があります。

◎伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.195)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎ご契約時の設定は、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.195)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。

通話履歴のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 通話履歴一覧画面→

2

通話履歴を全件消去	履歴をすべて削除します。

■コンテキストメニューの場合

1 通話履歴一覧画面で履歴をロングタッチ

2

XXXXXX XXXXXに発信	電話をかけます。
詳細	連絡先詳細画面を表示します。 • 電話番号が電話帳に登録されている場合のみ選択できます。
発信前に番号を編集	電話番号を編集して発信します。
Cメールを送信	Cメールを作成します。 ▶P.99「Cメールを作成して送信する」
連絡先に追加	▶P.80「他の機能から電話帳へ登録する」
通話履歴から消去	通話履歴から消去します。

音声メモを利用する

通話中に音声を録音できます。録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。10件を超えると最も古い音声メモから自動的に削除されます。

通話中の音声を録音する

1 通話中に ☰ →[音声メモ]

録音を開始します。

2 [録音停止]／[通話終了]

「録音停止」をタップした場合は、録音を停止します。
「通話終了」をタップした場合は、録音を停止して通話を終了します。
音声メモの録音時間は最大約60秒間です。60秒を経過すると自動的に録音を終了します。

memo

◎音声メモでは、通話中の相手の音声と自分の音声がすべて録音されます。

音声メモを再生する

1 ホーム画面→ ▦ →[設定]→[通話設定]→[音声メモリスト]

音声メモリスト画面が表示されます。

2 再生する音声メモをタップ

音声メモが再生されます。

停止	音声メモの再生を停止します。
保護／解除	音声メモが自動的に削除されないように保護を設定／解除します。
削除	再生中の音声メモを削除します。
スピーカーON／スピーカーOFF	スピーカー／受話口で音声メモを聞くことができます。

memo

◎音声メモが複数ある場合、再生中に ◀◀ ／ ▶▶ をタップすると前／次の音声メモを再生できます。

電話帳

電話帳

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎「アカウントと同期」(▶P.174)を利用して、サーバに保存されたGoogleの電話帳などとIS11CAの電話帳を同期できます。(Google アカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogle アカウントを登録してください。)
◎電話帳にSNSのアカウントやIDを登録すると、SNSの情報を取得する際に、通信が発生します。

電話帳へ連絡先を登録する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[電話帳]→ [+]

電話帳編集画面が表示されます。

2 項目を編集

- 「その他」の項目を表示して編集するには、「● その他」をタップしてください。

[写真アイコン]	フォトを撮影するか、ギャラリーで画像を選択して登録します。 • 画像にGIFアニメを設定した場合、最初の1コマ目が登録されます。
姓	名前と読みがなを入力します。
名	
姓のよみがな	
名のよみがな	

電話番号		電話番号／メールアドレスを入力します。 • 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。 • 「携帯」をタップすると、ラベルを変更できます。ラベル変更時に「カスタム」をタップすると、ラベルを追加することができます。
メールアドレス		
グループ		グループを選択します。 • グループが1件も登録されていない場合は、グループを追加できます。(▶P.83「グループを追加する」)
SNS		**連絡先を新規登録／編集する場合** 連絡先と関連付けるSNS(Twitter、mixi、Facebook、GREE)のIDを追加します。 • SNSのIDを追加するには、あらかじめマイプロフィールの「SNS」にSNSのアカウントを追加する必要があります。(▶P.79「マイプロフィールを編集する」) **マイプロフィールを編集する場合** SNSのアカウントを登録します。
その他	住所	住所を入力します。
	GPS情報	位置情報をGPSで測位して登録します。 • 連絡先を編集する際は、GPS情報の更新、削除や、GPS情報の場所をGoogle マップに表示することができます。
	所属	会社名や役職などを入力します。 • 「仕事」をタップすると、ラベルを変更できます。ラベル変更時に「カスタム」をタップすると、ラベルを追加することができます。

その他	チャット	チャットのアカウントを入力します。 ・「AIM」をタップすると、ラベルを変更できます。ラベル変更時に「カスタム」をタップすると、ラベルを追加することができます。
	メモ	メモを入力します。
	ニックネーム	ニックネームを入力します。
	ウェブサイト	WEBサイトのURLを入力します。
	血液型	血液型を選択します。
	誕生日	誕生日を入力します。
	星座	星座を選択します。
	着信音	登録した連絡先から着信があった場合の着信音を選択します。 ・相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音」の設定は有効になりません。

4 [保存]

◎⊕／⊖をタップすると、項目を追加／削除できます。

連絡先編集画面のオプションメニューを利用する

1 連絡先編集画面→▤

2

保存	編集内容を登録して電話帳画面に戻ります。
キャンセル	編集内容を破棄して電話帳画面に戻ります。
削除	編集中の電話帳を削除します。
分割	電話帳を分割します。 ・電話帳に同じ名前や読みがなの電話帳が複数インポートされた場合は、自動的に統合され、1つの電話帳として表示されることがあります。 ・「分割」は、統合された電話帳の編集中のみ選択できます。
統合	電話帳を選択して統合します。

マイプロフィールを編集する

ご自分の名前や住所などの情報を追加登録できます。

1 ホーム画面→▦→[電話帳]→[マイプロフィール]

マイプロフィール画面が表示されます。

2 ✎

マイプロフィール編集画面が表示されます。

3 項目を編集

編集項目については、「電話帳へ連絡先を登録する」（▶P.78）の操作2をご参照ください。

4 [保存]

◎マイプロフィールの1件目の電話番号は、IS11CAの電話番号です。編集したり、削除することはできません。

◎マイプロフィール画面→▤→[共有]と操作すると、マイプロフィールを赤外線、Bluetooth®機能などで送信します。「項目変更」をタップすると、送信するマイプロフィールの項目を選択できます。

他の機能から電話帳へ登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどの情報を登録できます。

1 他の機能で電話帳に登録する操作を行う

■ 新規登録する場合

2 [連絡先を新規登録]

連絡先編集画面が表示されます。

3 項目を編集

編集項目については、「電話帳へ連絡先を登録する」(▶P.78)の操作2をご参照ください。

4 [保存]

■ 追加登録する場合

2 情報を追加したい連絡先をタップ

連絡先編集画面が表示されます。

3 項目を編集

編集項目については、「電話帳へ連絡先を登録する」(▶P.78)の操作2をご参照ください。

4 [保存]

電話帳の登録内容を利用する

1 ホーム画面→ →[電話帳]

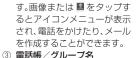
電話帳一覧画面が表示されます。

① **連絡先追加アイコン**

新規の連絡先を登録します。(▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」)

② **マイプロフィール/連絡先のアイコン**

マイプロフィール/連絡先に登録されている画像が表示されます。画像が登録されていない場合は、 が表示されます。画像または をタップするとアイコンメニューが表示され、電話をかけたり、メールを作成することができます。

③ **電話帳/グループ名**

タップすると、グループ一覧画面を表示します。(▶P.83「グループの連絡先を表示する」)

《電話帳一覧画面》

④ **検索アイコン**

タップすると、連絡先を検索できます。

⑤ **マイプロフィール**

マイプロフィールの登録内容を表示します。

⑥ **連絡先一覧**

連絡先の一覧です。連絡先をタップすると、連絡先詳細画面を表示します。

⑦ **インデックスバー**

タップした文字の連絡先をまとめて、電話帳一覧画面に表示します。

⑧ **通話履歴**

通話履歴一覧を表示します。(▶P.73「通話履歴を利用して電話をかける」)

⑨ **ダイヤル**
電話番号入力画面を表示します。（▶P.70「電話をかける」）

⑩ **電話帳**
他の画面を表示中にタップすると、電話帳一覧画面を表示します。

⑪ **お気に入り**
お気に入り画面を表示します。（▶P.84「お気に入りを利用する」）

⑫ **近況**
連絡先に登録したSNS（Twitter、mixi、Facebook、GREE）の更新情報を時系列順に一覧表示します。（▶P.85「近況を確認する」）

2 連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

《電話帳詳細画面》

① **連絡先のアイコン**
連絡先に登録されている画像が表示されます。連絡先に画像が登録されていない場合は、が表示されます。画像またはをタップするとアイコンメニューが表示され、電話をかけたり、メールを作成することができます。

② **登録項目**
登録内容をタップすると、登録項目に対応したアプリケーションを起動して、電話をかけたり、メールを作成することなどができます。

③ **お気に入りアイコン**
タップすると、連絡先をお気に入りに登録します。（▶P.84「お気に入りに連絡先を登録する」）

④ **編集アイコン**
タップすると、連絡先を編集できます。（▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」）

⑤ **電話アイコン**
表示されている電話番号に電話をかけます。

⑥ **Cメールアイコン**
表示されている電話番号に宛てたCメールを作成できます。

⑦ **プロフィール**
他の画面を表示中にタップすると、連絡先詳細画面を表示します。

⑧ **連絡履歴**
連絡先との連絡手段や履歴を時系列順に連絡履歴画面に表示します。連絡履歴画面の履歴のふきだしをタップすると、ふきだしの内容に応じた詳細が表示されます。

⑨ **近況**
連絡先に登録したSNS（Twitter、mixi、Facebook、GREE）の更新情報を時系列順に一覧表示します。

連絡先をインポート／エクスポートする

1 電話帳一覧画面→目→［その他］→［インポート／エクスポート］

2

SDカードからインポート	microSDメモリカードに保存されている連絡先のvCardファイルを読み込みます。
SDカードにエクスポート	すべての連絡先をvCardファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。
表示可能な連絡先を共有	連絡先をBluetooth®機能やメール添付などで送信します。

連絡先を赤外線受信する

1 電話帳一覧画面→目→［その他］→［赤外線受信］→［OK］

■赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、IS11CAの赤外線ポート部分を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま、動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo

◎赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎IS11CAの赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎送受信時に認証コードの入力が必要になる場合があります。認証コードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎赤外線通信中に着信、アラームなど、他のアプリケーションが起動した場合、赤外線通信は終了します。

電話帳のメニューを利用する

■電話帳一覧画面のオプションメニューを利用する

1 電話帳一覧画面→▤

2

新規登録		▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
Link		連絡先とSNS（Twitter、mixi、Facebook、GREE）のIDを関連付けます。 • 連絡先とSNSのIDを関連付けるには、あらかじめマイプロフィールの「SNS」にSNSのアカウントを追加する必要があります。（▶P.79「マイプロフィールを編集する」）
グループ一覧		グループの一覧が表示され、タップするとそのグループに登録されている連絡先の一覧が表示されます。
表示オプション		表示の設定を変更できます。また、アカウントごとに表示する連絡先を設定します。
検索		連絡先を検索します。
その他	連絡先削除	連絡先を選択して削除します。
	アカウント	▶P.174「アカウントと同期の設定をする」
	インポート／エクスポート	▶P.81「連絡先をインポート／エクスポートする」
	赤外線受信	▶P.81「連絡先を赤外線受信する」

■電話帳一覧画面のコンテキストメニューを利用する

1 電話帳一覧画面→連絡先をロングタッチ

2

詳細	連絡先詳細画面を表示します。
発信	メインの電話番号に電話をかけます。

電話帳

Cメール送信	メインの電話番号に宛てたCメールを作成します。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	お気に入りに追加します。 ・お気に入りに登録されている連絡先の場合は、「お気に入りから削除」と表示され、タップするとお気に入りから削除されます。
編集	▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
削除	連絡先を削除します。

■ 連絡先詳細画面のオプションメニューを利用する

1 連絡先詳細画面→≡

2

編集	▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
削除	表示中の連絡先を削除します。
オプション	着信音を変更できます。
共有	表示中の連絡先を赤外線、Bluetooth®機能、メール添付などで送信します。(▶P.82「赤外線の利用について」) ・「項目変更」をタップすると、送信する連絡先の項目を選択できます。

■ 連絡先詳細画面のコンテキストメニューを利用する

1 連絡先詳細画面→項目をロングタッチ

2

発信	メインの電話番号に電話をかけます。
Cメール送信	メインの電話番号に宛てたCメールを作成します。
メインの番号に設定する	メインの電話番号に設定します。
メールを送信	アプリケーションを選択して、登録されているメールアドレスにメールを送信します。
メインのアドレスに設定	メインのメールアドレスに設定します。
地図でみる	住所の場所を地図で表示します。

グループを利用する

グループを追加する

1 電話帳一覧画面→≡→[グループ一覧]

グループ一覧画面が表示されます。

2 ≡→[グループ追加]

3 グループ名を入力→[完了]

連絡先をグループに登録する

1 電話帳一覧画面→≡→[グループ一覧]

グループ一覧画面が表示されます。

2 連絡先を追加したいグループをタップ

グループ画面が表示されます。

3 ≡→[グループへ追加]

4 連絡先にチェックを入れる→[完了]

グループの連絡先を表示する

1 電話帳一覧画面→≡→[グループ一覧]

グループ一覧画面が表示されます。

2 表示したいグループをタップ

グループに登録されている連絡先の一覧がグループ画面に表示されます。電話帳一覧画面と同様に連絡先を利用できます。

memo

◎グループ画面上部のグループ名をタップ→[電話帳]と操作すると、電話帳一覧画面に戻ります。

グループ画面のオプションメニューを利用する

1 グループ画面→▤

2

グループ削除	表示中のグループを削除します。 • 連絡先は削除されません。
グループ名変更	グループの名前を変更します。
グループから削除	グループから連絡先を削除します。 • 登録されている電話帳自体は削除されません。
グループへ追加	▶P.83「連絡先をグループに登録する」
グループメール作成	グループに登録されているすべての連絡先のメールアドレスを宛先としたメールを作成します。 • 連絡先に複数のメールアドレスが登録されている場合は、メインのメールアドレスに設定されているメールアドレスが対象となります。(▶P.83「連絡先詳細画面のコンテキストメニューを利用する」)

お気に入りを利用する

お気に入りに連絡先を登録する

1 電話帳一覧画面→お気に入りに登録したい連絡先をタップ

連絡先詳細画面が表示されます。

2 グレーの☆をタップ

◎お気に入りに登録されている連絡先の場合は連絡先詳細画面に黄色の☆が表示され、☆をタップするとお気に入りから削除できます。

お気に入りを表示する

1 電話帳一覧画面→[お気に入り]

お気に入り画面が表示されます。

お気に入り画面には、よく使う連絡先とお気に入りに登録されている連絡先の一覧が表示されます。

電話帳一覧画面と同様に連絡先を利用できます。

お気に入り画面のオプションメニューを利用する

1 お気に入り画面→▤

2

お気に入りに追加		連絡先を選択して、お気に入りに追加します。
お気に入りから削除		お気に入りから連絡先を削除します。 • 登録されている連絡先自体は削除されません。
検索		連絡先を検索します。
新規登録		▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
アカウント		▶P.174「アカウントと同期の設定をする」
その他	よく使う連絡先の表示消去	よく使う連絡先の表示を消去します。 • 表示されている連絡先自体は削除されません。
	インポート／エクスポート	▶P.81「連絡先をインポート／エクスポートする」

近況を確認する

連絡先に登録したSNS（Twitter、mixi、Facebook、GREE）の更新情報を時系列順に一覧表示します。

1 電話帳一覧画面→［近況］

2 更新内容をタップ

3 SNSの更新情報をタップ

タップしたSNSのページをブラウザで表示します。

memo

◎ SNSの更新情報を表示するには、連絡先の「SNS」にSNSのIDを追加する必要があります。（▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」）

メール

メールについて

IS11CAでは、以下のメールアプリケーションを利用できます。

■Eメール

Eメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるauのサービスです。文章の他、フォトやムービーなどのデータを送ることができます。
メールアドレスは、ドメイン名(@マークより右側の部分)が「@ezweb.ne.jp」です。

■Cメール

Cメール対応のau電話同士および他社携帯電話(ショートメッセージサービス対応機種)との間で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

■PCメール

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントをIS11CAに設定し、パソコンと同じようにIS11CAからメールを送受信できます。

■Gmail

GmailはGoogleのメールサービスです。IS11CAにGoogle アカウントを登録するとGmailが利用できます。IS11CAのGmailで送受信したメールは、パソコンのブラウザからも確認できます。また、パソコンのブラウザでGmailを操作するとIS11CAのGmailにも反映されます。

Eメールを利用する

- IS11CAの「Eメール」アプリを利用するには、パケット通信接続が必要です。また、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、「IS11CA設定ガイド」および「初期設定を行う」(▶P.37)をご参照ください。
- Eメールを利用するには、IS NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎Eメールは海外でもご利用になれます。詳しくは、「グローバルパスポートCDMA／GSM」(▶P.208)および「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。
◎Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面→ [アイコン] →[Eメール] →[新規作成]

Eメール作成画面が表示されます。

《Eメール作成画面》

2 本文を入力

Eメール作成画面で「装飾」をタップすると、本文の文字の色や背景色を変更したり、デコレーション絵文字を挿入して、デコレーションメールを作成することができます。

3 [宛先]

4

アドレス帳個人	Eメールアドレス帳に登録されているメールアドレスを選択して宛先に入力します。
アドレス帳グループ	Eメールアドレス帳に登録されているグループを選択してメールアドレスを宛先に入力します。
送信履歴	送信履歴を選択してメールアドレスを宛先に入力したり、履歴を削除できます。
受信履歴	受信履歴を選択してメールアドレスを宛先に入力したり、履歴を削除できます。
直接入力	メールアドレスを直接宛先に入力します。
自分のアドレス	自分のメールアドレスを宛先に入力します。
キャンセル	宛先の入力をキャンセルします。

5 [件名]→件名を入力→[本文の編集に戻る]

6 [送信]

memo

◎デコレーションアニメおよびデコレーションメールテンプレートには対応していません。

◎microSDメモリカードに保存されているデコレーション絵文字や画像データをEメールの本文に挿入する場合は、Eメール作成画面→[装飾]→ [アイコン] →[そのまま使う]と操作して、ギャラリーから選択してください。

◎Eメール作成画面で「保存」をタップすると、編集中のEメールを「下書き」フォルダに保存できます。

■データを添付する場合

1 Eメール作成画面→[添付]

添付ファイル一覧が表示されます。

2 [添付ファイルを追加]

3

SDカードから選択	microSDメモリカードからファイルを選択して添付します。
ギャラリーから選択	ギャラリーからファイルを選択して添付します。
写真を撮影	フォトを撮影して添付します。
キャンセル	添付ファイルの追加をキャンセルします。

4 [本文の編集に戻る]

Eメール作成画面に戻ります。

memo

◎添付ファイル一覧で添付済みのファイルをタップすると、添付ファイルの削除／再指定ができます。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信すると

Eメールの受信を完了すると、ステータスバーに [icon] が表示され、「Eメール受信時の動作を設定する」(▶P.98)で設定した通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 [Eメール]

Eメール画面が表示されます。
お買い上げ時の設定では、受信したEメールは「受信ボックス」に保存されます。

4 受信したEメールが保存されているフォルダをタップ→読みたいEメールをタップ

Eメールの内容が表示されます。

memo

◎IS11CAの端末内部メモリの空き容量がなくなると、Eメールを受信できなくなります。Eメールを受信できない場合は、保存しているEメールを削除するなどして、端末内部メモリの空き容量を増やしてください。

新着メールを問い合わせて受信する

「受信･表示設定」(▶P.94)の「メール自動受信」をOFFに設定している場合や、自動受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面→ [icon] →[Eメール]→[新着確認]

送受信したEメールを確認する

1 ホーム画面→ [icon] →[Eメール]

Eメール画面が表示されます。
- 次のフォルダが用意されています。

Eメール
受信ボックス 1/1
送信済ボックス
未送信ボックス
下書き
インフォボックス
ゴミ箱
新規作成 新着確認 新規フォルダ 振り分け 選択

《Eメール画面》

フォルダ	説明
受信ボックス	受信メールが保存されます。
送信済ボックス	送信済みメールが保存されます。
未送信ボックス	未送信ボックスに保存されているすべてのEメールは、他のEメールを送信するときに同時に送信されます。 • 未送信ボックスにEメールを移動するには、メール一覧画面→[他メニュー]→[選択]→Eメールをタップ→[移動]→[未送信ボックス]と操作してください。

メール

フォルダ	説明
下書き	作成途中で保存したEメールが保存されます。
インフォボックス	インフォボックスには、auから送信されるコンテンツに関する広告が記載された「EZホットインフォ」やauからの重要なお知らせをお伝えするメールなど、通信料無料で配信されるメッセージが保存されます。
ゴミ箱	削除したEメールが保存されます。
未読	すべての未読メールを表示できます。
全てのメール	すべての受信メールを表示できます。

2 フォルダをタップ

フォルダ内のEメールを「一覧表示」または「全画面」で表示できます。

一覧表示	画面を上下に分割して表示します。上段にはEメールの一覧が表示され、下段にはEメールの本文が表示されます。 • Eメール設定で「一覧にプレビューを表示」を有効にした場合に、分割して表示されます。（▶P.98「メールの表示方法を設定する」）
全画面	Eメールの内容が全画面表示されます。

• 画面下部の「一覧表示」／「全画面」をタップすると、表示を切り替えられます。

メール一覧画面の見かた

：未開封
：開封済み／送信済み
：返信済み
：転送済み
など：添付ファイル有
など：本文、添付ファイル未受信

《受信ボックス一覧画面》

3 内容を確認したいEメールをタップ

Eメールの内容が表示されます。

• 受信メールの内容を表示中に送信者のメールアドレスをタップ→[電話帳登録]と操作すると、メールアドレスをEメールアドレス帳／電話帳に登録できます。
• 受信メールの内容を表示中に送信者のメールアドレスをタップ→[拒否リスト登録]と操作するか、[他メニュー]→[指定拒否]→[登録]と操作すると、送信者のメールアドレスが「指定拒否リスト設定」に登録されます。
• 添付ファイルを開く場合は、[詳細]→[開く]と操作します。添付ファイルを開かずに保存する場合は「保存する」をタップします。
• 「受信・表示設定」（▶P.94）の設定により本文や添付ファイルが未受信の場合は、[全文受信]→[はい]と操作すると本文や添付データを受信します。
• デコレーション絵文字などのインライン画像をmicroSDメモリカードに保存する場合は、[他メニュー]→[詳細情報]→[インライン画像]と操作し、保存したいインライン画像の をタップします。「インライン全件保存」をタップすると、インライン画像がすべて保存されます。

Eメールに返信する

1 返信したいEメールの本文を表示→[返信]

Eメール作成画面が表示されます。

2 本文を入力→[送信]

Eメールを削除する

1 メール一覧画面→[他メニュー]→[選択]

削除したいEメールをタップしてチェックを入れてください。

2 [削除]

memo

◎「受信ボックス」「未読」「全てのメール」または作成したフォルダのメール一覧画面→☰→[その他]→[全件削除]→[OK]と操作すると、フォルダ内のEメールをすべて削除できます。
◎「送信済ボックス」「未送信ボックス」「下書き」「インフォボックス」のメール一覧画面→☰→[全件削除]→[OK]と操作すると、フォルダ内のEメールをすべて削除できます。
◎削除したEメールは、「ゴミ箱」フォルダに移動されます。完全に削除するには、「ゴミ箱」フォルダからEメールを削除してください。
◎Eメール画面→☰→[ゴミ箱を空にする]→[OK]と操作すると、「ゴミ箱」フォルダからすべてのEメールを削除できます。

Eメールを検索する

1 Eメール画面→フォルダをタップ→☰→[検索]

2 [全条件に一致]/[いずれかに一致]→[OK]

「全条件に一致」を選択すると、設定した条件すべてに一致したEメールが一覧表示されます。
「いずれかに一致」を選択すると、設定した条件のうち1つでも一致したEメールが一覧表示されます。

3 検索条件を設定

「未選択」をタップして検索条件を設定します。

4 [OK]

フォルダを利用する

フォルダを作成したり、振り分け条件を設定することができます。
振り分け条件を設定すると、メールを受信したときに条件に一致したメールが自動的にフォルダに移動します。

フォルダを作成する

1 Eメール画面→[新規フォルダ]

2 フォルダの名前を入力

・フォルダを保護する場合は「フォルダを保護する」をタップしてチェックを入れてください。

3 [OK]

memo

◎フォルダの名前を変更したり、保護設定を変更する場合は、Eメール画面→[選択]→設定を変更するフォルダをタップして選択→[詳細情報]→設定を変更→[OK]と操作してください。
◎フォルダを削除する場合は、Eメール画面→[選択]→削除するフォルダをタップして選択→[削除]→[OK]と操作してください。ただし、お買い上げ時に設定されているフォルダ、保護したフォルダは削除できません。

振り分け登録する

登録した振り分け条件に該当するメールを受信すると、自動的に登録したフォルダにメールが振り分けられます。

1 Eメール画面→[振り分け]

2 振り分け条件を設定するフォルダをタップ

3 [全条件に一致]／[いずれかに一致]

「全条件に一致」を選択すると、設定した条件すべてに一致した場合に振り分けられます。
「いずれかに一致」を選択すると、設定した条件のうち1つでも一致した場合に振り分けられます。

4 振り分け条件を設定

「未選択」をタップして振り分け条件を設定します。
検索項目を設定する際に が表示される場合があります。タップすると電話帳から引用できます。

5 [OK]

Eメールアドレス帳を利用する

Eメール専用のアドレス帳を利用できます。電話帳（▶P.78）の情報をEメールアドレス帳にコピーすることもできます。

Eメールアドレス帳を登録する

1 Eメール画面→ →[Eメールアドレス帳]

Eメールアドレス帳一覧画面が表示されます。
- Eメールアドレス帳が1件も登録されていない場合は、本体の電話帳の情報を読み込むかどうかを選択するメッセージが表示されます。
- 「追加」をタップすると、Eメールアドレス帳を追加できます。

2 Eメールアドレス帳をタップ

グループ一覧画面が表示されます。
- 「追加」をタップすると、グループを追加できます。

3 グループをタップ

個人一覧画面が表示されます。

4 [追加]

個人データ編集画面が表示されます。

5 項目を選択して編集

画像	画像を登録できます。
個人の名前	個人の名前を登録できます。
よみがな	名前の読みがなを登録できます。
グループ登録先	登録するグループを選択できます。 • 操作2であらかじめグループを追加してください。
指定全受信	「メール受信方法」（▶P.94）を「Eメールアドレス帳指定全受信」に設定したときに、メールを受信するかどうかを設定します。
ニックネーム	ニックネームを登録できます。
着信音	着信音を設定できます。
電話番号	電話番号を登録できます。
メールアドレス	メールアドレスを登録できます。
ノート	任意のテキストを登録できます。

6 [OK]

memo

◎操作5で「項目追加」をタップすると、「メールアドレス」「電話番号」「イベント」「住所」を追加登録できます。
◎電話帳をEメールアドレス帳にコピーしてから電話帳を変更した場合は、再読み込みしないと変更内容はEメールアドレス帳には反映されません。
◎Eメールアドレス帳一覧画面→ →[電話帳の再読み込み]と操作すると、電話帳の情報をEメールアドレス帳にコピーできます。

Eメールアドレス帳の内容を確認する

1 Eメールアドレス帳一覧画面 →Eメールアドレス帳をタップ

グループ一覧画面が表示されます。

2 グループをタップ

個人一覧画面が表示されます。

3 確認したい個人データをタップ

個人データ編集画面が表示され、内容を編集することもできます。

memo

◎Eメールアドレス帳一覧画面→[選択]→[削除]と操作すると、選択したEメールアドレス帳に含まれる内容が全件削除されます。

◎グループ一覧画面→[選択]→[削除]と操作すると、グループを削除できます。ただし、グループに個人データが登録されている場合は削除できません。

◎個人一覧画面→[選択]→[削除]と操作すると、個人データを削除できます。

◎個人データ編集画面→≡→[本体電話帳に新規登録]と操作すると、個人データの内容を電話帳に新規登録できます。

Eメールアドレス帳をバックアップする

Eメールアドレス帳をmicroSDメモリカードにバックアップしたり、vCard形式で保存できます。

1 Eメールアドレス帳一覧画面→≡

2

項目	説明
インポート	microSDメモリカードにバックアップした内容をEメールアドレス帳に戻します。
エクスポート	Eメールアドレス帳をmicroSDメモリカードに書き出します。
vCard読み込み	vCard形式のファイルを読み込んで、Eメールアドレス帳に登録します。
vCard書き出し	Eメールアドレス帳をvCard形式のファイルとして保存します。

Eメールアドレス帳を初期化する

1 Eメールアドレス帳一覧画面→≡ →[Eメールアドレス帳初期化]

Eメールを設定する

受信に関する設定をする

1 Eメール画面→≡→[設定]→[Eメール設定] →[受信・表示設定]

2

項目		説明
メール自動受信		サーバに届いたメールを自動的に受信するかどうかを設定します。 ・自動的に受信しない設定にすると、メールを受信せずに新しいメールがサーバに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	Eメールアドレス帳指定全受信	Eメールアドレス帳（▶P.93）の「指定全受信」を有効に設定した相手からのメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していない相手からのメールは、差出人・件名のみを受信します。
	差出人・件名受信	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール画面→≡→[設定]→[Eメール設定]→[送信・作成設定]**

2

項目	説明
返信先アドレス	Eメールアドレス(マイアドレス)以外のアドレスへメールを返信してもらいたいときに設定します。
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。
冒頭文	メール本文に冒頭文を付加するよう設定します。有効にすると冒頭文の内容を編集できます。
署名	メール本文の末尾に署名を付加するよう設定します。有効にすると署名の内容を編集できます。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。
常に差出人のみに返信	複数人の宛先のメールを返信するときに、全員に返信するかどうかを設定します。

アドレスの変更やその他の設定をする

1 **Eメール画面→≡→[設定]→[Eメール設定]→[その他の設定]→[OK]**

2

項目		説明
Eメールアドレスの変更※1		Eメールアドレスは Eメールの初期設定を行うと自動的に決まりますが、初期設定時に決まったEメールアドレスは変更できます。 **1. 暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)※2を入力→[送信]** **2. [承諾する]** **3. Eメールアドレスの入力欄をタップ→Eメールアドレスの"@"の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用することはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルター		▶P.96「迷惑メールフィルターを設定する」
	カンタン設定はこちら	暗証番号を入力しないでカンタン設定の「「携帯」「PHS」「PC」メールを受信」に設定してインターネットからのなりすましメールを拒否できます。

自動転送先	IS11CAのEメールアドレス(@ezweb.ne.jp)で受信したメールを、自動的に転送するよう設定できます。 **1. 暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)※2を入力→[送信]** **2. 入力欄をタップ→自動転送したいEメールアドレスを入力→[送信]→[終了]** ・自動転送先のEメールアドレスは、2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

※1 予約アドレスがある場合は「予約アドレスの変更」が表示されます。画面の指示に従って、予約専用パスワードを入力すると、予約アドレスへ変更できます。
※2 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 Eメール画面→ ≡ →[設定]→[Eメール設定]→[その他の設定]→[OK]

2 [迷惑メールフィルター]→暗証番号の入力欄をタップ→暗証番号(4桁)を入力→[送信]

カンタン設定	1.「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHS・パソコンからのメールを受信する条件に設定します。
	2.「携帯」「PHS」メールのみを受信	パソコンからのメール・なりすましメール・自動転送メールを拒否して、携帯電話・PHSからのメールを受信する条件に設定します。
詳細設定	一括指定受信	インターネット、携帯電話からのEメールを一括で受信／拒否します。
	なりすまし規制	送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(中)(低)の3つの設定があります。
	指定拒否リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	指定受信リスト設定	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・指定受信リストに登録したアドレス以外のEメールをブロックする場合は、「一括指定受信」ですべてのチェックをはずして、受信拒否にしてください。

詳細設定	指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）	「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信します。
	HTMLメール規制	HTML形式のEメールを拒否します。
	URLリンク規制	URLが含まれるEメールを拒否します。
	拒否通知メール返信設定	迷惑メールフィルターで拒否されたEメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するかどうかを設定します。
設定確認／設定解除		迷惑メールフィルター設定状態の確認と、設定の解除ができます。
PC設定用ワンタイムパスワード発行		▶P.97「パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには」
設定にあたって		迷惑メールフィルターの設定を行う際の説明を表示します。

memo

◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

◎迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）＞なりすまし規制＞指定拒否リスト設定＞指定受信リスト設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞一括指定受信

◎指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。

◎「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、なりすましメールには返信されません。

◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。

◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。

◎「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを指定受信リスト設定（なりすまし・転送メール許可）に登録してください。

■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「PCから迷惑メールフィルター設定」にアクセスし、ワンタイムパスワードを入力して設定を行ってください。
PC設定用ワンタイムパスワードは、迷惑メールフィルター画面の「PC設定用ワンタイムパスワード発行」で確認できます。
ワンタイムパスワードが発行されてから15分以内にパソコンから「迷惑メールフィルター設定」に接続を行ってください。15分を過ぎるとワンタイムパスワードは無効となります。

メールの表示方法を設定する

1 **Eメール画面→ ▤ →[設定]→[表示設定]**

2

標準文字サイズ	メール本文の文字サイズを設定します。
一覧にプレビューを表示	フォルダ内のEメールを一覧表示したときに、Eメールの内容をプレビュー表示するかどうかを設定します。
画像の拡大表示	画像を拡大表示するかどうかを設定します。
画像を画面幅に合わせる	画像を画面の幅に合わせて表示するかどうかを設定します。
電話帳登録名の表示	電話帳にメールアドレスと名前が登録されている場合に、メールの宛先や差出人に名前を表示するかどうかを設定します。
電話番号をリンク	メール本文に電話番号が書かれていたときに、電話番号に下線を表示します。 • 下線が表示された電話番号をタップすると、ダイヤルキー画面が表示されます。
メールアドレスをリンク	メール本文にメールアドレスが書かれていたときに、メールアドレスに下線を表示します。 • 下線が表示されたメールアドレスをタップすると、Eメール作成画面が表示されます。
ウェブアドレスをリンク	メール本文にWEBページのURLが書かれていたときに、URLに下線を表示します。 • 下線が表示されたURLをタップすると、WEBページが表示されます。
外部コンテンツ読込	メールを表示する際に外部コンテンツのダウンロードが必要な場合の動作を設定します。

Eメール受信時の動作を設定する

1 **Eメール画面→ ▤ →[設定]→[通知設定]**

2

着信音を鳴らす	新着メールをお知らせする着信音を鳴らすかどうかを設定します。
標準の着信音	新着メールをお知らせする着信音を設定します。
着信音の鳴り分け	メールアドレスと着信音が登録されている場合に、その設定に従って新着メールをお知らせするかどうかを設定します。
着信鳴動時間(秒)	鳴動時間を設定します。
バイブレーション	新着メールをお知らせする振動パターンを設定します。
ステータスバー通知	新着メールを受信したときにステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
LED点滅	新着メールをお知らせするLEDランプの色を設定します。
メール着信時に起動	新着メールを受信したときに自動的にEメールを起動するかどうかを設定します。

Eメールをバックアップする

EメールやアカウントЖ情報などをmicroSDメモリカードにバックアップしたり、バックアップした内容をIS11CA本体にコピーできます。

1 **Eメール画面→ ▤ →[設定]→[バックアップ]**

2

SDカードへ保存する	microSDメモリカードにバックアップします。
SDカードから復元する	microSDメモリカードにバックアップした内容をIS11CAに戻します。

memo

他のau電話などで保存したEメールを読み込むには

◎ 他のau電話などでmicroSDメモリカードに保存したEメールを読み込むには、次のように操作してください。
Eメール画面→ ▤ →[インポート]→必要に応じてフォルダをタップしてEメールのファイルが保存されているフォルダを表示→[OK]→読み込み先のフォルダをタップ

削除いたします。Cメールでご利用できる文字数が、全角70／半角140文字まで拡張されました。

◎表示したフォルダに保存されているEメールのファイルは、すべて読み込まれます。
◎読み込み先のフォルダは、「受信ボックス」または「フォルダを作成する」(▶P.92)で作成したフォルダから選択できます。
◎読み込み可能なファイルは、vMessageファイルまたはemlファイルです。
◎ファイルによっては、読み込めない場合があります。

Cメールを利用する

Cメールは、Cメール対応のau電話同士および他社携帯電話(ショートメッセージサービス対応機種)との間で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

memo

◎Cメールは機能拡張が予定されています。機能拡張の内容と対応時期については、auホームページでお知らせします。

Cメールを作成して送信する

漢字･ひらがな･カタカナ･英数字･記号･絵文字･顔文字のメッセージ(Cメール本文)を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 ホーム画面→ → [Cメール] → [新規作成]

Cメール作成画面が表示されます。

2 「To」欄に相手の電話番号を入力

連絡先の「携帯」に電話番号を登録している相手の方にCメールを送信する場合は、電話帳に登録した名前を入力すると相手の方の電話番号が表示されます。

3 「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力

~~本文は全角50／半角100文字まで入力できます。~~

本文は全角70／半角140文字まで入力できます。

4 [送信]

相手の方にCメールが届くと、相手の方にCメールが届いた旨のメッセージが表示されます。

◎全角51／半角101文字以上のCメールは、送信先によっては分割されて2通のCメールとして受信されます。

memo

◎操作2で「電話帳」をタップすると、電話番号が登録されている連絡先の一覧が表示され、タップすると「To」欄に入力できます。
◎操作3で を押すと、Cメールを送信せずに下書きとして保存できます。
◎同じ相手にCメールを送信するときは、Cメール一覧表示画面からもCメールを送信できます。

送信するCメールの文字数、

◎相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい：Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ：Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールはスレッドに保存されます。
◎Cメールセンターは、次の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、次の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS11CAで通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

~~◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。~~

削除いたします。「発信者番号通知」を無効に設定しても、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。

◎契約期間の条件により送信数に制限があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「通信エラーしばらくたってから送り直してください」と表示される場合があります。

Cメールを受信する

1 Cメールを受信すると

Cメールの受信を完了すると、ステータスバーに が表示され、「Cメールを設定する」(▶P.103)で設定した通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック/ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 Cメール受信のお知らせをタップ

受信したCメールを含むスレッドが表示されます。

- 複数の人からCメールを受信したときは、スレッド一覧表示画面が表示されます。読みたいスレッドをタップしてください。

memo

◎IS11CAの端末内部メモリの空き容量がなくなるとCメールを受信できなくなります。Cメールを受信できない場合は、保存しているCメールを削除するなどして、端末内部メモリの空き容量を増やしてください。
◎電話帳に登録されている電話番号とCメールの送信元の電話番号が一致した場合は、Cメール受信時に電話帳の名前が表示されます。
◎Cメールの受信料は、無料です。
◎送信相手の方の電話番号を確認できます。
◎受信できるCメールは、Cメール対応のau電話からのCメールおよび他社携帯電話(ショートメッセージサービス対応機種)からのショートメッセージのみです。
◎受信したCメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎全角51/半角101文字以上のCメールは、分割され2通のCメールとして受信します。

送受信したCメールを確認する

同一の電話番号の相手と送受信したCメールは、1つのスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面→ →[Cメール]

スレッド一覧表示画面が表示されます。

《スレッド一覧表示画面》

① **スレッド**
② **電話帳に登録されている画像**
電話帳に登録されている画像が表示されます。電話番号が登録されていない場合や、電話帳に画像が登録されていない場合は、 が表示されます。
画像または をタップすると、電話帳に電話番号が登録されている場合は、アイコンメニューが表示され、電話をかけたり、メールを作成できます。電話帳に電話番号が登録されていない場合は、電話帳に登録できます。
③ **相手の電話番号または名前**
相手の電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
④ **スレッド内のCメールの数**
⑤ **スレッド内の最新のCメールの本文**
⑥ **下書き**
スレッドに未送信Cメールがあるときに表示されます。
⑦ **送信失敗アイコン**
スレッドに送信失敗Cメールがあるときに表示されます。

2 スレッドをタップ

Cメール一覧表示画面が表示されます。

- 「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力→[送信]と操作すると、スレッドの相手にCメールを送信できます。
- Cメールの右側に表示されるアイコンの意味は以下の通りです。
  ：送信失敗　：ロック中

Cメールのメニューを利用する

スレッド一覧表示画面のメニューを利用する

■ オプションメニューを利用する場合

1 スレッド一覧表示画面→≡

2

作成		▶P.99「Cメールを作成して送信する」
スレッドを削除		すべてのスレッドを削除します。
検索		Cメールの本文を検索します。
設定		▶P.103「Cメールを設定する」
インポート／エクスポート	SDカードからインポート	microSDメモリカードに保存されているCメールのvMessageファイルを読み込みます。
	SDカードにエクスポート	すべてのCメールをvMessageファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。

■ コンテキストメニューを利用する場合

1 スレッド一覧表示画面→スレッドをロングタッチ

2

Cメール一覧表示	スレッド内のCメールを一覧で表示します。
電話帳に追加	▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
電話帳を表示	電話番号が登録されている連絡先を表示します。
スレッドを削除	ロングタッチしたスレッドを削除します。

memo

◎表示する項目はスレッドにより異なります。

Cメール一覧表示画面のメニューを利用する

■ オプションメニューを利用する場合

1 Cメール一覧表示画面→≡

2

発信		スレッドの相手に電話をかけます。
電話帳を表示		電話番号が登録されている連絡先を表示します。
送信		Cメールを送信します。
破棄		未送信のCメールを破棄します。
スレッドを削除		表示中のスレッドを削除します。
スレッド一覧		スレッド一覧表示画面に戻ります。
インポート／エクスポート	SDカードからインポート	microSDメモリカードに保存されているCメールのvMessageファイルを読み込みます。
	SDカードにエクスポート	すべてのCメールをvMessageファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。
電話帳に追加		▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」

◎表示する項目はスレッドにより異なります。

■ コンテキストメニューを利用する場合

1 Cメール一覧表示画面→Cメールをロングタッチ

2

メッセージをロック／メッセージのロックを解除	削除されないようにCメールをロックします。 ・ロックされているCメールの場合は、「メッセージのロックを解除」と表示され、タップするとロックを解除します。
編集	本文を編集します。 ・送信失敗したCメールのみ編集できます。
発信	スレッドの相手に電話をかけます。
電話帳に追加	▶P.78「電話帳へ連絡先を登録する」
メールを送信	EメールまたはGmailでメールを作成できます。 ・本文にEメールアドレスがある場合にロングタッチすると項目が表示されます。
転送	Cメールを転送します。
メッセージテキストをコピー	Cメールをコピーします。
メッセージの詳細を表示	Cメールの送受信結果を確認できます。
メッセージを削除	Cメールを削除します。

memo

◎表示する項目はCメールにより異なります。

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

memo

◎Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のCメールは、通常のCメール（ぷりペイド送信含む）です。お留守番サービス（伝言お知らせ、着信お知らせ）は、対象外です。

■ Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※設定時のCメール送信は無料です。
※設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、~~「09044440013」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。~~

~~・送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。~~

「ご指定の相手へは送信できません」とエラーメッセージが表示され、送信はされません。

削除いたします。

メール

Cメールを設定する

1 **スレッド一覧表示画面→ →[設定]**

2

古いメッセージを削除	古いCメールを自動的に削除するかどうかを設定します。 ・スレッドに保存されているCメールが「テキストメッセージの制限件数」を超えると、そのスレッドの古いCメールから削除されます。
テキストメッセージの制限件数	スレッドごとにCメールを保存できる件数を設定します。
署名	Cメールの新規作成時に、本文にあらかじめ入力される署名を設定します。 ・署名は、全角40／半角80文字まで入力できます。 ・Cメールを転送するときは、署名は入力されません。
蓄積機能	Cメールの送信が失敗した場合、送信したCメールをCメールセンターに自動蓄積するかどうかを設定します。 **選択蓄積**：そのつど蓄積するかどうかを選択する。 **自動蓄積**：自動的にCメールセンターに蓄積する。
通知	新着のCメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	新着のCメールを受信したときの着信音を設定します。
バイブレーション	新着のCメールを受信したとき、バイブレータの振動で通知するかどうかを設定します。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを設定すると、パソコンと同じようにIS11CAからメールを送受信できます。

memo

◎PCメールを利用するには、パケット通信接続または無線LAN接続が必要です。

メールアカウントを登録する

PCメールを利用してメールを送受信するには、メールアカウントを設定する必要があります。

1 **ホーム画面→ →[PCメール]**

初めてPCメールを起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。

2 **「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力**

3 **「パスワード」欄をタップ→パスワードを入力→[次へ]**

メールサーバを自動的に設定します。

メールサーバが自動的に設定されない場合、または「手動セットアップ」をタップした場合は、ユーザー名やメールサーバを設定する必要があります。詳しくは、「手動でメールアカウントを登録する」(▶P.104)をご参照ください。

4 **「アカウントに名前を付ける」欄にアカウント名を入力**

省略した場合は、メールアドレスがアカウント名になります。

5 **「あなたの名前」欄をタップ→名前を入力→[完了]**

「あなたの名前」に入力した名前は、このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示される名前になります。

memo

◎2件目以降のアカウントを登録する場合は、▤→[アカウント]と操作してアカウント一覧画面を表示してから、▤→[アカウントを追加]と操作してください。

手動でメールアカウントを登録する

メールサーバが自動的に設定されない場合や、手動でメールアカウントを設定する場合は、メールサーバの情報を設定します。

memo

◎あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

■例：au one メールを登録する場合

au one メールのアカウントを手動で登録する場合を例にとって説明します。

- PCメールでau one メールをご利用になるには、あらかじめau one メールのアカウントを取得し、IMAPを有効（初期値）にして、メールパスワードを設定する必要があります。
- ホーム画面→ ▦ →[au one]→[サポート]→[au one メールヘルプ]と操作し、「ヘルプ」の内容をご確認のうえ、設定を行ってください。

1 ホーム画面→ ▦ →[PCメール]

初めてPCメールを起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。

2 「メールアドレス」欄にメールアドレスを入力

3 「パスワード」欄をタップ→パスワードを入力→[手動セットアップ]

アカウントの種類を「POP3」「IMAP」「Exchange」から選択します。au one メールを利用する場合は、「IMAP」をタップします。

4 [IMAP]→受信サーバーの設定をする

ユーザー名	au one メールのメールアドレスを入力します。 •「@」の前までは自動的に入力されています。「@auone.jp」を追加してください。
パスワード	au one メールのメールパスワードを入力します。 • 自動的に入力されています。変更する必要はありません。
IMAPサーバー	「imap.gmail.com」を入力します。
ポート	「993」を入力します。 •「セキュリティの種類」で「SSL」を選択すると、自動的に「993」が入力されます。
セキュリティの種類	「SSL」を選択します。
IMAPパスのプレフィックス	必要な場合に入力します。

5 [次へ]→送信サーバーの設定をする

SMTPサーバー	「smtp.gmail.com」を入力します。
ポート	「587」を入力します。 •「セキュリティの種類」で「TLS」を選択すると、自動的に「587」が入力されます。
セキュリティの種類	「TLS」を選択します。
ログインが必要	メールの送信時にログインが必要かどうか設定します。 •「ログインが必要」に設定されています。変更する必要はありません。

ユーザー名	au one メールのメールアドレスを入力します。 • 自動的に入力されています。変更する必要はありません。
パスワード	au one メールのメールパスワードを入力します。 • 自動的に入力されています。変更する必要はありません。

6 [次へ]→「受信トレイの確認頻度」などを設定する

受信トレイを確認する頻度	新着メールの自動確認を、何分ごとに行うかを設定します。
いつもこのアカウントでメールを送信	メールを作成するときに、作成中のメールアカウントを使ってメールを送信するかどうかを設定します。
メールの着信を知らせる	新着メールがあることをお知らせするかどうかを設定します。

7 [次へ]→アカウント名などを設定する

このアカウントに名前を付ける	複数のメールアカウントを登録した際、メールアカウントを区別するために名前を入力します。 省略した場合は、メールアドレスが設定されます。
あなたの名前	このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示する名前を入力します。

8 [完了]

memo

◎ IS NET/au.NETを使用する場合、送信メールサーバのポート番号を25番に設定してるとメールを送信できません(OP25B)。送信メールサーバの設定について詳しくは、ご利用のサービスプロバイダへお問い合わせください。

◎ 新着メール自動確認の設定によっては、通信の頻度が多くなり、使用時間が短くなります。

◎ POP3サーバーを利用してメールを受信する場合、ご利用のプロバイダによってはIS11CAに保存されたメールが消える場合があります。Gmail、au oneメールをメールで受信する場合は、IMAPサーバーを利用してください。

メールアカウントの設定を変更する

1 設定を変更するメールアカウントの受信トレイを表示

「受信トレイを表示する」(▶P.106)をご参照ください。

2 ▤→[アカウントの設定]

3

アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	名前を設定します。 • このメールアカウントでメールを送信する際、差出人欄に表示されます。
署名	メール作成時に本文にあらかじめ入力される署名を設定します。
受信トレイの確認頻度	新着メールの自動確認を、何分ごとに行うかを設定します。 • 新着メールの自動確認を設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、メールを確認するたびに料金がかかります。
優先アカウントにする	統合受信トレイからメールを新規作成した場合などに、優先して利用されるメールアカウントにするかどうかを設定します。
メール着信通知	新着のメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	新着のメールを受信したときの着信音を設定します。

バイブレーション	新着のメールを受信したとき、バイブレータの振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信設定	受信サーバーの設定をします。
送信設定	送信サーバーの設定をします。

受信トレイを表示する

1 ホーム画面→ ▦ →[PCメール]

・初めて起動したときはメールアカウントの登録画面が表示されます。詳しくは、「メールアカウントを登録する」(▶P.103)をご参照ください。

memo

◎ ▤→[アカウント]と操作すると、アカウント一覧画面が表示されます。アカウント一覧画面でメールアカウントをタップすると、タップしたメールアカウントの受信トレイが表示されます。
アカウント一覧画面で「統合受信トレイ」をタップすると、複数のメールアカウントを登録している場合は、すべてのメールアカウントで受信したメールが統合受信トレイに表示されます。

メールを作成して送信する

memo

◎ 複数のメールアカウントを登録している場合は、メールの送信に利用するメールアカウントの受信トレイを表示してから操作してください。(▶P.106「受信トレイを表示する」のmemo)
◎ 統合受信トレイが表示されている場合は、アカウントの設定で「優先アカウントにする」が有効なメールアカウントが送信に利用されます。(▶P.105「メールアカウントの設定を変更する」)

1 受信トレイ画面→ ▤ →[作成]

メール作成画面が表示されます。

2 「To」欄に相手のメールアドレスを入力

CcやBccを追加する場合は、▤→[Cc／Bccを追加]と操作します。

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 「メッセージを作成」欄をタップ→メッセージを入力

ファイルを添付する場合は、▤→[添付ファイルを追加]と操作し、ファイルを選択します。

5 [送信]

memo

◎ 送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」の設定をしているとメールが届きません。

メールを受信する

1 メールを受信すると

メールの受信を完了すると、ステータスバーに ▣ が表示され、「メールアカウントの設定を変更する」(▶P.105)で設定した通知音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 [新着メール]

受信トレイ画面が表示されます。

4 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

新着メールを問い合わせて受信する

「受信トレイの確認頻度」(▶P.105)を「自動確認しない」に設定している場合や、メールの受信に失敗した場合は、受信トレイを更新することでメールを受信することができます。

1 受信トレイ画面→≡→[更新]

2 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

送受信したメールを確認する

1 受信トレイを表示

「受信トレイを表示する」(▶P.106)をご参照ください。

① **メール**

② **カラーバー**

色でメールアカウントを区別できます。何色がどのメールアカウントを示しているのかは、≡→[アカウント]と操作して、アカウント一覧画面を表示すると確認できます。

③ **チェック**

複数のメールにチェックを入れて、同じ操作をまとめて行うことができます。

④ **現在表示中のメールアカウント**

⑤ **スターアイコン**

タップすると、重要なメールの目印としてスターが付きます。

《受信トレイ画面》

2 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

メールに返信する

1 返信したいメールの内容を表示→[全員に返信]/[返信]

2 メッセージを入力→[送信]

memo

◎受信トレイ画面でメールをロングタッチ→[全員に返信]/[返信]と操作しても返信できます。

メールを削除する

1 削除したいメールの内容を表示→[削除]

memo

◎メール一覧画面でメールをロングタッチ→[削除]と操作しても削除できます。

送信済みのメールや下書きのメールを確認する

1 受信トレイ画面→≡→[フォルダ]

2 [下書き]/[送信済みメール]→確認したいメールをタップ

メールをインポート/エクスポートする

1 受信トレイ画面やアカウント一覧画面などで≡→[インポート/エクスポート]

2		
	SDカードからインポート	microSDメモリカードに保存されているメールのvMessageファイルを読み込みます。
	SDカードにエクスポート	すべてのメールをvMessageファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。

Gmail™を利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS11CAからGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」（▶P.37）をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、IS11CAの連絡先と同期します。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 ホーム画面→ ▦ →[Gmail]

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

Gmailでは、最初のメールへの返信が1つのスレッドにまとめて表示されます。スレッドをタップすると、送受信したメールを確認できます。ただしメールの件名が変更された場合は、新しいスレッドになります。

① **トレイ／ラベル名、未読メール件数**

② **スレッド**

③ **アカウント名**
表示している受信トレイのアカウント名を表示します。

④ **ラベル**
ラベルが設定されているスレッドに表示されます。

⑤ **添付ファイルアイコン**
ファイルが添付されているメールに表示されます。

⑥ **チェックボックス**
タップするとチェックが入り、メニューが表示されます。

⑦ **スターアイコン**
タップするとスター付きを設定／解除できます。
スター付きを設定すると、受信トレイ画面→ ▤ →[ラベルを表示]→[スター付き]で設定したメールのみを表示することができます。

《受信トレイ画面》

2 確認したいスレッドを選択

スレッドに含まれる未読メールが表示されます。

「×件の既読メッセージ」と表示されたときは、「×件の既読メッセージ」をタップすると既読メールの一部が表示され、既読メールの差出人の名前をタップすると、既読メールを確認できます。

memo

◎「アカウントと同期」（▶P.174）を利用して、サーバに保存されたGmailとIS11CAのGmailを同期できます。

Gmailを作成して送信する

1 受信トレイ画面→▤→[新規作成]

メール作成画面が表示されます。

2 「To」欄をタップ→宛先を入力

3 「件名」欄をタップ→件名を入力

4 「メッセージを作成」欄をタップ→本文を入力

5 ▣

◎Gmailで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側で「パソコンからの受信拒否」を設定していると、メールが届きません。

◎送信済みのメールを表示するには、受信トレイ画面→▤→[ラベルを表示]→[送信済みメール]と操作してください。

◎操作5で▣をタップすると、メールは下書きとして保存されます。下書きのメールを表示するには、受信トレイ画面→▤→[ラベルを表示]→[下書き]と操作してください。

Gmailを受信する

1 Gmailを受信すると

Gmailを受信すると、ステータスバーに✉が表示され、「Gmailを設定する」(▶P.110)で設定した着信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。

4 読みたいメールをタップ

メールの内容が表示されます。

◎受信トレイ画面→▤→[更新]と操作すると、Gmailのサーバと同期して、新着メールを受信できます。

Gmailを返信／転送する

1 返信したいメールに表示されている◂をタップ

2 [返信]／[全員に返信]／[転送]

スレッドをアーカイブする

スレッドをアーカイブ(保管)すると、受信トレイ画面に表示されなくなります。

1 受信トレイ画面→アーカイブしたいスレッドをタップ

2 [アーカイブ]

◎操作2の直後に受信トレイ画面に表示された「1件のスレッドをアーカイブしました。　取消」をタップすると、アーカイブを取り消すことができます。

◎アーカイブしたスレッドは、受信トレイ画面→▤→[ラベルを表示]→[すべてのメール]と操作すると表示できます。

スレッドを削除する

1 受信トレイ画面→削除したいスレッドをタップ

2 [削除]

memo

◎操作2の直後に受信トレイ画面に表示された「1件のスレッドを削除しました。　取消」をタップすると、削除を取り消すことができます。
◎スレッドに含まれる一部のメールを選択して削除することはできません。

Gmailを設定する

1 受信トレイ画面→目→[その他]→[設定]

2

優先トレイ	優先トレイをデフォルトの受信トレイにするかどうかを設定します。 •「優先トレイ」は、WEB版のGmailで優先トレイを有効にした場合のみ設定画面に表示されます。 •「優先トレイ」を有効にすると、Gmailを起動したときに新着メールがある場合は、受信トレイの代わりに優先トレイが開きます。また、重要なスレッドに新着メールがあるときのみ通知を受けるようになります。
署名	送信メールに付加する署名を設定します。
操作の確認	操作の確認のダイアログを表示するかどうかを設定します。
全員に返信	返信する際、毎回「全員に返信」するかどうかを設定します。
自動表示	スレッドの削除またはアーカイブ後に表示する画面を選択します。
メッセージの文字サイズ	メールの内容を表示する際の文字サイズを設定します。
バッチ操作	チェックボックスを表示してスレッドを複数選択できるようにするかどうかを設定します。
検索履歴を消去	Gmailで実行した検索履歴を消去します。
ラベル	同期するラベルを選択します。
メール着信通知	メール受信時に通知アイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メール受信時に鳴らす着信音を設定します。
バイブレーション	メール受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。
一度に通知する	新しいメールを一度に通知するかどうかを設定します。

インターネット

インターネットに接続する

IS11CAでは、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。
- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶P.112「データ通信サービスを利用する」）
- Wi-Fi（▶P.184「Wi-Fiを利用する」）

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。

データ通信サービスを利用する

IS11CAは、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスで、最大通信速度受信9.2Mbps／送信5.5Mbps（ご使用の環境によっては受信3.1Mbpsまたは2.4Mbps／送信1.8Mbpsまたは144Kbps）でのパケット通信によるインターネット接続を行うことができます。

「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、IS11CAを手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogle サービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

インターネット

ブラウザを利用する

サイトを表示する

1 ホーム画面→ [icon]

お買い上げ時は、Android向けのau one ホームページが表示されます。また、ランチャーで[au one]と操作すると、常にAndroid向けのau one ホームページがブラウザで表示されます。

URL 表示欄

《ブラウザ画面》

memo

◎ 非常に大きなWEBページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブラウザ画面での基本操作

◎ 次の操作ができます。

- タップ：リンクやキーを選択・実行できます。
- スライド／フリック：画面をスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：画面を拡大／縮小できます。
  （[icon]／[icon]をタップしても操作できます。）
- ダブルタップ：タップした位置をズームイン／ズームアウトできます。

※ WEBページによっては操作できない場合があります。

URL表示欄を利用する

キーワードを入力してウェブサイトの情報を検索したり、URLを入力してサイトを表示したりできます。

1 ブラウザ画面でURL表示欄をタップ

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目をタップ／URL表示欄の [→]

ブラウザ画面のメニューを利用する

■ **オプションメニューの場合**

1 ブラウザ画面→ [menu]

2

新しいウィンドウ		▶P.114「新しいウィンドウを開く」
ブックマーク		▶P.115「ブックマーク／履歴を利用する」
ウィンドウ		▶P.114「ウィンドウを切り替える」
再読み込み		表示中のWEBページを再読み込みします。
停止		WEBページの読み込みを中止します。
進む		[back]の操作でWEBページを表示している場合に、操作前に表示していたページに進みます。
その他	ホーム	ホームページを表示します。
	ブックマークを追加	▶P.115「ブックマークに登録する」
	ページ内検索	表示しているWEBページ内でテキストを検索します。
	テキストを選択してコピー	表示された文字列をコピーします。 ・表示された文字列をドラッグして指を離し、選択された文字列をタップするとコピーされます。

その他	ページ情報	表示しているWEBページの情報を表示します。
	ページを共有	表示しているWEBページのURLをBluetooth®機能やメール添付などで送信できます。
	ダウンロード履歴	▶P.115「ダウンロードの履歴を表示する」
	設定	▶P.116「ブラウザを設定する」
	証明書一覧	セキュリティ証明書の一覧を表示します。

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。

■コンテキストメニューの場合

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2

開く	選択したリンク先を表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したリンク先を新しいウィンドウで表示します。
リンクをブックマーク	選択したリンク先をブックマークに登録します。 ・登録時に名前や場所(URL)を編集できます。
リンクを保存	選択したリンク先をmicroSDメモリカードに保存します。
リンクを共有	選択したリンク先のURLをBluetooth®機能やメール添付などで送信できます。
URLをコピー	選択したリンク先のURLをコピーします。
画像を保存	選択した画像をmicroSDメモリカードに保存します。
画像を表示	選択した画像を表示します。
壁紙として設定	選択した画像を壁紙に設定します。
メールを送信	選択したメールアドレスにメールを送信します。
コピー	選択したメールアドレスや電話番号などの情報をコピーします。
発信...	選択した電話番号に電話をかけたり、Cメールを送信したりします。
連絡先を追加	選択した電話番号を連絡先に登録します。
地図	選択した位置情報の地図を表示します。

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。
◎壁紙に設定した画像は保存はされないため、壁紙を別の画像に変更すると元に戻すことはできません。また、他の機能で画像を利用することもできません。

ウィンドウを利用する

■新しいウィンドウを開く

新しいウィンドウを開き、ホームページに設定したWEBページを表示します。

1 ブラウザ画面→☰→[新しいウィンドウ]

■ウィンドウを切り替える

1 ブラウザ画面→☰→[ウィンドウ]

開いているウィンドウの一覧画面が表示されます。

2 ウィンドウをタップ

× をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

インターネット

ダウンロードの履歴を表示する

1 ブラウザ画面→▤→［その他］→［ダウンロード履歴］

ダウンロード履歴画面が表示されます。

2 データをタップ

データの種類に応じて、表示／再生されるなどします。

■ダウンロードしたデータを削除する

1 削除したいデータのチェックボックスをタップしてチェックを入れる

2 ［削除］

memo

◎表示される項目や操作できる項目は、データにより異なります。

◎ダウンロード履歴画面→▤→［サイズ順］／［時間順］と操作するとデータの表示方法を切り替えます。

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面→▤→［ブックマーク］

ブックマーク画面が表示されます。

① ブックマーク
　ブックマークの一覧を表示します。

② 「ブックマーク」タブ
　他の画面を表示中にタップすると、登録されているブックマークを表示します。

③ 「よく使用」タブ
　よく使用画面が表示されます。
　サイトの閲覧履歴を確認できます。

④ 「履歴」タブ
　履歴画面が表示されます。
　サイトの閲覧履歴を確認できます。

《ブックマーク画面》

2 ブックマーク／履歴をタップ

memo

◎閲覧履歴表示中に、★をタップすると、選択した履歴をブックマークに登録／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のWEBページをブックマークに登録します。

1 ブラウザ画面→▤→［ブックマーク］

2 ［追加］

ブックマーク登録画面が表示されます。
リスト表示のときは、「現在のページをブックマーク」をタップすると、ブックマーク登録画面が表示されます。

3 [OK]

ブックマーク画面／履歴画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 **ブックマーク画面／履歴画面→☰**

2

最後に表示したページをブックマークする	▶P.115「ブックマークに登録する」
リスト表示／サムネイル表示	ブックマークの表示方法を切り替えます。
インポート	microSDメモリカードに保存されているvBookmarkファイルを読み込みます。
エクスポート	すべてのブックマークをvBookmarkファイルとしてmicroSDメモリカードに保存します。
履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。

memo

◎表示している画面によっては、操作できない場合があります。

■ コンテキストメニューの場合

1 **ブックマーク画面／よく使用画面／履歴画面でブックマーク／履歴をロングタッチ**

2

開く	選択したブックマーク／履歴のWEBページを表示します。
新しいウィンドウで開く	選択したブックマーク／履歴のWEBページを新しいウィンドウで表示します。
編集	選択したブックマークを編集します。
ブックマークを追加	選択した履歴をブックマークに登録します。 • 登録時に名前や場所（URL）を編集できます。
ブックマークから削除	選択した履歴をブックマークから削除します。
ショートカットを作成	選択したブックマークのショートカットを、ホーム画面に作成します。
リンクを共有	選択したブックマーク／履歴のWEBページのURLをBluetooth®機能やメール添付などで送信できます。
URLをコピー	選択したブックマーク／履歴のページのURLをコピーします。
削除	選択したブックマークを削除します。
履歴から消去	選択した履歴を削除します。
ホームページとして設定	ブラウザを起動したときや新規ウィンドウを開いたときに表示するWEBページに設定します。

memo

◎選択したブックマーク／履歴によっては、操作できない場合があります。

ブラウザを設定する

1 **ブラウザ画面→☰→[その他]→[設定]**

ブラウザ設定画面が表示されます。

2

テキストサイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。
デフォルトの倍率	ブラウザ画面を表示したときのWEBページの倍率を設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開いたWEBページを全体表示するかどうかを設定します。

テキストエンコード	文字コードを変更します。
ポップアップブロック	ポップアップウィンドウの表示をブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	WEBページの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせてWEBページの表示やサイズを自動調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	WEBページを常に横表示するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。
バックグラウンドで開く	リンクを新しいウィンドウで開くとき、現在表示しているウィンドウのバックグラウンドで開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ブラウザを起動したときや、新しいウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。 **URLを入力→[OK]**
キャッシュを消去	サイトの閲覧時に保存したページデータ(キャッシュ)を削除します。
履歴消去	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
Cookieを受け入れる	サイトによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて消去	IS11CAに保存されているCookieをすべて削除します。
フォームデータを保存	サイトの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
フォームデータを消去	IS11CAに保存されているフォームデータをすべて削除します。
位置情報を有効にする	位置情報のアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報をクリア	サイトからの位置情報アクセスをすべて削除します。
パスワードを保存	サイトの閲覧中に入力したユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
パスワードを消去	IS11CAに保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
セキュリティ警告	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
検索エンジンの設定	検索エンジンを選択します。
ウェブサイト設定	▶P.118「ウェブサイト設定をする」
初期設定にリセット	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 • ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなどのIS11CAに保存されたデータは削除されません。

memo

◎ フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWEBページを遮断できます。
(▶P.168「フィルタリング設定をする」)

ウェブサイト設定をする

各サイトごとに、位置情報アクセスやダウンロードしたデータの削除ができます。

1 **ブラウザ設定画面→[ウェブサイト設定]**
ウェブサイト設定画面が表示されます。

2 **サイトをタップ**

■ 位置情報アクセスを削除する場合

3 **[位置情報アクセスをクリア]**

4 **[アクセスをクリア]**
サイトからの位置情報アクセスを削除します。

■ ダウンロードしたデータを削除する場合

3 **[保存したデータを消去]**

4 **[すべて消去]**
ダウンロードしたデータを削除します。

memo

◎ 選択したサイトによっては、操作できない場合があります。

■ ウェブサイト設定を削除する

1 **ウェブサイト設定画面→ ▤ →[すべて消去]**

2 **[すべてのデータを削除]**

インターネット

マルチメディア

カメラを利用する

カメラをご利用になる前に

- カメラを利用する際は、microSDメモリカードを取り付けてください。microSDメモリカードを取り付けていない場合は、メッセージが表示され、撮影できません。
- microSDメモリカードの状態によっては、正常にムービーを録画できない場合や、ムービー再生時に音声の音飛びや映像のコマ落ちなどが発生し、正常に再生できない場合があります。
- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- IS11CAを暖かい場所に長時間置いていて撮影したり、保存したときは画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりますのでご注意ください。
- 周波数に同期して点灯しているライトなどを撮影した場合、点滅または消灯した状態で撮影されてしまう場合がありますが、故障ではありません。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ムービー録画中は、本体を持ち替える際の音やキーを操作する際の音などが雑音として録音される場合があります。
- IS11CAで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。
- 次のような被写体の撮影ではピントが合いにくいため、「オートフォーカス」を「OFF」に設定して撮影することをおすすめします。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のある金属など明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - IS11CAからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
  - IS11CAを右から左、あるいは左から右へと振りながら撮影するとき
- 撮影ライトを目に近付けて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にシャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、終了時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時、カメラ終了時、オートフォーカス使用時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、カメラ機能を使用中に本体が温かくなるとアプリが終了する場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、オートフォーカス動作中に、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた画像などになる可能性があります。
- 不安定な場所にIS11CAを置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS11CAが落下するおそれがあります。
- カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合や冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がIS11CAのカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

フォトを撮影する

IS11CAは有効画素数約808万画素のCMOSカメラを搭載しており、最大8M（3,264×2,448ドット）のフォトを撮影できます。撮影したフォトはmicroSDメモリカードに保存され、ギャラリー（▶P.128）などで閲覧できます。

フォトモニター画面の見かた

1 ホーム画面→ [アプリ] →[フォト]

フォトモニター画面が表示されます。

《フォトモニター画面》

① **メニューアイコン：** [アイコン]
② **位置情報アイコン：** [アイコン]（ON） [アイコン]（OFF）
③ **撮影ライトアイコン：** [アイコン]（ON） [アイコン]（OFF）
④ **撮影サイズアイコン：**
8M（8M） 6M WIDE（6M（ワイド）） 5M（5M） 2M（2M）
0.3M（0.3M）
⑤ **ベストショットアイコン：**
BS OFF（OFF） [アイコン]（人物） [アイコン]（風景） [アイコン]（食べ物） [アイコン]（夜景）
[アイコン]（パーティ） [アイコン]（スポーツ） [アイコン]（逆光）
⑥ **サムネイル**
- 直前に撮影したフォトが表示されます。

マルチメディア

⑦ **明るさ調整アイコン：**
⑧ **シャッター：**
⑨ **ズームアイコン：**
⑩ **フォト･ムービー切替アイコン：**
- タップすると、ムービーモニター画面を表示できます。

⑪ **オートフォーカス枠**
⑫ **ズームバー／明るさ調整バー**
- （ズームアイコン）をタップすると、ズームバーが表示されます。
- （明るさ調整アイコン）をタップすると、明るさ調整バーが表示されます。

⑬ **撮影可能枚数の目安**
⑭ **手ブレ軽減：** （オート）
⑮ **天地情報アイコン：**
- 撮影したフォトを表示するとき上側になる方向を確認できます。

撮影前の設定をする

◎フォトモニター画面上のアイコンをタップしてメニューやズームバー／明るさ調整バーを表示した場合は、そのアイコンをもう一度タップするか、画面の他の部分をタップすると非表示にすることができます。
◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ベストショットを設定する

ベストショットでシーンをタップすると、最適なホワイトバランス、明るさなどの撮影条件が設定されます。

1 フォトモニター画面→ベストショットアイコンをタップ

2

OFF	ベストショットをOFFにします。
人物	人物の撮影に適しています。肌色がきれいに撮影できます。
風景	風景の撮影に適しています。輪郭を強調して彩度が高めになります。
食べ物	食べ物などの撮影に適しています。
夜景	夜景の撮影に適しています。 • シャッター速度が遅めになるため、手ブレにご注意ください。
パーティ	パーティ会場や飲食店など薄暗いところでの撮影に適しています。感度は高めになります。
スポーツ	スポーツの撮影に適しています。 • 屋内では、明るさの調整を＋（プラス）にすると明るく撮影できます。
逆光	被写体が暗くならないように撮影します。

◎フォト撮影の起動時は、ベストショットは「OFF」となります。
◎被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影がされない場合があります。

■撮影サイズを設定する

1 フォトモニター画面→撮影サイズアイコンをタップ

2

8M	横3,264×縦2,448ドットのフォトを撮影します。 • A3サイズでのプリントに適した撮影サイズです。
6M(ワイド)	横3,264×縦1,960ドットのフォトを撮影します。 • A3サイズでのプリントに適した撮影サイズです。
5M	横2,592×縦1,944ドットのフォトを撮影します。 • A3サイズでのプリントに適した撮影サイズです。
2M	横1,600×縦1,200ドットのフォトを撮影します。 • 2L判サイズでのプリントに適した撮影サイズです。
0.3M	横640×縦480ドットのフォトを撮影します。 • ブログにアップするのに適した撮影サイズです。

■明るさを調整する

1 フォトモニター画面→

明るさ調整バーが表示されます。

2 明るさ調整バーのスライダーをドラッグ

■ズームを調節する

1 フォトモニター画面→

ズームバーが表示されます。

2 ズームバーのスライダーをドラッグ

memo

◎撮影サイズが8M／6M(ワイド)の場合はズームを調節できません。

■撮影ライトを設定する

1 フォトモニター画面→撮影ライトアイコンをタップ

2 [ON]／[OFF]

memo

◎撮影ライトは、操作をせずに約30秒経過すると消灯します。
◎撮影ライトは、暗い場所での撮影を補助するもので、通常のカメラのストロボのような光量はありません。
◎撮影ライトを連続して使用した場合、電池パックのご利用可能時間は短くなります。

■位置情報を設定する

現在地の位置情報を撮影したフォトに付加するかどうかを設定します。

1 フォトモニター画面→位置情報アイコンをタップ

2 [ON]／[OFF]

memo

◎位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されることがありますのでご注意ください。
◎位置情報を付加する場合は、見晴らしの良い場所で撮影してください。環境によっては位置情報の精度が低くなったり、位置情報が付加されないことがあります。
◎無線ネットワークを使用する場合は電波が良好な場所でご利用ください。

■アイコンの表示／非表示を設定する

1 フォトモニター画面→ ▤

2 [アイコンを非表示にする]

アイコンを非表示にしているときは、「アイコンを表示する」とメニューに表示され、タップするとフォトモニター画面にアイコンが表示されます。

■その他の設定をする

1 フォトモニター画面→ ⚙

2

セルフタイマー	設定した秒数が経過した後、撮影します。 • 撮影開始ごとにセルフタイマーは解除されます。 • フォトアプリを終了すると、セルフタイマーは解除されます。 • セルフタイマーのカウントダウン中に ⊘ をタップすると、撮影を中止できます。
セルフタイマー設定	セルフタイマーの秒数（1秒～15秒）を設定します。 • セルフタイマーを有効にしたときのみ「セルフタイマー設定」は表示されます。
ホワイトバランス	適切な設定をタップすると、被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にして色が調整されます。 • フォトアプリの起動時は「オート」となります。

オートフォーカス	シングルポイントAF	中央を測定してオートフォーカスします。
	フェイスフォーカス	顔を認識してオートフォーカスします。人物の顔を検出し、顔にピントを合わせて撮影します。 • 画面の中に複数の顔（最大10人）を検出した場合は、比較的大きな顔を優先してピントを合わせて撮影します。 • 顔を認識できなかった場合は、シングルポイントAFと同様に中央を測定してオートフォーカスします。 • 次のような場合、人物の顔が検出されない場合があります。 ・画面に対する顔の大きさが、極端に大きい／小さい場合 ・頭髪／眼鏡／帽子などで、顔の一部が隠れてしまっている場合 ・顔に影がある場合 ・顔の向きが正面から上下／左右／斜め方向に傾いてしまっている場合 • 人物以外の物を間違って顔と認識してしまう場合があります。
	OFF	フォーカスを固定焦点にします。
画質設定		フォトの画質を設定します。 • 「ファイン」に設定すると、細部を詳細に表現できるプリント出力向きのフォトが撮影できますが、撮影したフォトの容量は大きくなります。

手ブレ軽減	手ブレ軽減機能を利用するかどうかを設定します。 ・手ブレ軽減機能で撮影した画像は、全体的に多少ざらついた感じがしたり、解像度が低いように感じる場合があります。 ・手ブレや被写体ブレが大きい場合には、手ブレ軽減機能で撮影しても効果がない場合があります。

フォトを撮影する

1 フォトモニター画面で撮影前の設定を行う

2 をタップ

シャッター音が鳴り、撮影したフォトが自動的にmicroSDメモリカードに保存されます。

フォトモニター画面の右上のサムネイルをタップすると、撮影したフォトを確認できます。

memo

◎フォトモニター画面→→[ギャラリー]と操作すると、撮影したフォト／ムービーの一覧を表示できます。(▶P.128「ギャラリーを利用する」)

オートフォーカスロックについて

◎をタッチしたままにすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。ピントが合ってフォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が緑色に変化してロック音が鳴ります。指を離すと撮影されます。

◎ピントが合わないままフォーカスがロックされた場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。

◎「オートフォーカス」(▶P.124)が「OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。

天地情報の付加について

◎撮影時に上側になっている側が保存したフォトを表示するときも上側に表示されます。

※「撮影サイズを設定する」(▶P.123)の表の通りの縦横のサイズでフォトは保存されますが、天地情報が付加されるため、撮影時に上側になっている側が保存したフォトを表示するときも上側に表示されます。

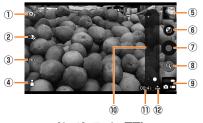
◎フォトを表示するときに上側になる方向は、TOP(天地情報アイコン)で確認できます。

ムービーを録画する

最大で横1,280×縦720ドットのHDムービーを録画できます。録画したムービーはmicroSDメモリカードに保存され、ギャラリー(▶P.128)などから再生できます。

ムービーモニター画面の見かた

1 ホーム画面→→[ムービー]

ムービーモニター画面が表示されます。

《ムービーモニター画面》

① **メニューアイコン：**

② **撮影ライトアイコン：** (ON)　(OFF)

③ **録画サイズアイコン：**

HD (HD)　VGA (VGA)　QVGA (QVGA)

④ **ベストショットアイコン：**
(OFF)　(人物)　(風景)　(逆光)　(食べ物)
(YouTube)

⑤ **サムネイル**
- 直前に録画したムービーの静止画が表示されます。

⑥ **明るさ調整アイコン：**

⑦ **録画開始ボタン：**

⑧ **ズームアイコン：**

⑨ **フォト・ムービー切替アイコン**
- タップすると、フォトモニター画面を表示できます。

⑩ **ズームバー／明るさ調整バー**
- (ズームアイコン)をタップすると、ズームバーが表示されます。
- (明るさ調整アイコン)をタップすると、明るさ調整バーが表示されます。

⑪ **保存可能時間の目安**

⑫ **天地情報アイコン：**
- 撮影したムービーを再生するとき上側になる方向を確認できます。

録画前の設定をする

◎ムービーモニター画面上のアイコンをタップしてメニューやズームバー／明るさ調整バーを表示した場合は、そのアイコンをもう一度タップするか、画面の他の部分をタップすると非表示にすることができます。
◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ベストショットを設定する

ベストショットでシーンをタップすると、最適なホワイトバランス、明るさなどの録画条件が設定されます。

1 ムービーモニター画面→ベストショットアイコンをタップ

2

OFF	ベストショットをOFFにします。
人物	人物の録画に適しています。肌色がきれいに録画できます。
風景	風景の録画に適しています。輪郭を強調して彩度が高めになります。
逆光	被写体が暗くならないように録画します。
食べ物	食べ物などの録画に適しています。
YouTube	YouTubeに最適な設定でHDムービー／ムービーを録画できます。 • 保存可能時間は15分です。

◎ムービー撮影の起動時は、ベストショットは「OFF」となります。
◎被写体の条件によっては、十分な効果が得られなかったり、正しく撮影がされない場合があります。

■録画サイズを設定する

1 ムービーモニター画面→録画サイズアイコンをタップ

2

HD	横1,280×縦720ドットのHDムービーを録画します。
VGA	横640×縦480ドットのムービーを録画します。 • QVGAより高画質です。
QVGA	横320×縦240ドットのムービーを録画します。 • 長時間録画に向きます。

◎録画サイズを「HD」に設定しているときは、充電できません。充電する場合は、ムービーを終了するか、録画サイズを「HD」以外に設定してください。

◎「録画サイズ」を「HD」に設定していると、消費電力が大きいため、電池パックのご利用可能時間が短くなります。
◎「録画サイズ」を「HD」に設定しているときに電池残量が減少した場合は、早めに録画を終了し、「録画サイズ」を「HD」以外に設定するかホーム画面に戻るなどしてから、充電することをおすすめします。そのままご利用になると、電源がOFFになる可能性がありますのでご注意ください。

■明るさを調整する

1 ムービーモニター画面→

明るさ調整バーが表示されます。

2 明るさ調整バーのスライダーをドラッグ

■ズームを調節する

1 ムービーモニター画面→

ズームバーが表示されます。

2 ズームバーのスライダーをドラッグ

■撮影ライトを設定する

1 ムービーモニター画面→撮影ライトアイコンをタップ

2 [ON]／[OFF]

memo

◎撮影ライトは、操作をせずに約30秒経過すると消灯します。
◎撮影ライトは、暗い場所での撮影を補助するもので、十分な効果が得られない場合があります。
◎撮影ライトを連続して使用した場合、電池パックのご利用可能時間は短くなります。

■アイコンの表示／非表示を設定する

1 ムービーモニター画面→

2 [アイコンを非表示にする]

アイコンを非表示にしているときは、「アイコンを表示する」とメニューに表示され、タップするとムービーモニター画面にアイコンが表示されます。

■その他の設定をする

1 ムービーモニター画面→

2

セルフタイマー		設定した秒数が経過した後、録画を開始します。 • 録画開始ごとにセルフタイマーは解除されます。 • ムービーアプリを終了すると、セルフタイマーは解除されます。 • セルフタイマーのカウントダウン中に をタップすると中止できます。
セルフタイマー設定		セルフタイマーの秒数（1秒～15秒）を設定します。 • セルフタイマーを有効にしたときのみ「セルフタイマー設定」は表示されます。
ホワイトバランス		適切な設定をタップすると、被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にして色が調整されます。 • ムービーアプリの起動時は「オート」となります。
オートフォーカス	コンティニュアスAF	常に中央にピントを合わせながら録画します。
	OFF	フォーカスを固定焦点にします。

マルチメディア

画質設定	ムービーの画質を設定します。 ・「ファイン」に設定すると、精細なムービーを録画できますが、録画したムービーの容量は大きくなります。 ・「エコノミー」に設定すると、画質は低下しますが、録画したムービーの容量は小さくなります。

ムービーを録画する

1 ムービーモニター画面で録画前の設定を行う

2 ● をタップ

録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

3 ■ ／保存可能時間経過

録画終了音が鳴り、録画したムービーが自動的にmicroSDメモリカードに保存されます。

ムービーモニター画面の右上のサムネイルをタップすると、録画したムービーを再生できます。

memo

◎着信やアラームなどにより録画が中断された場合は、中断前までのムービーがmicroSDメモリカードに保存されます。

◎ムービーモニター画面→▤→[ギャラリー]と操作すると、撮影したフォト／ムービーの一覧を表示できます。(▶P.128「ギャラリーを利用する」)

ギャラリーを利用する

ギャラリーではmicroSDメモリカードに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

画像や動画を表示／再生する

1 ホーム画面→ ▦ →[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

「カメラ撮影」アルバムをタップすると、IS11CAで撮影した画像／動画が表示されます。

「すべての静止画」アルバムをタップすると、microSDメモリカードに保存されているすべての画像が表示されます。

「すべての動画」アルバムをタップすると、microSDメモリカードに保存されているすべての動画が表示されます。

📷 をタップするとカメラが起動します。

《アルバム選択画面》

2 アルバムをタップ

サムネイル表示画面が表示されます。

をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。

をタップすると、画像の日付表示／サムネイル表示を切り替えることができます。

を左右にスライドすると、サムネイルがスライドします。

《サムネイル表示画面》

3 表示する画像／動画をタップ

画像をタップした場合は、画像1件表示画面が表示されます。

動画をタップした場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが表示／再生されます。

表示／再生するアプリケーションが複数存在する場合は、データをタップするとアプリケーション選択画面が表示されます。アプリケーションをタップするとデータが表示／再生されます。

をタップすると、サムネイル表示画面に戻ります。

《画像1件表示画面》

■ 画像1件表示画面の操作

：アルバム選択画面に戻る

／：サムネイル表示画面に戻る

：件数表示／ファイル名表示を切り替え

：フォトアプリを起動

画像を左右にフリック／スライド：前の画像／次の画像に切り替え

画像をダブルタップ、ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小
（／をタップしても操作できます。）

画像を上下左右にスライド：上下左右に移動（画像を拡大しているとき）

画像をタップ：アイコン、「スライドショー」「メニュー」の表示／非表示を切り替え

memo

◎撮影したデータがギャラリーに表示されない場合は、ギャラリーを再起動してください。

撮影データを自動再生する

撮影データをスライドショーで再生できます。

1 画像1件表示画面→[スライドショー]

選択した画像から順に、アルバム内の画像のスライドショーが再生されます。

再生中に画面をタップすると、スライドショーが停止します。

memo

◎スライドショー再生中、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

ギャラリーのメニューを利用する

アルバム選択画面のメニューを利用する

1 アルバム選択画面でアルバムをロングタッチ

複数のアルバムを選択できます。追加するアルバムをタップしてください。選択しているアルバムをタップすると、選択が解除されます。
「全件選択」をタップするとすべてのアルバムを選択します。「全件解除」をタップすると選択しているアルバムをすべて解除します。

2

共有	選択したデータをBluetooth®機能やメール添付などで送信したり、Picasaなどにアップロードできます。	
削除	選択したアルバムを削除します。	
その他	詳細情報	選択したアルバムにある画像／動画の詳細情報を表示します。

※選択しているアルバムによって表示される項目は異なります。

サムネイル表示画面のメニューを利用する

1 サムネイル表示画面で画像／動画をロングタッチ

複数の画像／動画を選択できます。追加する画像／動画をタップしてください。選択している画像／動画をタップすると、選択が解除されます。
「全件選択」をタップするとすべての画像／動画を選択します。「全件解除」をタップすると選択している画像／動画をすべて解除します。

2

共有	選択したデータをBluetooth®機能やメール添付などで送信したり、Picasaなどにアップロードできます。	
削除	選択した画像／動画を削除します。	
その他	詳細情報	選択した画像／動画の詳細情報を表示します。
	位置情報編集	選択した画像に位置情報を付加したり、付加されている位置情報を更新したり、削除できます。
	登録	選択した画像を壁紙や連絡先のアイコンに登録します。
	トリミング	選択した画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。

※選択しているデータによって表示される項目は異なります。

画像1件表示画面のメニューを利用する

1 画像1件表示画面→☰

2

共有	表示中のデータをBluetooth®機能やメール添付などで送信したり、Picasaなどにアップロードできます。	
削除	表示中の画像を削除します。	
その他	詳細情報	表示中の画像の詳細情報を表示します。
	地図に表示	位置情報が付加されている画像を地図上に表示します。
	位置情報編集	表示中の画像に位置情報を付加したり、付加されている位置情報を更新したり、削除できます。
	登録	表示中の画像を壁紙や連絡先のアイコンに登録します。
	トリミング	表示中の画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。

※選択しているデータによって表示される項目は異なります。

音楽を聴く

microSDメモリカードに保存された音楽ファイルを再生できます。

◎パソコンからmicroSDメモリカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「パソコンと接続する」(▶P.161)をご参照ください。
音楽ファイルをmicroSDメモリカードに保存する際は、保存する場所に制限はありませんが、アルバムごとに曲を表示するために、アルバムごとにフォルダを作成して保存することをおすすめします。

■再生可能なファイル形式

ファイル形式／コーデック
AAC LC/LTP、HE-AACv1(AAC+)、HE-AACv2(enhanced AAC+)(3gp, mp4, m4a)、AMR-NB、AMR-WB(3gp)、MP3(mp3)、MIDI(mid, xmf, mxmf, imy, rtttl, rtx, ota)、Ogg Vorbis(ogg)、PCM/WAVE(wav)

※対応するファイル形式であっても、ファイルによっては再生できない場合があります。

曲を再生する

1 ホーム画面→ ▦ →[音楽]

音楽画面が表示されます。

① **「アーティスト」タブ**
アーティスト名の一覧を表示します。アーティスト名をタップすると、アーティストのアルバム名の一覧が表示されます。

② **「アルバム」タブ**
アルバム名の一覧を表示します。アルバム名をタップすると、アルバムに含まれる曲名の一覧が表示されます。

③ **「曲」タブ**
曲名の一覧を表示します。曲名をタップすると、再生します。

④ **「プレイリスト」タブ**
プレイリストの一覧を表示します。

⑤ **アーティスト／アルバム／曲名／プレイリスト一覧**
アーティスト／アルバム／曲名／プレイリストの一覧を表示します。

⑥ **現在の曲**
現在再生中／一時停止中の曲名を表示します。タップすると、再生画面が表示されます。

《音楽画面》

2 [曲]

「曲」タブに曲名の一覧が表示されます。

3 再生したい曲をタップ

再生画面が表示されます。

① **プレイリストボタン**
現在のプレイリストを表示します。

② **シャッフルボタン**
シャッフル再生のON／OFFを切り替えます。

③ **リピートボタン**
全曲繰り返し再生／現在の曲の繰り返し再生／繰り返し再生OFFに切り替えます。

④ **巻き戻しボタン**
再生中の曲の先頭から再生します。ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生します。ロングタッチすると、再生中の曲を巻き戻します。

⑤ **再生／一時停止ボタン**
再生／一時停止します。

⑥ **早送りボタン**
次の曲の先頭から再生します。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

⑦ **シークバー**
スライダーをドラッグすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。タップすると、タップした場所から再生します。

《再生画面》

memo

◎音楽画面の「曲」タブで▤→[すべて再生]と操作すると、「曲」タブの一覧に表示されている順番で音楽ファイルをすべて再生できます。

シャッフル再生する

「すべてシャッフル」では、microSDメモリカードに保存された音楽ファイルを1回ずつランダムに再生します。
「パーティシャッフル」では、OFFにするまでシャッフル再生を続けます。

1 音楽画面→▤ →[すべてシャッフル]／[パーティシャッフル]

memo

◎「パーティシャッフル」を終了するには、音楽画面→▤→[パーティシャッフルOFF]と操作してください。
◎音楽画面の「プレイリスト」タブでは、「すべてシャッフル」は選択できません。

アーティスト／アルバム／曲名のコンテキストメニューを利用する

■アーティスト／アルバムのコンテキストメニューを利用する場合

1 アーティスト名／アルバム名をロングタッチ

2

項目	説明
再生	アーティスト／アルバムに含まれる曲を再生します。
プレイリストに追加	アーティスト／アルバムに含まれる曲をプレイリストに登録します。 ▶P.133「プレイリストを作成する」
削除	アーティスト／アルバムに含まれる曲をmicroSDメモリカードから削除します。
検索	曲に関する情報を検索します。

■ 曲名のコンテキストメニューを利用する場合

1 曲名をロングタッチ

2

再生	曲を再生します。
プレイリストに追加	▶P.133「プレイリストを作成する」
プレイリストから削除	プレイリストから曲を削除します。
着信音に設定	曲を音声着信の着信音に設定します。
削除	曲をmicroSDメモリカードから削除します。
詳細情報	曲の詳細情報を表示します。
検索	曲に関する情報を検索します。

memo

◎選択できる項目は画面により異なります。

再生画面のメニューを利用する

1 再生画面→▤

2

ライブラリ	音楽画面に戻ります。
パーティシャッフル	▶P.132「シャッフル再生する」
プレイリストに追加	▶P.133「プレイリストを作成する」
着信音に設定	曲を音声着信の着信音に設定します。
削除	曲をmicroSDメモリカードから削除します。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用すると、好みの曲をまとめて再生できます。

プレイリストを作成する

1 曲名をロングタッチ→[プレイリストに追加]

2 追加先のプレイリストをタップ

「新規」をタップした場合は、新規のプレイリストを作成して、曲を登録できます。

プレイリストを再生する

1 音楽画面→[プレイリスト]

「プレイリスト」タブにプレイリストの一覧が表示されます。

2 プレイリストをロングタッチ→[再生]

プレイリストの曲を並べ替える

1 「プレイリスト」タブでプレイリストをタップ

プレイリストに登録されている曲名の一覧が表示されます。

2 曲名の先頭の▦を上下にドラッグ

プレイリストのコンテキストメニューを利用する

1 「プレイリスト」タブでプレイリストをロングタッチ

2

再生	プレイリストを再生します。
削除	プレイリストを削除します。
名前を変更	プレイリストの名前を変更します。

LISMOを利用する

LISMO Playerを利用してmicroSDメモリカードに保存した音楽を再生したり、音楽コミュニティ「うたとも®」を利用したり、最新の楽曲の情報を調べることができます。
IS11CAにあらかじめ用意されているLISMOは、au one MarketからLISMOをダウンロードするためのショートカットアプリです。LISMOを利用するには、アプリケーションのダウンロードが必要です。

1 ホーム画面→ ▦ →[LISMO]

LISMOアプリケーションをダウンロードしていない場合は、画面の指示に従ってダウンロードしてください。
初めてLISMOアプリケーションを起動したときは、アクセス許可画面の内容を確認して「閉じる」をタップしてください。続けて、サービス利用確認設定画面の内容を確認し、お客様の音楽再生情報／位置情報をサービス提供元に送信することを許可するかどうかを選択してください。LISMOメニューが表示されます。

2

LISMO Player	microSDメモリカードに保存されている曲を再生します。
うたとも®	新しい音楽や仲間との出会いが広がる音楽コミュニティです。 レビューの公開やユーザー同士のコミュニケーションも楽しめます。 ※別途アプリケーションのダウンロードが必要です。
検索&音楽情報	最新の楽曲の詳細情報やアーティストのインタビューを閲覧したり、目的の楽曲の検索、試聴や購入などができます。

memo

◎LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。
◎楽曲情報を持っていない曲が見つかった場合は、音楽認識サービスを利用して楽曲情報を自動的に取得します。
◎通信できない場合は、楽曲情報は取得できません。また、曲によっては楽曲情報が取得できない場合があります。

アプリケーション

Google マップ™を利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Google マップ」を利用し、地図を表示して現在地を確認したり、目的地までの経路を検索したりできます。また、航空写真や渋滞状況（データ提供エリアのみ）を地図に重ねて表示できます。

- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Google マップ画面→▤→［その他］→［ヘルプ］と操作してGoogle マップのヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ ▦ →［マップ］

Google マップ画面が表示されます。

マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」をタップするとGoogleマップ画面が表示されます。

現在地をすばやく検出するために、推奨される機能を有効にするかどうかの確認画面が表示される場合があります。「設定」または「スキップ」をタップしてください。「設定」をタップすると、各機能の設定画面が表示されます。

位置情報を有効にする

Google マップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ位置情報を利用できるように設定する必要があります。

■無線ネットワークを使用するには

Wi-Fiまたはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得できます。

1 ホーム画面→ ▦ →［設定］
→［現在地情報とセキュリティ］
→［無線ネットワークを使用］→［同意する］

■GPS機能を使用するには

より高精度な位置情報を取得することができます。

1 ホーム画面→ ▦ →［設定］
→［現在地情報とセキュリティ］→［GPS機能を使用］
→［同意する］

memo

◎電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
◎電波が良好な場所でご利用ください。

Google Latitude™を利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Google マップ」を利用し、友人と位置を確認しあったり、メールを送信したりできます。また、友人の位置までの移動経路を検索したりすることもできます。

- Google Latitudeの利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」（▶P.37）をご参照ください。
- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ ▦ →［Latitude］

Latitude画面が表示されます。

現在地の共有を許可するかどうかのリクエスト通知があった場合は、通知をタップして共有リクエスト画面を表示させ、「受け入れて自分の現在地も教える」「受け入れるが自分の所在地は教えない」「承認しない」「拒否」※のいずれかをタップします。

※「拒否」は2度目の通知以降表示されます。

以降、Latitude起動時にGoogle マップ画面が表示された場合は、▤→［Latitude］と操作するとLatitude画面を表示することができます。

アプリケーション

Google トーク™を利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Google トーク」を利用して、メンバーに追加した相手とチャットをすることができます。

- Google トークの利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ →[トーク]

トーク画面が表示されます。

① **画像**
相手の画像をタップすると、登録内容によってアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンをタップすると、対応したアプリケーションが起動します。

② **自分のステータス**

③ **チャットの相手**

④ **ステータスアイコン**

⑤ **モバイルインジケーター**
Android 搭載端末からログインしている場合に表示されます。

《トーク画面》

memo

◎「バックグラウンドデータ」(▶P.174)を有効にするかどうか確認する画面が表示された場合は、「有効にする」をタップしてアカウントと同期の設定画面を表示し、「バックグラウンドデータ」を有効にして をタップしてください。

友だちを追加する

Google アカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 トーク画面→ →[友だちを追加]

2 追加するメンバーのGoogle アカウントを入力→[招待状を送信]

招待状を表示・承認する

招待状を受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示され、トーク画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 トーク画面→招待状のメッセージをタップ

2 [承諾]/[キャンセル]/[ブロック]

「ブロック」をタップすると、招待状を送信した相手をブロックします。

memo

◎ブロックを解除するには、トーク画面→ →[その他]→[ブロック中]→メンバーをタップ→[OK]と操作してください。

チャットを開始する

1 トーク画面→チャットするメンバーをタップ

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力→[送信]

memo

◎チャットを終了するには、チャット画面→→[チャット終了]と操作してください。
◎ログアウトしてGoogle トークを終了するには、トーク画面→→[ログアウト]と操作してください。

Google プレイス™を利用する

Googleが提供する「Google プレイス」を利用して、現在地周辺の施設を、レストランや観光スポット、ガソリンスタンド、ATMなどのジャンルから選び検索することができます。またキーワードを入力して検索することもできます。

- Google プレイスを利用するには、あらかじめ位置情報を有効にする必要があります。位置情報の設定方法については、「位置情報を有効にする」(▶P.136)をご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ →[プレイス]
検索画面が表示されます。

2 ジャンルをタップ
検索結果一覧画面が表示されます。

3 検索候補をタップ
詳細画面が表示されます。

memo

◎検索結果一覧画面→→[地図を表示]と操作すると検索結果一覧を地図で表示します。
◎検索画面で をタップすると、現在地を表示します。

Google マップ ナビ™を利用する

Googleが提供する「Google マップ」を利用して、現在地から目的地までのルートを検索し、ナビゲーションします。

- Google マップ ナビを利用するには、あらかじめGPS機能を有効にする必要があります。GPS機能の設定方法については、「位置情報を有効にする」(▶P.136)をご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

1 ホーム画面→ →[ナビ]
利用確認画面が表示されます。

2 [同意する]
ナビ画面が表示されます。

■音声でルートを検索する場合

3 [目的地を音声入力]→送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

■キーワードを入力してルートを検索する場合

3 [目的地を入力]→キーワードを入力→

■連絡先に登録されている住所へのルートを検索する場合

3 [連絡先]→目的地をタップ

■スター付きの場所へのルートを検索する場合

3 [スター付きの場所]→目的地をタップ

memo

◎利用確認画面で、「このメッセージを再表示する」を選択していなければ、次回から利用確認画面は表示されません。
◎目的地の検索時に候補が表示された場合は、該当する目的地を選択してください。
◎スター付きの場所は、Google マップやGoogle プレイスで場所や施設の情報表示時にスターアイコンをタップすると、スター付きの場所として登録できます。Google マップと同期され、Google マップ上に表示されるようになります。

YouTube™を利用する

オンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワードを入力して動画を検索したり、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 ホーム画面→ →[YouTube]

YouTube画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画を選択

memo

◎動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめYouTubeアカウントを取得してください。
◎アップロード中は、ステータスバーに通知アイコンが表示され、通知パネルでアップロードの進捗状況を確認できます。

jibeを利用する

jibeを利用して、連絡先やSNSのアカウントにGmailの連絡先など複数の友達リストを管理することができます。
複数のメディアの友達の投稿やメッセージを、まとめて参照したり、写真やメッセージを複数のメディアにまとめて投稿することができます。

- jibeを利用するには、au one-IDもしくはEメールアドレスが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.178)をご参照ください。

1 ホーム画面→ →[jibeアドレス帳]

初回起動時には許可画面と利用規約が表示されますので、[同意する]→[同意する]と操作してください。

■au one-IDを利用する場合

2 [au one-IDでログイン]

3 au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

パスワードを保存するかどうかの確認画面が表示されます。

4 [今は保存しない]／[保存]／[保存しない]

ご利用時の注意画面が表示されます。

5 [同意する]

■au one-ID以外のEメールアドレスを利用する場合

2 [新規登録はこちら]

3 各項目を入力

4 [新規登録]

Facebookを利用する

Facebookを利用すると、Facebookを利用している友達や同僚、同級生、仲間たちとつながりを深められます。
アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
http://facebook.com/

1 ホーム画面→ ▦ →[Facebook]

初回起動時には、エンドユーザーライセンス契約の画面が表示されますので、「同意します」をタップしてください。
Facebookのアカウントをお持ちでない場合は、ログイン画面で「登録」をタップしてアカウントを新規登録してください。

2 ログインメールアドレスとパスワードを入力→[ログイン]

Skype™を利用する

Skype™を利用して、通話することができます。インスタントメッセージでチャットを行うこともできます。

- 利用方法などの詳細については、Skype™のホームページや、コンタクト画面→ ▤ →[その他]→[ヘルプ]と操作してSkype™のヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[Skype™]

初回起動時にはSkype™についての説明画面が表示されますので、[同意する]→[続行]と操作してください。

2 Skype™名とパスワードを入力→[サインイン]

Skype™のアカウントをお持ちではない場合は「アカウントの作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。
初回登録時には、利用規約が表示されますので「承諾」をタップしてください。
ムードメッセージの設定やSkype™の電話に含まれる連絡先を表示するかどうかの確認画面が表示された場合は、画面に従って操作してください。

memo

◎ 海外の一般電話に発信する場合は、別途Skype™クレジットが必要となります。
◎ 国内の一般電話に発信する場合は、通常のau電話として発信／課金されます。

ニュースと天気を利用する

1 ホーム画面→ ▦ →[ニュースと天気]

ニュースと天気画面が表示されます。
画面上部のタブをタップ、または画面を左右にスライド／フリックすると、表示を切り替えることができます。
天気予報画面で天気情報をタップすると、週間／当日の天気表示を切り替えることができます。
ニュース画面でニュースをタップすると、ブラウザが起動して詳細情報を閲覧できます。

ニュースと天気を設定する

1 **ニュースと天気画面→☰**

2

更新	ニュースと天気を更新します。		
設定	天気予報の設定	現在地情報を使用	位置情報を自動的に特定するかどうかを設定します。
		位置情報の設定	都市名または郵便番号を入力して、天気予報が表示される場所を設定します。 • 日本国内の郵便番号には対応していません。
		メートル法を使用	メートル法とヤードポンド法を切り替えます。
	ニュースの設定	ニューストピックの選択	アプリケーションで表示するトピックを設定します。 • [カスタムトピック]→カスタムトピック名を入力→[OK]と操作すると、カスタムトピックを追加できます。 • ☒ をタップするとカスタムトピックを削除できます。 • ニューストピックではカテゴリを選択します。
		記事のプリフェッチ	短時間でアクセスするために記事を事前に読み込むかどうかを設定します。
		画像のプリフェッチ	短時間でアクセスするために画像を事前に読み込むかどうかを設定します。
		ニュース利用規約	利用規約が掲載されているサイトへ接続します。
		モバイル版プライバシーポリシー	モバイル版プライバシーポリシーが掲載されているサイトへ接続します。
設定	更新の設定	自動更新	ニュースと天気を自動更新するかどうかを設定します。
		更新間隔	自動更新の間隔を設定します。
		ステータスの更新	前回の更新日時を表示します。
	アプリケーションのバージョン	ニュースと天気のバージョン情報を表示します。	

memo

◎「現在地情報を使用」を利用するには、あらかじめ位置情報を有効にする必要があります。位置情報の設定方法については、「位置情報を有効にする」(▶P.136)をご参照ください。
◎電池の消費を節約する場合は、「記事のプリフェッチ」や「画像のプリフェッチ」を無効に設定してください。

au one ニュースEXを利用する

au one ニュースEXでは、最新のニュース･天気･占いなどの最新情報を確認することができます。

• 一部のコンテンツを利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.178)をご参照ください。
• au one ニュースEXのすべてのコンテンツをご利用になるには別途お申し込み(情報料有料)が必要です。

1 ホーム画面→ [icon] →[ニュースEX]

au one ニュースEXのトップ画面が表示されます。
初回起動時には、インストールや各種設定を行う画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行い、[icon] をタップすると、au one ニュースEXのトップ画面が表示されます。

G'zGEAR®を利用する

G'zGEAR®はG'zOneのために開発されたマルチツールです。アウトドアや街中のさまざまなシーンによって使い分けができます。

1 ホーム画面→ [icon] →[G'zGEAR]

G'zGEAR®のHOME画面が表示されます。

2

EARTH COMPASS	▶P.143「EARTH COMPASSを利用する」
TRIP MEMORY	▶P.144「TRIP MEMORYを利用する」
THERMOMETER	▶P.144「THERMOMETERを利用する」
SEA TIDE	▶P.145「SEA TIDEを利用する」
SUN／MOON	▶P.145「SUN／MOONを利用する」
STAR PLATE	▶P.146「STAR PLATEを利用する」
SETTINGS	▶P.146「G'zGEAR®を設定する」
HOW TO USE	G'zGEAR®の使用方法や注意事項を表示します。 • 各ツールの画面で [icon] →[HOW TO USE]と操作しても表示できます。

memo

◎運転中は使用しないでください。
◎日本国内のみでご使用ください。
◎命の危険性に関わるスポーツでのご使用は避けてください。
◎使用上の注意事項については、「HOW TO USE」をご確認ください。

G_SWITCH(加速度センサー)でツールを切り替えるには

◎「G_SWITCH」(▶P.146)を有効にすると、各ツール使用中にIS11CA本体を振ることでツールを切り替えることができます。本体をしっかり握って右から左に振ってください。
◎お買い上げ時は、「G_SWITCH」は有効です。
◎G_SWITCHを使用する際は、IS11CA本体や手などが周囲の人や物に当たらないようにご注意ください。

G'zGEAR®のウィジェットについて

◎G'zGEAR®のウィジェットとしてEARTH COMPASS、Moonrise Moonset、SEA TIDE、Sunrise Sunsetが用意されています。ウィジェットをホーム画面に追加する方法については、「ウィジェットを追加する」(▶P.50)をご参照ください。

GPS測位について

◎GPS測位は、障害物の少ない屋外で行ってください。環境によっては測位できないことや精度が低くなることがあります。
◎GPS測位は、GPS衛星の電波が届く範囲で行ってください。GPS衛星の状況などによっては測位に時間がかかる場合があります。
◎GPS測位時には、パケット通信料がかかる場合があります。

■電子コンパスについて

• 電子コンパスは微小な地球の地磁気を感知して方位を算出しています。
• 電子コンパスの起動直後や急激な温度変化があった場合に正しい方位を表示できないことがあります。測定精度を保つため電子コンパスの調整を行ってください。
• バイブレータが振動したりスピーカーが鳴っているときは正しい方位を表示できないことがあります。
• 磁気に影響を与える場所や物の近くでは正しい方位を表示できないことがあります。次のような場所や物からはできるだけ離れて電子コンパスを使用してください。
  ・建物、乗り物、金属製の施設(エレベーターなど)の中や近く
  ・金属製の設備(ガードレール･歩道橋など)、高圧線、架線などの近く
  ・金属(鉄製の机･ロッカーなど)、磁石(磁気ネックレスなど)、家庭用電化製品(テレビ･パソコン･スピーカーなど)の近く
• 電子コンパスを使用する際は、本体を水平にしてください。本体が傾いていると、方位の計測誤差が大きくなります。

■電子コンパスの調整(方位計キャリブレーション)について

電子コンパスを調整すると、より高い精度で方位を表示できます。
G'zGEAR®のHOME画面→[SETTINGS]→[キャリブレーション]→[Start]と操作してから、5〜10秒間、手首を返しながら本体を大きく8の字を描くように動かしてください。

EARTH COMPASSを利用する

内蔵の電子コンパスで計測した16方位(N〜NNW)と方位の角度を表示します。また、本体を向けた方向にある名山や登録したポイントなどを画面上に表示できます。

1 G'zGEAR®のHOME画面→[EARTH COMPASS]

EARTH COMPASS画面が表示されます。

- 画面上の対象物をタップすると、対象物の名前、緯度、経度、方位、距離、説明が表示されます。Wikipediaで対象物を調べたり、地図を表示することもできます。
  ※ 複数の対象物が選択された場合は、対象物の一覧が表示されます。一覧の対象物をタップしてください。
- My Layerを表示中にポイントをタップすると、ポイントの名前、緯度、経度、方位、距離が表示されます。ポイントの編集、削除、地図の表示ができます。
  ※ 複数のポイントが選択された場合は、ポイントの一覧が表示されます。一覧のポイントをタップしてください。
- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
現在地	GPSで現在地を取得して更新します。
レイヤー切替	レイヤーを切り替えます。
新規ポイント	My Layerに表示するポイントを登録します。 ・My Layerを表示中のみポイントを登録できます。

memo

◎電子コンパスに関する注意事項については、「電子コンパスについて」(▶P.142)をご参照ください。

◎EARTH COMPASSを使用する前には、電子コンパスの調整(方位計キャリブレーション)を行うことを推奨します。(▶P.143「電子コンパスの調整(方位計キャリブレーション)について」)

◎EARTH COMPASSでは、以下の7つのレイヤーを切り替えて表示できます。

レイヤー名	説明
100 Famous Mountains −Hokkaido/Tohoku/Shin-etsu−	100名山のうち、北海道、東北、信越地方の名山が表示されます。
100 Famous Mountains −Japan Alps−	100名山のうち、日本アルプスの名山が表示されます。
100 Famous Mountains −from Kanto and to the west−	100名山のうち、関東から西の名山が表示されます。
World Mountains	世界の名山が表示されます。
World Nature	世界の著名な自然対象物が表示されます。
World Cities	世界の著名な都市が表示されます。
My Layer	自分で登録したポイントが表示されます。

TRIP MEMORYを利用する

アウトドアアクティビティの種類や、GPSで取得した現在地の緯度と経度や日時、温度センサーで計測した現在の気温、コメントをポイントとして登録できます。
Trip Mapモードでは、地図上に登録したポイントを表示できます。
Trip Listモードでは、ポイントの一覧を表示できます。

1 G'zGEAR®のHOME画面→[TRIP MEMORY]

TRIP MEMORY画面が表示されます。

- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
モード切替	モードを切り替えます。
新規ポイント	ポイントを登録します。 • 「Share」をタップすると、Bluetooth®機能やメール添付でポイントの内容を送信したり、SNSに投稿することもできます。
リスト並替え	ポイントの表示順を設定します。 • Trip Listモードでのみ選択できます。

Trip Mapモードでの操作

- 地図上のポイントをタップすると、ポイントの登録内容が表示されます。SNSにポイントの内容を投稿したり、ポイントを削除することもできます。

Trip Listモードでの操作

- 一覧のポイントをタップすると、ポイントの登録内容が表示されます。SNSにポイントの内容を投稿したり、ポイントを削除することもできます。
- 「リスト並替え」をタップすると、ポイントの表示順を設定できます。

THERMOMETERを利用する

Temperature Comparisonモードでは、温度センサーで計測した現在の気温と、西暦1975年と2000年の同日の最高気温・最低気温を表示します。過去の気温を表示するポイントは、全国47箇所から選択できます。
Temperature Tripモードでは、世界30都市から現在の気温が最も近い都市を探すことができます。その都市の2009年の同日の平均気温/最高気温/最低気温のうち、いずれかが最も近い都市に気球が移動してフラッグを立てます。フラッグは1つの都市ごとに最大5本まで表示されます。

1 G'zGEAR®のHome画面→[THERMOMETER]

THERMOMETER画面が表示されます。

- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
モード切替	モードを切り替えます。
ポイント選択	過去の気温を表示するポイントを選択します。 • 地図でポイントの位置を確認したり、現在地を地図で確認することもできます。地図上でポイントをタップすると、そのポイントが選択されます。 • Temperature Comparisonモードでのみ選択できます。
温度再取得	現在の気温を計測して気球を移動させます。 • Temperature Tripモードでのみ選択できます。

memo

◎温度センサーは体温／本体機器の熱／直射日光／水分などの影響を受けます。保護シートなどで覆わないでください。
◎気温の測定範囲は－20℃～+60℃です。
◎高温（50℃以上）と低温（0℃以下）では測定誤差が大きくなります。

SEA TIDEを利用する

潮名、満潮時間、干潮時間などの潮汐情報と、日の出、日の入りの時刻を表示します。潮汐情報を表示するポイントは、日本全国の100港から選択できます。
One-Day Viewモードでは、1日の潮位の目安がグラフで表示されます。
Current Viewモードでは、現在の潮位の目安と、満潮に向かっているのか、干潮に向かっているのかがグラフで表示されます。

1 G'zGEAR®のHOME画面→[SEA TIDE]

SEA TIDE画面が表示されます。
- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
モード切替	モードを切り替えます。
ポイント選択	潮汐を表示するポイントを選択します。 • 地図でポイントの位置を確認したり、現在地を地図で確認することもできます。地図上でポイントをタップすると、そのポイントが選択されます。

One-Day Viewモードでの操作
- 年月／日の表示を上下にスライド／フリックすると、情報を表示する年月／日を変更できます。

Current Viewモードでの操作
- 年月／日／時／分の表示を上下にスライド／フリックすると、情報を表示する年月／日／時／分を変更できます。

memo

◎潮汐情報は海上保安庁のデータに基づき算出しております。最新の情報に更新はされません。
◎潮汐情報は2011年1月1日～2020年12月31日まで表示できます。
◎潮名は一般的に月齢を元に定義する方式と、月-太陽黄経差を元に定義する方式があり、このツールは月齢を元に潮名を定義しています。

SUN／MOONを利用する

Sunrise Sunsetモードでは、GPSで取得した現在地、または全国47箇所の県庁所在地の日の出、日の入りの時刻、太陽の高度の目安などを表示します。
Moonrise Moonsetモードでは、GPSで取得した現在地、または全国47箇所の県庁所在地の月の出、月の入りの時刻、月の高度の目安などを表示します。

1 G'zGEAR®のHOME画面→[SUN／MOON]

SUN／MOON画面が表示されます。
- 年月／日の表示を上下にスライド／フリックすると、情報を表示する年月／日を変更できます。
- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
モード切替	モードを切り替えます。
現在地	GPSで現在地を取得して、取得した地点の日の出･日の入り、月の出･月の入りの情報を表示します。
ポイント選択	日の出･日の入り、月の出･月の入りなどの情報を表示するポイントを選択します。 • 地図でポイントの位置を確認したり、現在地を地図で確認することもできます。地図上でポイントをタップすると、そのポイントが選択されます。

memo

◎月齢は毎日0時を境に、当日の21時時点の月齢を表示します。
◎日の出・日の入り、月の出・月の入りなどの情報は2011年1月1日〜2020年12月31日まで表示できます。

STAR PLATEを利用する

現在地から見ることができる星座の位置や名前などを確認できます。また、特定の星座を探すこともできます。

1 G'zGEAR®のHOME画面→[STAR PLATE]

STAR PLATE画面が表示されます。

：表示の拡大　：表示の縮小

- 星座をタップすると、星座の名前や、主な恒星、星座にまつわる物語などが表示されます。星座の情報をWikipediaで調べることもできます。
- 年月／日／時／分の表示を上下にスライド／フリックすると、情報を表示する年月／日／時／分を変更できます。
- 画面上部のメニューをタップすると、次の操作ができます。

Home	G'zGEAR®のHOME画面に戻ります。
現在地	GPSで現在地を取得して更新します。
サーチ ON／サーチ OFF	サーチを使用するかどうかを設定します。「サーチ ON」にするとサーチ状態になり星座を探すことができます。 ・「サーチ ON」にすると星座の一覧が表示されます。星座名をタップしてから、「Start」をタップすると、選択した星座の位置を示す矢印が表示され、矢印に合わせて本体の向きを変えると星座を探すことができます。 ・星座の一覧で星座名をタップしてから、「Detail」をタップすると、星座の情報が表示されます。
コンパス ON／コンパス OFF	電子コンパスと加速度センサーを使用するかどうかを設定します。 ・ONにすると、本体の向きに合わせて画面がスクロールされ、本体の向きにある星座が画面に表示されます。 ・OFFにした場合は、星空の表示をドラッグすることで、画面をスクロールさせることができます。

memo

◎電子コンパスと加速度センサーを使用している場合は、バイブレータが振動したり、スピーカーが鳴っていると、表示が安定しないことがあります

G'zGEAR®を設定する

1 G'zGEAR®のHOME画面→[SETTINGS]

2

キャリブレーション	電子コンパスを調整します。 ▶P.143「電子コンパスの調整(方位計キャリブレーションについて)」
GPS自動取得	GPSで自動的に現在地を取得するかどうかを設定します。 ・「GPS自動取得」を有効にすると、約15分間隔で自動的に取得します。
G_SWITCH	G_SWITCH(加速度センサー)を使用してツールを切り替えるかどうかを設定します。
前回モードの記憶	各ツールの表示モードを記録しておき、ツール起動時に前回表示していたモードを表示するかどうかを設定します。
使用感表示	使用した回数が多いツールのアイコンを、HOME画面上で使い込んだ感じで表示するかどうかを設定します。

温度単位		温度を摂氏(℃)で表示するか、華氏(℉)で表示するかを設定します。
距離／長さの単位		距離をキロメートル(km)で表示するか、マイル(mile)で表示するかを設定します。
STAR PLATE画面設定	星座線	STAR PLATEで星座線を表示するかどうかを設定します。
	恒星名	STAR PLATEで恒星名を表示するかどうかを設定します。
	時間別の背景色	STAR PLATEで朝、昼、夕方、夜に応じた背景色を表示するかどうかを設定します。
	バックライトの明るさ	STAR PLATE使用時のバックライトの明るさを設定します。
Temperature Trip履歴削除		THERMOMETERのTemperature Tripモードのフラッグをすべて削除します。
初期設定に戻す		G'zGEAR®のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

Quickofficeを利用する

Quickofficeでは、Microsoft® Wordファイル、Microsoft® Excelファイル、Microsoft® PowerPoint®ファイル、PDFファイルの閲覧ができます。

Quickofficeでは、次のファイル形式を表示または編集できます。

ドキュメントの種類	拡張子
Excel (Excel 97〜Excel 2008)	.xls、.xlsx、.xlsm
Word (Word 97〜Word 2008)	.doc、.docx、.docm、.dot、.dotx
PowerPoint (PowerPoint 97〜PowerPoint 2008)	.ppt、.pptx、.ppts、.pptsx、.pptm、.pptsm
Acrobat (Acrobat 5〜9)	.pdf
TEXT	.txt

1 ホーム画面→ ▦ →[Quickoffice]

初回起動時は、ソフトウェアの登録画面が表示されます。登録する場合は、名前とEメールアドレスを入力して「今すぐ登録」をタップしてください。

登録を完了すると、Quickofficeのメニューが表示されます。

memo

◎データの内容によっては、パソコンなど他の機器で表示した内容と異なって表示される場合があります。

◎Quickofficeのバージョンを更新すると、仕様が変更されることがあります。

Q&Aを利用する

Q&Aをカテゴリやフリーワードから検索したり、検索したQ&Aをお気に入りとして登録したりすることができます。

1 ホーム画面→ →[Q&A]

カテゴリー別画面が表示されます。
初回起動時には利用規約が表示されますので、「同意する」をタップしてください。
使い方を確認するかどうかの確認画面が表示されます。確認する場合は、「はい」をタップしてください。

2 確認するQ&Aを検索

memo

◎Q&A表示中に「おきにいり」を選択すると、表示中のQ&Aをお気に入りとして登録できます。
◎点線が付いている単語をタップすると、単語の意味が表示されます。

Android マーケット™を利用する

Googleが提供するAndroid マーケットから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、IS11CAにダウンロード・インストールして利用できます。

- Android マーケットの利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Android マーケット画面→▤→[ヘルプ]と操作してAndroid マーケット ヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→ →[マーケット]

Android マーケット画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎アプリケーションの中には動作中スリープ状態に入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
◎アプリケーションが不要になった場合、アンインストールすることができます。(▶P.55「アプリケーションを削除する」)

アプリケーションを検索する

Android マーケット画面には、注目のアプリケーション一覧、「アプリケーション」「ゲーム」「au」カテゴリへのリンクが表示されます。
「アプリケーション」または「ゲーム」カテゴリを選択した後にジャンルを選択すると、「有料アプリケーション」「無料アプリケーション」「新着」に分類して表示できます。

アプリケーションをインストールして開く

1 Android マーケット画面
→ダウンロードするアプリケーションをタップ

2 アプリケーションの情報を確認→[無料]→[OK]

アプリケーションのダウンロード･インストールが開始され、完了するとステータスバーに通知アイコンが表示されます。

3 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ
→アプリケーションをタップ

memo

◎インストールを承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
◎インストールが完了すると、ランチャーにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

アプリケーションを購入する

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Google チェックアウトアカウントを作成する必要があります。

1 Android マーケット画面
→購入するアプリケーションを選択→価格をタップ
→[OK]

アプリケーションの初回購入時は、「auのアカウントに請求」か、「クレジットカードを追加」から選択する必要があります。画面の指示に従って操作してください。

- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

◎アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
◎IS11CAにはGoogle チェックアウトパスワードが記憶されます。画面ロック（▶P.172）を設定し、IS11CAのセキュリティを確保してください。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはIS11CAからアンインストールされます。

- 詳細については、Android マーケット画面→▤→[ヘルプ]と操作してAndroid マーケット ヘルプをご参照ください。
- サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

memo

◎返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード･インストールできます。目的のアプリをカテゴリやキーワードから検索したり、ランキングから探すことができます。

- 一部の機能を利用するには、au one-IDが必要になります。au one-IDの設定方法については、「au one-IDの設定をする」(▶P.178)をご参照ください。

1 ホーム画面→ ▦ →[au one Market]

au one Market画面が表示されます。
初回起動時には、利用規約が表示されますので「同意」をタップしてください。

memo

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketの配信元によって異なります。
◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

GREEマーケットを利用する

GREEマーケットではau one GREEの無料ゲームなどをカンタンに探すことができます。

1 ホーム画面→ ▦ →[GREEマーケット]

GREEマーケット画面が表示されます。
画面内のコーナーから利用したいゲームなどを探すことができます。

memo

◎GREEマーケットで探したゲームを利用するには、au one GREEの会員登録が必要となる場合があります。

アプリケーションの設定をする

アプリケーションの設定を行います。

提供元が不明なアプリケーションを許可する

ブラウザでダウンロードしたアプリケーションなど、提供元が不明な場合でもインストールを許可するかどうかを設定します。

1 ホーム画面→ ▦ →[設定]→[アプリケーション]→[提供元不明のアプリ]→[OK]

アプリケーションを管理する

1 ホーム画面→ ▦ →[設定]→[アプリケーション]

アプリケーション設定画面が表示されます。

2 [アプリケーションの管理]

アプリケーション管理画面には、「ダウンロード済み」「すべて」「SDカード上」「実行中」タブがあります。

3

ダウンロード済み	ダウンロードしたアプリケーションの一覧が表示されます。 • アプリケーション名をタップすると、アプリケーション詳細画面が表示されます。 • アプリケーション詳細画面では、アプリケーションの強制停止や、アンインストール、データ消去、アプリケーションのmicroSDメモリカード／内部ストレージへの移動、キャッシュの消去、設定の消去ができます。
すべて	IS11CAにインストールされているすべてのアプリケーションの一覧が表示されます。 • アプリケーション名をタップすると、アプリケーション詳細画面が表示されます。
SDカード上	microSDメモリカードにインストール可能なアプリケーションの一覧が表示されます。 • microSDメモリカードにインストールされているアプリケーションには、一覧のチェックボックスにチェックが表示されます。 • アプリケーション名をタップすると、アプリケーション詳細情報画面が表示されます。
実行中	実行中のサービスの一覧が表示されます。 • サービス名をタップすると、サービス詳細画面が表示されます。サービスの停止や、レポート表示などができます。

◎アンインストールを実行すると、アプリケーションは削除されます。
◎アンインストールしたアプリケーションを使用したい場合は、もう一度ダウンロードしてインストールする必要があります。
◎アプリケーション設定画面→[実行中のサービス]と操作した場合は、アプリケーション管理画面の「実行中」タブが表示されます。
◎アプリケーション設定画面→[ストレージ使用状況]と操作した場合は、アプリケーション管理画面の「すべて」タブが表示されます。「ダウンロード済み」「すべて」タブの画面下部には、内部ストレージの使用容量と空き容量が表示されます。「SDカード上」タブの画面下部には、microSDメモリカードの使用容量と空き容量が表示されます。

電池使用量を表示する

1 ホーム画面→ →[設定]→[アプリケーション]→[電池使用量]

利用中の機能の電池使用量が項目ごとに表示されます。

2 項目を選択

電池使用量の詳細が表示されます。
電池使用量を調整できる項目の場合は、設定ボタンをタップすると設定画面を表示できます。

アプリケーション開発時の設定をする

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

1 ホーム画面→ →[設定]→[アプリケーション]→[開発]

2

USBデバッグ	USB接続時にデバッグモードにするかどうかを設定します。
スリープモードにしない	充電中やIS11CAとパソコンとの接続中に、スリープモードにならないようにします。

擬似ロケーションを許可	擬似位置情報データの利用を許可するかどうかを設定します。

◎ 開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
http://developer.android.com/

便利な機能

マナーモードを設定する

マナーモードを設定するだけで、着信音などを消音にすることができます。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[音]→[マナーモード]

memo

◎ [電源キー](長押し)→[マナーモード]と操作すると、マナーモードの設定/解除を切り替えられます。
◎ マナーモード中でも音楽、動画メディア、アラーム、ダイヤルパッドの操作音、カメラのシャッター音や録画開始/終了音は鳴動します。
◎ マナーモード中に機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態でデータが再生されます。機能によっては、再生中に[◀]/[▶]を押すと音量を調節できます。
◎ マナーモード中のバイブレータの動作は、ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[音]→[バイブレータ]と操作して設定してください。

おサイフケータイ®を利用する

おサイフケータイ®とは、FeliCaと呼ばれる非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。IS11CAをリーダー/ライター(店舗のレジなどにあるFeliCaチップ内のデータをやりとりする装置)にかざすだけで、電子マネーでのショッピングや、クーポン情報の取得などにご利用いただけます。
おサイフケータイ®をご利用になるには、利用したいサービスプロバイダのおサイフケータイ®に対応したアプリのダウンロードが必要となる場合があります。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- IS11CA本体の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、「おサイフケータイ ロック設定」(▶P.156)を「ON」に設定することをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。「おサイフケータイ ロック設定」(▶P.156)を「OFF」に設定したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応のアプリは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- IS11CAの初期化を行うとおサイフケータイ®対応のアプリは削除されますが、FeliCaチップ内のデータは削除されません。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社または当社代理店がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。

- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応のアプリからのFeliCaチップへのデータの読み書きが中断されます。その際、読み書きされたデータが破棄されます。
- 電池パックを外した場合は、おサイフケータイ®をご利用いただけません。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- FeliCaアンテナは電池パックに内蔵されています。必ずIS11CA専用の電池パックを使用してください。
- おサイフケータイ®対応のアプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 機内モード設定中は、おサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。
- 充電中で、au ICカードが挿入されていない、一度も電波を受けていない場合は、おサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。
- 海外利用時では、充電中におサイフケータイ®によるデータの読み取りができません。

おサイフケータイ®のメニューを利用する

1 ホーム画面→ →[おサイフケータイ]

サービス一覧画面が表示されます。
サービスによっては、各プロバイダに接続して、画面の指示に従って登録および初期設定を行います。初期設定が完了すると、対応したサービスがご利用になれます。

2

3

おサイフケータイロック設定	▶P.156「おサイフケータイ®の機能をロックする」	
表示形式切替	表示モードを切り替えます。	
サービス一覧更新	サービス一覧画面を最新の状態に更新します。	
メモリ使用状況	おサイフケータイ®のメモリ使用状況を確認します。 最大999ブロックまで保存可能です。	
サポートメニュー	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	設定リセット	サービス一覧画面の表示設定をリセットします。 [はい]→[閉じる] • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

リーダー／ライターとやりとりする

FeliCaマークをリーダー／ライターにかざすだけでリーダー／ライターとやりとりできます。

- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。

- FeliCaマークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターにかざす際はゆっくりと近付けてください。
- FeliCaマークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、IS11CAを少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCaマークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、FeliCaマークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- LISMOを聴きながらリーダー／ライターにかざすと、スピーカーやイヤホンから雑音が聞こえる場合があります。

memo

◎おサイフケータイ®対応のアプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

◎本体の電源を切っていてもご利用いただけます。ただし、おサイフケータイ®ロック中はご利用いただけません。（▶P.156「おサイフケータイ®の機能をロックする」）

おサイフケータイ®の機能をロックする

「おサイフケータイ ロック設定」を利用すると、おサイフケータイ®対応サービス、FeliCaデータ受信の利用を制限できます。

1 ホーム画面→ →[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[おサイフケータイ ロック設定]

2

OFF	おサイフケータイ®ロックを解除します。	
ON	画面ロックと連動	画面ロック中に、おサイフケータイ®の機能をロックします。画面ロックを解除すると、おサイフケータイ®ロックも解除されます。
	常にON	おサイフケータイ®の機能を常にロックします。

memo

◎「おサイフケータイ ロック設定」を変更する際は、ロックNo.の入力が必要です。

◎おサイフケータイ®ロック中に電池が切れると、おサイフケータイ®ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後におサイフケータイ®ロックを解除してください。

◎おサイフケータイ®ロック中は、ステータスバーに が表示されます。

音声レコーダーを利用する

IS11CAで音声を録音できます。

1 ホーム画面→ →[音声レコーダー]

2

録音が開始されます。

3 ■

録音を終了します。
「保存」をタップすると、録音した内容をmicroSDメモリカードに保存します。
「破棄」をタップすると、録音した内容を破棄します。
▶ をタップすると、録音した内容を再生します。
● をタップすると、録音した内容をmicroSDメモリカードに保存して、新しく録音開始します。

memo

◎ microSDメモリカードがセットされていない場合、録音できません。
◎ 録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。

カレンダーを利用する

カレンダーを1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- カレンダーの利用にはExchangeアカウントまたはGoogle アカウントが必要です。初回利用時に表示されるアカウント追加画面でExchangeアカウントの場合は「コーポレート」、Google アカウントの場合は「Google」をタップします。
  Exchangeアカウントの設定については、画面に従って操作してください。
  Google アカウントの設定については、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」(▶P.174)を利用して、サーバに保存されたカレンダーとIS11CAのカレンダーを同期できます。

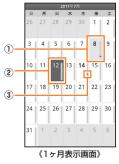
カレンダーを表示する

1 **ホーム画面→ ⊞ →[カレンダー]**

カレンダーが表示されます。
画面を上方向にスライド：翌月を表示（1ヶ月表示の場合）
画面を下方向にスライド：前月を表示（1ヶ月表示の場合）
画面を左方向にスライド：翌週／翌日を表示（1週間／1日表示の場合）
画面を右方向にスライド：前の週／前日を表示（1週間／1日表示の場合）

■カレンダーの内容について

① 選択されている日付
② 今日の日付
③ 予定
登録されている予定がある場合に表示されます。
登録した予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

《1ヶ月表示画面》

memo

◎ 1週間表示画面／1日表示画面の場合、現在時刻が赤線で表示されます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→▤

2

日	カレンダーの表示を1日表示に切り替えます。	
週	カレンダーの表示を1週間表示に切り替えます。	
月	カレンダーの表示を1ケ月表示に切り替えます。	
予定リスト	登録されている予定リストを表示します。	
今日	今日の日付を表示します。	
その他	予定を作成	予定を登録します。 ▶P.158「予定を新規登録する」
	カレンダー	登録されている内容をタップすると、カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
	設定	▶P.158「通知の設定について」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→▤→[その他]→[予定を作成]

2 各項目をタップして編集

タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	開始日時と終了日時、タイムゾーンを設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。 • 予定を終日に設定するには「終日」をタップします。
終了	
タイムゾーン	
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
カレンダー	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーをタップします。
ゲスト	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 • 複数入力することもできます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。 • ⊕／⊖をタップすると、通知設定を追加／削除できます。通知しない場合は通知設定を削除してください。

3 [完了]

memo

◎カレンダー画面で日付／時間をロングタッチ→[予定を作成]と操作しても予定を登録できます。

■通知の設定について

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面→▤→[その他]→[設定]

2

辞退した予定を非表示	辞退した予定を非表示にします。
自宅タイムゾーン	旅行中も自宅のタイムゾーンでカレンダーと予定時間を表示する場合は、「自宅タイムゾーン」を有効に設定して、自宅タイムゾーンをタップします。
通知方法	登録した予定を通知するときの方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の着信音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレータの動作を設定します。

デフォルトの通知時間	予定入力項目の「通知」にデフォルトで設定されている時間を設定します。
ビルドバージョン	ソフトウェアのバージョンが確認できます。

登録した予定を確認／編集する

1 **1ヶ月表示画面で予定の入っている日付をタップ**

2 **予定をタップ**

予定詳細画面が表示されます。

3 ▤

4

通知を追加	通知を追加します。 • ⊕／⊖をタップすると、通知設定を追加／削除できます。
予定を編集	登録した予定を編集します。
予定を削除	予定削除します。

memo

◎ 1週間表示画面／1日表示画面の場合、予定をタップするだけで予定詳細画面を表示できます。
◎ 予定詳細画面で登録した場所をタップすると、Google マップが起動し登録地周辺の地図が表示されます。場合によっては正しく表示されないことがあります。
◎ 表示されている予定をロングタッチすると、予定を表示／編集／削除／作成などの操作ができます。

時計を利用する

1 **ホーム画面→ ▦ →[時計]**

時計画面が表示されます。時計画面には、日付や曜日、「ニュースと天気」で設定した地域の天気予報も表示されます。
◐ をタップすると、バックライトが暗くなり、電池の消耗を抑制します。再度 ◐ をタップすると、バックライトが明るくなります。
▣ をタップすると、microSDメモリカードに保存されている静止画がスライドショーとして表示されます。↩ をタップするとスライドショーが停止し、時計画面に戻ります。
♫ をタップすると、「音楽」アプリケーションが起動して、音楽を再生できます。（▶P.131「音楽を聴く」）

アラームで指定した時刻をお知らせする

1 **時計画面→ ⏰**

アラーム一覧画面が表示され、画面下部には現在時刻が表示されます。

2 **[アラームの設定]**

3 **アラームの時刻を設定→[設定]**

アラームが動作するまでの時間が表示された後、アラーム設定画面が表示されます。

4

アラームをオンにする	アラームを有効にするかどうかを設定します。
時刻	設定時刻を変更できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音を設定できます。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

ラベル	設定したアラームにラベルを付けることができます。

5 **[完了]**

設定したアラームがアラーム画面の一覧に追加されます。

memo

◎アラームの設定時刻になると、アラームが動作し、メニューが表示されます。「停止」をタップすると、アラームを停止できます。「スヌーズ」をタップすると、10分後に再び動作します。

アラームの動作を設定する

1 **時計画面→**

アラーム一覧画面が表示されます。

2 **→[設定]**

3

マナーモード中のアラーム	マナーモード中にアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
ボリュームキーの動作	アラームが鳴っているときに◀／▶を押した場合の動作を設定します。

電卓で計算する

1 **ホーム画面→ →[電卓]**

電卓画面が表示されます。

数式が入力されている部分をタップすると、カーソルを移動できます。

「CLEAR」をタップすると、文字が消去されます。

「CLEAR」をロングタッチすると、表示されている内容がすべて消去されます。

／をタップすると、入力内容の履歴を確認できます。

memo

◎数式や計算結果をロングタッチすると、選択／切り取り／コピー／貼り付けなどができます

◎電卓画面で→[関数機能]／[標準機能]と操作すると、ボタンを関数機能／標準機能に切り替えることができます。

ボタンが表示されている部分を左右にフリックしても切り替えることができます。

◎電卓画面で→[履歴消去]と操作すると、入力内容の履歴を消去できます。

◎電卓がバックグラウンドで起動しているときは、OSの状態により電卓の計算結果や履歴がクリアされる場合があります。

パソコンと接続する

microSDメモリカードをセットしたIS11CAとパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続して、IS11CAにセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。
パソコンにIS11CAのUSBドライバがインストールされている場合は、パソコンの充電可能なUSBポートに接続することでIS11CAを充電できます。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
  auのホームページ：http://www.au.kddi.com/seihin/ichiran/shuhenkiki/usb_cable_win/usb_driver.html

memo

◎microSDメモリカード内のデータについては、「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」（▶P.163）をご参照ください。
◎USBドライバがインストールされていない状態で、パソコンにIS11CAを接続すると、正常に動作しない場合があります。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 IS11CAが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をIS11CAに接続→[OK]

外部メモリ転送モードでパソコンと接続され、IS11CAにセットしたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

■USB接続時の動作を変更する場合

3 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

4 [USB接続]

5

高速転送モード	▶P.162「高速転送モードでパソコンからデータを転送する」
外部メモリ転送モード	▶P.161「外部メモリ転送モードでパソコンと接続する」
USB PC Link	▶P.187「接続の準備をする」

memo

◎高速転送モードを使用するとモデムデバイスとして認識されますが、IS11CAはパソコンのモデムとして使用できませんのでご注意ください。
◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブル01（別売）を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
◎高速転送モードでデータ転送中には、機内モードになる場合があります。高速転送モード利用後に機内モードが解除されない場合は、手動で解除してください。
◎パソコンにIS11CAのUSBドライバがインストールされている場合は、パソコンの充電可能なUSBポートに接続すると、IS11CAのLEDランプが赤色に点灯し、充電されます。充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

■外部メモリ転送モードでパソコンと接続する

IS11CAをリムーバルディスクとして利用することができます。
あらかじめパソコンとIS11CAを接続し、外部メモリ転送モードにしてください。

1 外部メモリ転送モードでパソコンと接続

接続方法については、「パソコンと接続する（▶P.161）」をご参照ください。IS11CAにセットしたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

パソコンを操作することで、IS11CAをリムーバルディスクとして利用できるようになります。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送終了後、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS11CAを停止

4 microUSBケーブル01（別売）をIS11CAから取り外す

microUSBケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎マウント中は、IS11CAのアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作すると再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、外部メモリ転送モードを解除してから再度操作してください。

◎マウント中は、microSDメモリカードにインストールしたアプリケーションを起動することはできません。

■高速転送モードでパソコンからデータを転送する

LISMO Portを使うと、パソコンに読み込んだ音楽CDなどの曲を転送できます。LISMO Portは、auホームページからダウンロードできます。

LISMO Portを利用する場合は、あらかじめパソコンとIS11CAを接続し、高速転送モードにしてください。

1 高速転送モードでパソコンと接続

接続方法については、「パソコンと接続する（▶P.161）」をご参照ください。

2 LISMO Portで曲を転送

3 転送終了後、microUSBケーブル01（別売）をIS11CAから取り外す

microUSBケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。

◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。

◎著作権保護されていないデータでも、IS11CA以外で保存したデータは再生できない場合があります。

◎IS11CA以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、高速転送モードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードをIS11CAで初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードを初期化すると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

◎ファイル名は、全角／半角63文字（拡張子を含む）まで表示されます。

◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。

◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。microSDメモリカードの取り外し、ライセンス情報データの削除、初期化などを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は、次の2つがあります。

- IS11CAにmicroSDメモリカードをセットしたまま、IS11CAとパソコンを接続する方法（▶P.161「パソコンと接続する」）
- microSDメモリカードをIS11CAから外し、パソコンのmicroSDメモリカードリーダーにセットする方法

パソコンでmicroSDメモリカードを確認すると、次のように表示されます。

フォルダ	内容
Android	各種アプリケーションのデータを保存
DCIM	IS11CAで撮影したフォトデータを保存
documents	Quickofficeで表示できるOffice文書
download	IS11CAでダウンロードしたデータ（壁紙／音楽など）
PRIVATE	
PV	著作権保護機能対応データを保存
LISMO	LISMO関連
SD_VIDEO	IS11CAで録画したムービーデータを保存

memo

PV／LISMOフォルダについて

◎IS11CAから操作するためのフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。IS11CAでデータを正常に表示できなくなる可能性があります。

端末設定

設定メニューを表示する

1 ホーム画面→ [アプリ] →[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

《設定メニュー画面》

■ 設定メニュー項目一覧

項目	説明
個人設定	[ACTIVE] を長押ししたときに起動する機能や、着信音、壁紙を設定できます。 ▶P.167「個人設定をする」
無線とネットワーク	Wi-FiやBluetooth®接続、サイト閲覧時のフィルタリングなど、通信に関する設定を行います。 ▶P.167「無線とネットワークの設定をする」 • Wi-Fiについては「Wi-Fiを利用する」(▶P.184)、Bluetooth®通信については「Bluetooth®機能を利用する」(▶P.188)をご参照ください。
通話設定	通話時間の確認や留守番電話の設定など、通話に関する設定を行います。 ▶P.169「通話関連機能の設定をする」
音	マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータに関する設定を行います。 ▶P.170「音とバイブレータの設定をする」
表示	画面の明るさの設定やバックライトの点灯時間など、表示に関する設定を行います。 ▶P.170「画面とランプの設定をする」
ecoモード	ecoモードにすると、電池の消費を抑えることができます。 ▶P.171「ecoモードを設定する」
現在地情報とセキュリティ	GPS情報の使用やIS11CA使用時のセキュリティ方法について設定します。 ▶P.171「現在地情報とセキュリティの設定をする」
アプリケーション	IS11CAで使用するアプリケーションの管理などを行います。 ▶P.150「アプリケーションの設定をする」
アカウントと同期	アカウントの追加や、データの自動同期について設定します。 ▶P.174「アカウントと同期の設定をする」
プライバシー	バックアップと復元の設定や、IS11CAの初期化を行います。 ▶P.175「プライバシーを設定する」
ストレージ	microSDメモリカードの容量の確認や、microSDメモリカードの初期化を行います。 ▶P.176「ストレージの設定をする」
検索	サイトやIS11CA内の検索設定を行います。 ▶P.176「検索に関する設定をする」
言語とキーボード	IS11CAの言語や文字入力時の設定を行います。 ▶P.177「使用する言語やキーボードの設定をする」
音声入出力	テキストから音声への変換オプションを設定します。 ▶P.177「音声入出力の設定をする」
au one-ID設定	au one-IDについての設定を行います。 ▶P.178「au one-IDの設定をする」
ユーザー補助	ユーザー補助の設定を行います。 ▶P.178「ユーザー補助の設定をする」
日付と時刻	日付や時刻の設定を行います。 ▶P.179「日付と時刻を設定する」

項目	説明
端末情報	IS11CAのバージョンなどの情報を確認します。また、IS11CAのアップデートを行います。 ▶P.179「端末情報に関する設定をする」

個人設定をする

1 設定メニュー画面→[個人設定]

2

ACTIVEキー設定	ACTIVE を長押しすることで起動する機能を選択します。 ・「Active Slot」をタップすると、ACTIVE を長押しすることでActive Slot画面(▶P.56)が表示されます。 ・「Flashlight ON/OFF」をタップすると、ACTIVE を長押しすることでフラッシュライトを点灯します。もう一度、ACTIVE を長押しすると、フラッシュライトを消灯します。フラッシュライトは、最大で約5分経過すると自動的に消灯します。 ・「検索」をタップすると、ACTIVE を長押しすることでクイック検索ボックス画面(▶P.56)が表示されます。アプリケーションを利用中の場合は、アプリケーション独自の検索機能が表示される場合があります。 ・「OFF」をタップすると、ACTIVE を無効にします。
壁紙	ホーム画面の背景に表示する壁紙を変更できます。 ・「ギャラリー」をタップすると、microSDメモリカード内のデータを選択できます。 ・「ライブ壁紙」「壁紙」をタップすると、IS11CAにあらかじめ用意されている壁紙を選択できます。
着信音	着信音を設定します。 ・microSDメモリカードに保存されている音楽ファイルを着信音に設定する場合は、着信音の一覧で「SDカード」をタップしてください。

memo

ACTIVE の利用について

◎画面が消灯している場合でも、ACTIVE を長押しすると「ACTIVEキー設定」で選択した機能が起動します。
◎「画面ロック」(▶P.172)を「ON」に設定している場合は、画面が消灯しているときに ACTIVE を長押しすると、ロック解除画面が表示され、「ACTIVEキー設定」で選択した機能は起動しません。
◎通話中は、ACTIVE は無効です。

無線とネットワークの設定をする

機内モードを設定する

電話やメールなど、通信を利用する機能をすべて使用できないようにします。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[機内モード]

memo

◎ ⏻ (長押し)→[機内モード]と操作すると、機内モードの設定/解除を切り替えられます。
◎携帯電話の使用が禁止されている場所(航空機内、医療機器や電子機器のそばなど)では、電源をOFFにしてください。
◎機内モードを有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。
※電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。

◎機内モードを有効に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。

VPNを設定する

VPN（Virtual Private Network）は、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[VPN設定]

VPN設定画面が表示されます。

2 [VPNの追加]→VPNの種類をタップ

3 必要な項目を設定／入力

4 ▤→[保存]

■VPNに接続する

1 VPN設定画面でVPNをタップ

2 ユーザー名とパスワードを入力→[接続]

「ユーザー名を保存」を有効にすると、次回からユーザー名の入力が不要になります。

モバイルネットワーク設定をする

データ通信やローミング、auフェムトセルなどのネットワークを利用できるように設定します。

- データローミング、ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.209）をご参照ください。

■データ通信を設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]

◎データ通信を無効にすると、CDMA 1X WINでのパケット通信とEメール／Cメールの送信ができなくなります。

■auネットワークを設定する

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[auネットワーク設定]

2

高度な設定	設定を有効にする	「高度な設定」を有効にするかどうかを設定します。
	ID／パスワード設定	IDとパスワードを設定します。
au フェムトセルを探す	auフェムトセルを手動で検索します。	

◎通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にすると、データ通信を行えなくなる場合があります。
◎「高度な設定」を利用する場合はIDとパスワードが必要です。

フィルタリング設定をする

フィルタリング機能を有効に設定すると、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWEBページを遮断します。

1 設定メニュー画面→[無線とネットワーク]→[フィルタリング設定]

フィルタリング設定確認画面が表示されます。

2 [はい]

パスワードの入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力→[OK]

有効にする場合は、ここで任意のパスワードを設定します。確認のためもう一度設定したパスワードを入力してください。

無効にする場合は、有効にするときに設定したパスワードを入力してください。

memo

◎フィルタリング機能は、Wi-Fi接続時は無効です。
◎フィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、無効にするときに必要です。お忘れにならないようご注意ください。
◎フィルタリング設定が無効のときに表示したサイトは、フィルタリング設定を有効にしても表示されます。表示されないようにするには、ブラウザ設定の「キャッシュを消去」(▶P.117)を行ってください。

通話関連機能の設定をする

1 設定メニュー画面→[通話設定]

2

通話時間表示	▶P.169「通話時間を表示する」
発信者番号通知	▶P.169「発信者番号通知を設定する」
音声メモリスト	▶P.75「音声メモを再生する」
留守番電話	▶P.194「お留守番サービスを利用する(標準サービス)」
転送電話	▶P.199「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」
着信拒否	▶P.170「着信拒否を設定する」

通話時間を表示する

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[通話時間表示]

前回通話・累積の通話時間の目安、前回リセットした日時が表示されます。

memo

◎通話時間表示中に ▤ →[リセット]→ロックNo.を入力→[次へ]と操作すると、表示されている時間をリセットできます。
◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

発信者番号通知を設定する

自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[発信者番号通知]

memo

◎電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」を無効に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。
◎海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が通知されない場合があります。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音･バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面→[通話設定]→[着信拒否]→ロックNo.を入力→[次へ]

2

指定番号	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 **連絡先から登録する場合** **1. ▤→[編集]→[新規登録]→[電話帳引用]** **2. 連絡先を選択→電話番号を選択** **電話番号を入力して登録する場合** **1. ▤→[編集]→[新規登録]→[直接入力]** **2. 電話番号を入力→[確定]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	連絡先に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。

memo

◎着信を拒否した相手の方には、接続できなかったことを音声ガイダンスでお知らせします。

◎お留守番サービス（▶P.194）もしくは着信転送サービス（▶P.199）の無応答転送／フル転送を設定している場合は、着信を拒否してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。

◎割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

音とバイブレータの設定をする

1 設定メニュー画面→[音]

2

マナーモード	▶P.154「マナーモードを設定する」
バイブレータ	着信時のバイブレータを設定します。
音量	着信音、音楽や動画再生時、アラームなどの音量を設定します。 • ゲージをスライドして音量を調節します。 • 通話音量を変更する場合は、着信音、メディア再生音、アラーム音が鳴動しない画面で[◀]／[▶]を押してください。
着信音	着信音を設定します。
通知音	通知音を設定します。
タッチ操作音	ダイヤルキーのタッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
入力時バイブレーション	▤／⌂／↶などをタップしたときや特定の操作でのバイブレータを有効にするかどうかを設定します。

memo

◎microSDメモリカードに保存されている音楽データを着信音や通知音に設定できます。着信音／通知音の一覧で「SDカード」をタップしてください。

画面とランプの設定をする

1 設定メニュー画面→[表示]

2		
	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 ・「明るさを自動調整」に設定すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。 ・「明るさを自動調整」を解除すると、ゲージをスライドして明るさを調整できます。
	画面の自動回転	IS11CAの向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	アニメーション表示	画面が切り替わるときのアニメーション表示を設定します。
	バックライト消灯	画面バックライトを自動消灯するまでの時間を設定します。
	着信ランプ設定	着信やメール受信時にLEDランプを点滅させるかどうかを設定します。
	通知ランプ設定	不在着信や新着メールがある場合にLEDランプを点滅させるかどうかを設定します。

ecoモードを設定する

ecoモードにすると、電池の消費を抑えることができます。

1 設定メニュー画面→[ecoモード]

2

ecoモード		ecoモードにするかどうかを設定します。
ecoモードオプション設定	画面の明るさ	ecoモードにしたとき、画面を暗くするかどうかを設定します。
	バックライト消灯	ecoモードにしたとき、画面バックライトを自動消灯するまでの時間を設定します。
	BluetoothをOFFにする	ecoモードにしたとき、Bluetooth® 機能をOFFにするかどうかを設定します。
	Wi-FiをOFFにする	ecoモードにしたとき、Wi-FiをOFFにするかどうかを設定します。
	GPS機能をOFFにする	ecoモードにしたとき、GPS機能をOFFにするかどうかを設定します。
	同期を停止する	ecoモードにしたとき、同期を停止するかどうかを設定します。 ・「バックグラウンドデータ」と「自動同期」(▶P.174)がOFFになります。
	ライブ壁紙を停止する	ecoモードにしたとき、ライブ壁紙を停止するかどうかを設定します。 ・ホーム画面にライブ壁紙を表示していた場合、ecoモード中は静止画の壁紙が表示されます。

memo

◎ecoモードオプション設定はecoモードをONにしたタイミングで反映されます。すでにONになっている状態で変更しても反映されませんので、ご注意ください。

現在地情報とセキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]

2

無線ネットワークを使用	▶P.136「無線ネットワークを使用するには」
GPS機能を使用	▶P.136「GPS機能を使用するには」
画面ロック	▶P.172「画面ロックを設定する」
ロック解除方法選択	▶P.172「ロック解除の入力パターンを選択する」

ロックNo./ロック解除パターン/パスワード

指の軌跡を線で表示	ロック解除パターンの入力時に、指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。 ・「ロック解除方法選択」が「パターン」に設定されているときのみ表示されます。
入力時バイブレーション	~~ロックNo./ロック解除パターン~~の入力時に、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
おサイフケータイロック設定	▶P.156「おサイフケータイ®の機能をロックする」
UIMカードロック設定	▶P.173「UIMカードロックを設定する」
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	▶P.173「デバイス管理者を追加する」
安全な認証情報の使用	▶P.174「認証情報を使用する」
SDカードからインストール	▶P.174「認証情報をmicroSDメモリカードからインストールする」
パスワードの設定	▶P.173「認証情報のパスワードを設定する」
ストレージの消去	▶P.174「認証情報のストレージを消去する」

画面ロックを設定する

スリープモードになったときに、ロックがかかるように設定します。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]

2 [画面ロック]

■ロック解除時にパスワードを入力する場合
2 [パスワード]
3 新しいパスワードを入力→[次へ]
パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。
4 確認のためもう一度パスワードを入力→[OK]

ロックNo./ロック解除パターン/パスワード

memo

◎画面ロックを解除するには、ロックNo.の入力が必要です。
◎画面ロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）への電話はかけることができます。

ロック解除の入力パターンを選択する

ロックを解除する際に、~~ロックNo.とロック解除パターン~~のどちらを入力するかを選択します。同時に~~ロックNo.またはロック解除パターン~~の登録も行います。

ロックNo./ロック解除パターン/パスワード

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[ロック解除方法選択]→現在のロックNo.を入力→[次へ]

お買い上げ時のロックNo.は「1234」です。

■ロック解除時にロック解除パターンを入力する場合

2 [パターン]

初回設定時には、「携帯電話の保護」画面が表示され、セキュリティについての説明が表示されます。[次へ]を2回タップ→ロックNo.を入力→[次へ]と操作してください。

3 新しいロック解除パターンを入力→[次へ]

4 確認のためもう一度ロック解除パターンを入力→[確認]

■ロック解除時にロックNo.を入力する場合

2 [ロックNo.]

3 新しいロックNo.を入力→[次へ]

ロックNo.は、4～16桁のお好みの数字に設定できます。

4 確認のためもう一度ロックNo.を入力→[OK]

UIMカードロックを設定する

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、au ICカードにはPINコード機能があります。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[UIMカードロック設定]

2

UIMカードをロック	IS11CA起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力→[OK]**
UIM PIN変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードをロック」を有効に設定してください。 **古いPINコードを入力→[OK]→新しいPINコードを入力→[OK]→確認のためもう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

memo

◎古いPINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。(▶P.173「PINコードが一致しなかった場合」)

PINコードが一致しなかった場合

PINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

1 8桁のPINロック解除コードを入力→新しいPINコードを入力→確認のためもう一度新しいPINコードを入力→[OK]

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS11CAが再起動することがあります。

◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」(▶P.24)をご参照ください。

デバイス管理者を追加する

デバイス管理者が認証済みの場合に設定します。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[デバイス管理者を選択]

2 デバイス管理者をタップ

3 画面の指示に従って操作する

認証情報のパスワードを設定する

認証情報ストレージパスワードを設定します。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[パスワードの設定]

2 新しい認証情報ストレージパスワードを入力→確認のためもう一度新しい認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]

パスワードは8文字以上で設定してください。

memo

◎認証情報ストレージパスワードを設定済みの場合は、新しい認証情報ストレージパスワードを入力する前に、設定済みの元の認証情報ストレージパスワードを入力します。

認証情報を使用する

安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する設定をします。
認証情報を使用する場合は、事前に認証情報ストレージパスワード(▶P.173)を設定する必要があります。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[安全な認証情報の使用]

2 認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]

認証情報をmicroSDメモリカードからインストールする

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[SDカードからインストール]

複数のインストール証明書がmicroSDメモリカード内にある場合、インストール証明書を選択してください。

2 認証情報のパスワードを入力→[OK]

3 証明書の名前を指定→[OK]

認証情報ストレージパスワードを設定していない場合は、設定画面が表示されます。認証情報ストレージパスワードを設定してください。

認証情報のストレージを消去する

認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

1 設定メニュー画面→[現在地情報とセキュリティ]→[ストレージの消去]

注意のメッセージが表示されます。

2 [OK]

アカウントと同期の設定をする

アカウントと同期の基本設定や、手動同期を行います。また、アカウントを追加したり、登録済みのアカウントを削除できます。

- Exchangeサーバと同期する場合、グループが設定されている連絡先は同期されません。

同期の基本設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2

バックグラウンドデータ	IS11CAのアプリケーションが、いつでも自動的にデータ通信できるようにするかどうかを設定します。
自動同期	自動的にデータを同期するかどうかを設定します。 • 「アカウントを管理」の一覧に登録されたアカウント内の有効に設定された項目が自動同期されます。

手動で同期する

「自動同期」が無効のとき、登録されたアカウントを同期します。

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]

2 同期するアカウントをタップ

3 同期する項目をタップ

アカウントを追加／削除する

■アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントをタップ

3 画面の指示に従って操作する

■アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウントと同期]→削除するアカウントをタップ→[アカウントを削除]

2 [アカウントを削除]

memo

◎他のアプリケーションで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.175)が必要です。

プライバシーを設定する

バックアップと自動復元を設定する

1 設定メニュー画面→[プライバシー]

2

データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fiパスワード、その他の設定をGoogle サーバにバックアップするかどうかを設定します。
自動復元	バックアップ済みの設定やその他のデータをアプリケーションの再インストール時に復元するかどうかを設定します。

IS11CAを初期化する

1 設定メニュー画面→[プライバシー]→[データの初期化]

「SDカード内データを消去」をタップして有効にすると、microSDメモリカード内のすべてのデータも同時に削除されます。

2 [携帯電話をリセット]→ロックNo.を入力→[次へ]→[すべて消去]

memo

◎初期化を実行すると、本体内のすべてのデータが削除されます。削除されるデータには、次のものがあります。
- Google アカウント
- システムやアプリケーションのデータと設定
- ダウンロードして本体内(内部ストレージ)にインストールしたアプリケーション

◎初期化を実行しても、次のデータは削除されません。
- システムソフトウェアやIS11CAにあらかじめインストールされているアプリケーション
- IS11CAにあらかじめインストールされているショートカットアプリ
- おサイフケータイ®のデータ
- au ICカードのPINコード

ストレージの設定をする

microSDメモリカードの状態表示やデータ消去、内部メモリの状態表示ができます。

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2

合計容量 空き容量	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。 • メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。
SDカードをマウント／SDカードのマウント解除 SDカード内データを消去	▶P.176「microSDメモリカードを初期化する」
空き容量	本体の空き容量が確認できます。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータはすべて削除されます。

1 設定メニュー画面→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]→[OK]

2 [SDカード内データを消去]

3 [SDカード内データを消去]→ロックNo.を入力→[OK]→[すべて消去]

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、「SDカードをマウント」を選択してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。

検索に関する設定をする

検索方法の設定や検索履歴の管理を行います。

ウェブ検索の設定をする

1 設定メニュー画面→[検索]→[Google検索の設定]

2

入力候補の表示	検索キーワード入力時にGoogleの入力候補を表示するかどうかを設定します。
Googleと共有する	位置情報をGoogle サービスなどで使用するかどうかを設定します。
検索履歴	IS11CAにセットアップしたGoogle アカウント用にカスタマイズされた検索履歴を表示するかどうかを設定します。
検索履歴の管理	IS11CAにセットアップしたGoogle アカウント用にカスタマイズされた検索履歴を管理します。画面の指示に従って操作してください。

クイック検索ボックスの設定をする

■検索対象を設定する

クイック検索ボックスで検索する対象を選択します。

1 設定メニュー画面→[検索]→[検索対象]

2 対象に設定する項目をタップ

■検索結果へのショートカットを消去する

クイック検索ボックスで検索した結果へのショートカットをクリアします。

1 設定メニュー画面→[検索]→[ショートカットを消去]

2 [同意する]

使用する言語やキーボードの設定をする

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]

2

言語を選択	▶P.177「日本語と英語の表示を切り替える」
ATOK	▶P.66「ATOKを設定する」

日本語と英語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面→[言語とキーボード]→[言語を選択]

2 [English]/[日本語]

音声入出力の設定をする

音声認識装置やテキストから音声への変換オプションの設定をします。

1 設定メニュー画面→[音声入出力]

2

音声認識装置の設定	言語	音声入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声入力で検索する場合に、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのWEBページを規制するレベルを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な語句をブロックするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「既定のエンジン」「音声の速度」「言語」の設定に従って再生するかどうかを設定します。
	既定のエンジン	テキストを読み上げる場合に使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール	▶P.178「音声データをインストールする」
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	Pico TTSを設定します。 • Android マーケットからデータをインストールすることができます。

音声データをインストールする

テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声データをAndroid マーケットなどからダウンロードしてインストールする必要があります。

- Android マーケットの利用にはGoogle アカウントが必要です。詳しくは、「Google アカウントをセットアップする」(▶P.37)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[音声入出力]→[テキスト読み上げの設定]→[音声データをインストール]

Android マーケットに接続します。

初回接続時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。Android マーケットの検索結果画面が表示されます。

2 インストールするデータをタップ→[インストール]→[OK]

自動的に音声データのダウンロードを開始します。

ダウンロード完了後、音声データがmicroSDメモリカードにインストールされます。

memo

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

au one-IDの設定をする

au one-IDを設定します。auが提供しているさまざまなサービスを利用するためにはau one-IDが必要です。

1 設定メニュー画面→[au one-ID設定]

パケット通信に関する確認画面が表示されます。

「今後表示しない」を有効にすると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。

「au one-IDとは?」をタップするとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。

au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

ユーザー補助の設定をする

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。また、通話中に[電源キー]を押すと通話を終了するように設定できます。

お買い上げ時はオプションが登録されていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめオプションをAndroid マーケットなどからダウンロードして登録する必要があります。

オプションを登録後、以下の操作でオプションを設定します。

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

ユーザー補助アプリケーションをインストールするかどうかの確認画面が表示された場合は、「OK」を選択してユーザー補助アプリケーションをインストールしてください。

2

ユーザー補助	ユーザー補助オプションを利用するかどうか設定します。
電源キーで通話を終了	通話中に[電源キー]を押した場合に通話を終了するかどうかを設定します。

端末設定

日付と時刻を設定する

1 **設定メニュー画面→[日付と時刻]**

2

自動※1	ネットワークから通知される日付･時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
日付設定※2	日付を設定します。
タイムゾーンの選択※2	タイムゾーンを設定します。
時刻設定※2	時刻を設定します。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

※1 [海外(GSM)]設定時のみ選択できます。(▶P.210「エリアを設定する」)
※2 [自動]のチェックを外すと設定できます。

端末情報に関する設定をする

1 **設定メニュー画面→[端末情報]**

端末情報画面が表示されます。

2

ケータイアップデート	▶P.179「ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする」
メジャーアップデート	▶P.181「メジャーアップデート(OSの更新)をする」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
電池使用量	利用中の機能の電池使用量を項目ごとに表示します。 • 項目を選択すると、電池使用量の詳細が表示されます。 • 電池使用量を調整できる項目の場合は、詳細画面で設定ボタンをタップすると設定画面を表示できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。

memo

◎ 端末情報画面では、上記以外にモデル番号やソフトウェアのバージョンなどが確認できます。

ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする

IS11CAは、ケータイアップデートに対応しています。ケータイアップデートとは、IS11CAのソフトウェアを更新する機能です。
ケータイアップデートで、IS11CAのソフトウェアを更新する方法は次の通りです。なお、更新方法にかかわらず、ソフトウェアの更新前と更新後にIS11CAの再起動が必要です。自動更新型を設定している場合は、IS11CAが自動的に再起動します。

更新方法	内容
手動更新	ソフトウェアの更新が必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。 **更新が必要な場合：**ソフトウェア更新用データをダウンロードして更新※1 **更新が不要な場合：**そのまま引き続きご利用可能
自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新します。 **自動更新型：**お知らせを受信したときに自動的に更新※2 **ユーザー承認型：**お知らせを受信したときに確認画面を表示

※1 ダウンロード後すぐに更新せずに、IS11CAを使用しない夜間など、更新開始日時を指定して更新することもできます(予約更新)。
※2「自動設定」を「OFF」にすると、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[ケータイアップデート]

2

アップデート開始	IS11CAのソフトウェア更新が必要かどうかを確認します(手動更新)。「実行」を選択すると確認を開始します。 **すぐに更新する場合** **1. [実行]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。 **後で更新する場合(予約更新)** **1. [予約]** ソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了すると更新開始日時を設定する画面が表示されます。 **2. 日付、時刻を設定→[予約]** 更新開始日時に自動的にIS11CAが再起動してソフトウェアが更新されます。
自動設定	IS11CAが自動更新型の更新のお知らせを受信したときに、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、ソフトウェアを更新するかどうかを設定します。
予約時刻	設定されている更新開始日時を変更します。 • 「解除」を選択すると、予約更新は解除されます。

memo

◎ 更新開始日時は、現在時刻の10分後~更新ソフトウェアダウンロード日時の7日後まで設定できます。
◎ 予約更新を解除した場合は、IS11CAのソフトウェアを更新するために「アップデート開始」をもう一度実行してください。予約更新を解除した後で「アップデート開始」を実行する場合は、画面の指示に従ってIS11CAを再起動してください。

■ ご利用上の注意

• ソフトウェアの更新にかかる情報料・通信料は無料です。
• ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、IS11CAをより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS11CAをご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
• 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとケータイアップデートに失敗します。
• 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。
• ソフトウェアを更新しても、IS11CAに登録された各種データ(連絡先、メール、フォト、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、お客様のIS11CAの状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
• ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
• ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート開始」(▶P.180)によりケータイアップデートを実行し直してください。
• 「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

ケータイアップデート実行中は、次のことは行わないでください

• ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
• ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ケータイアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ケータイアップデートが実行できない場合などについて

- ケータイアップデートに失敗すると、IS11CAが使用できなくなる場合があります。IS11CAが使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■ 更新のお知らせ(自動更新型)が来ると

自動更新型の「ソフトウェア更新のお知らせ」を受信した場合は、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロードが完了するとソフトウェアが更新されます。

memo

◎「自動設定」を「OFF」に設定している場合は、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

■ 更新のお知らせ(ユーザー承認型)が来ると

ユーザー承認型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合は、確認画面が表示されます。

■ すぐに更新する場合

確認画面で「実行」を選択するとソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。

■ 後で更新する場合

確認画面で をタップすると、更新が中止されます。「アップデート開始」(▶P.180)によりケータイアップデートを実行し直してください。

メジャーアップデート(OSの更新)をする

メジャーアップデートでは、IS11CAのOSを更新できます。

1 設定メニュー画面→[端末情報]→[メジャーアップデート]

2

更新を開始する	アップデートの有無を確認して、OSのアップデートを実行します。 • アップデートのデータはmicroSDメモリカードに保存されます。あらかじめmicroSDメモリカードをセットしてください。
更新の確認	手動でアップデートの有無を確認します。 • 新しいバージョンがリリースされている旨のメッセージが表示された場合は、「OK」を選択するとブラウザが起動してメジャーアップデートの方法が表示されます。内容をご確認ください。
更新を定期的に確認する	アップデートの有無を定期的に自動で確認するかどうかを設定します。

Wi-Fi／データ通信

Wi-Fiを利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
Wi-Fiを利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN親機)をご用意ください。
◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-FiをONにする

1 ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi]

ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi]と操作しても、ONにできます。

アクセスポイントに接続する

1 ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-FiがONになっている場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 接続したいアクセスポイントをタップ

3 パスワードを入力→[接続]

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。
接続が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

memo

◎Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークに接続]→パスワードを入力→[接続]と操作しても、アクセスポイントに接続できます。
◎アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
◎お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

アクセスポイントを登録する

ご自宅などのアクセスポイントを登録する

■ らくらく無線スタートマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単設定]→[らくらく無線スタート]

2 [はい]

- アクセスポイントを検索し登録します。アクセスポイントのらくらくスタートボタン(SETスイッチ)をPOWERランプが緑色に点滅するまで押し続けてください。
- 登録が終了すると、確認画面が表示されます。

3 [OK]

■ WPSマークがあるアクセスポイントを登録する場合

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi簡単設定]→[WPS]

2

プッシュボタン方式	アクセスポイント機器(無線LAN親機)の専用ボタンを押すことで、登録します。
PINコード入力方式	表示されたPINコードをアクセスポイント機器(無線LAN親機)に入力して、登録します。

3 [はい]

- アクセスポイントを検索し登録します。プッシュボタン方式ではアクセスポイントのボタンを押し続けて、WPSモードに設定してください。
- 登録が終了すると、確認画面が表示されます。

4 [OK]

memo

◎アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。
◎Wi-Fi簡単設定で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fiネットワークを追加]

2 ネットワークSSIDを入力

3 設定したいセキュリティをタップ

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」、「WPA／WPA2 PSK」に設定した場合

4 パスワードを入力

「パスワードを表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

5 [保存]

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

4 必要な項目を設定／入力

5 [保存]

memo

◎手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
◎Wi-Fi設定画面→アクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークを変更]と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

アクセスポイントの優先順位を変更する

アクセスポイントに接続する際の優先順位を変更できます。

1 Wi-Fi設定画面→ ☰ →[優先順位の変更]

接続履歴のあるアクセスポイントの一覧が表示されます。

2 アクセスポイントを上下にドラッグして移動→[OK]

Wi-Fiを切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のアクセスポイントをタップ

2 [切断]

memo

◎Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作しても、Wi-Fi接続を切断できます。
◎切断すると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fiのネットワークを検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークの通知]

接続を一時停止するタイミングを設定する

1 Wi-Fi設定画面→ ☰ →[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 設定したいWi-Fiのスリープ設定をタップ

静的IPを使用して接続する

1 Wi-Fi設定画面→ ☰ →[詳細設定]→[静的IPを使用する]

2 設定したい項目をタップ→情報を入力→[OK]

PC Linkを利用する

microUSBケーブル01（別売）またはWi-FiでパソコンとIS11CAを接続すると、パソコン上にインストールした専用ソフトや、パソコンのWEBブラウザからIS11CAのデータを操作することができます。

■専用ソフトでできる操作

- パソコンとIS11CAのmicroSDメモリカードとの間でのファイルのコピー
- IS11CAの電話帳、メール、ブックマークのインポート／エクスポート
- 指定したWEBサイトをIS11CAで開く
- アプリケーションをIS11CAで検索

■WEBブラウザでできる操作

- IS11CAの電話帳、ブックマークの閲覧／編集
- IS11CAのギャラリーの閲覧

接続の準備をする

■ microUSBケーブル01（別売）で接続する場合

1 microUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続

接続方法については、「パソコンと接続する」（▶P.161）をご参照ください。

2 ホーム画面→ →［設定］→［無線とネットワーク］→［PC Link］

ホスト名が表示されます。ホスト名は変更することができます。

3 ［OK］

PC LinkがONになります。

4 ［PC Link設定］→［USB PC Link］

USB接続モードがUSB PC Linkになります。

memo

◎ microUSBケーブル01（別売）でパソコンと接続した後で、ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ→［USB接続］→［USB PC Link］→［OK］と操作しても、USB接続モードがUSB PC Linkになります。

■ Wi-Fiで接続する場合

1 Wi-Fiでパソコンと接続可能な状態にする

Wi-Fiについては、「Wi-Fiを利用する」（▶P.184）をご参照ください。

2 ホーム画面→ →［設定］→［無線とネットワーク］→［PC Link］

ホスト名が表示されます。ホスト名は変更することができます。

3 ［OK］

PC LinkがONになります。

専用ソフトでPC Linkを利用する

専用ソフトをご利用になる場合は、あらかじめパソコンに専用ソフトをインストールしてください。専用ソフトは下記のホームページからダウンロードできます。

http://k-tai.casio.jp/support/

1 接続の準備をする

「接続の準備をする」（▶P.187）をご参照ください。

2 パソコン上で専用ソフトを起動

3 専用ソフトを操作してホスト名を入力→ユーザー名／パスワードを設定

ホスト名は、ホーム画面→ →［設定］→［無線とネットワーク］→［PC Link設定］→［ホスト名変更］と操作すると確認できます。

4 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

5 [ユーザ登録通知]

6 IS11CAに表示されたIDと、パソコンで入力したユーザー名が同じか確認→[はい]→[OK]

専用ソフトからIS11CAのデータを操作できるようになります。

パソコンのWEBブラウザでPC Linkを利用する

1 接続の準備をする

「接続の準備をする」(▶P.187)をご参照ください。

2 パソコン上でWEBブラウザを起動

3 WEBブラウザを操作して接続URLにアクセス→ユーザー名／パスワードを設定

接続URLは、ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[PC Link設定]と操作すると、「接続URL表示」欄に表示されます。

4 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

通知パネルが表示されます。

5 [ユーザ登録通知]

6 IS11CAに表示されたユーザー名と、パソコンで入力したIDが同じか確認→[はい]→[OK]

WEBブラウザからIS11CAのデータを操作できるようになります。

PC Link設定をする

1 ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[PC Link設定]

2

項目	説明
PC Link	PC LinkのON／OFFを切り替えます。
USB PC Link	USB接続モードをUSB PC Linkに切り替えます。
接続URL表示	PC LinkでパソコンのWEBブラウザからIS11CAにアクセスする際に使用するURLが表示されています。
ホスト名変更	IS11CAのホスト名を変更します。
ユーザー名/Password初期化	PC LinkでパソコンからIS11CAにアクセスする際のユーザー名とパスワードを削除します。

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽などを聴くことができます。

memo

◎SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、カメラで撮影したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎IS11CAはすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証するものではありません。
◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
◎microUSBケーブル01（別売）などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中（ペアリング中）」、「データ送受信中」、「接続相手の検索中や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器とIS11CAの間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS11CAの間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、応答することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合はBluetooth®通信が終了します。
- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- IS11CAのBluetooth®機能は日本国内の無線規格およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile） Ver.1.0 OPP（Object Push Profile） SPP（Serial Port Profile） PBAP（Phone Book Access Profile）※3
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 連絡先データの内容によっては、相手の機器で正しく表示されない場合があります。

周波数帯について

IS11CAのBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHz～2.480GHzまでの周波数を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあるので、他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■Bluetooch®ご使用上の注意

IS11CAのBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. IS11CAを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、IS11CAと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS11CAの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 登録した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP （Headset Profile）	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。
HFP （Hands-Free Profile）	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP （Advanced Audio Distribution Profile）	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP （Audio／Video Remote Control Profile）	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP （Object Push Profile）	カーナビ、パソコンなどと連絡先データなどを送受信するためのプロファイルです。
SPP （Serial Port Profile）	仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続するためのプロファイルです。
PBAP （Phone Book Access Profile）	連絡先データを転送するためのプロファイルです。
OBEX （Object Exchange）	画像データや連絡先データのファイル交換を行うための規格です。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。IS11CAでは、4桁の数字を入力できます。
パスキー	パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS11CAおよびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS11CAでは、4～16桁の数字を入力できます。
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。

用語	説明
オーディオ出力対応機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 IS11CAでは、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®機能をONにする

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]と操作しても、ONにできます。

memo

◎ Bluetooth®通信を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth®機能をOFFにしてください。
◎ Bluetooth®機能のON／OFFは、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能はIS11CAの電源を切った状態では使用できません。

IS11CAを検出可能にする

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]→[検出可能]

IS11CAが他のBluetooth®対応機器から約120秒間、検出可能になります。
他のBluetooth®対応機器から検出されてペア設定リクエストを受けた場合は、画面の指示に従って操作すると、ペア設定を行うことができます。

Bluetooth®対応機器と接続する

Bluetooth®対応機器とペア設定を行う

IS11CAと初めて接続するBluetooth®対応機器の場合は、ペア設定を行ってください。一度ペア設定を行うと、設定はIS11CAに記憶されます。
ペア設定は、あらかじめ次の準備を行った後で実行してください。

- IS11CAのBluetooth®機能をONにしてください。
- ペア設定をするBluetooth®対応機器のBluetooth®機能をONにして、検出可能な設定にしてください。
- Bluetooth®対応機器をIS11CAから10m以内に設置してください。

1 ホーム画面→ [アイコン] →[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

Bluetooth設定画面が表示されます。
「Bluetooth端末」の一覧に、接続したい機器が表示されているときは操作3に進みます。

2 [デバイスのスキャン]

ペア設定済みの機器と、新たに検出された機器が「Bluetooth端末」の一覧に表示されます。

3 ペア設定を行いたい機器をタップ

4 IS11CAとBluetooth®対応機器で、それぞれ画面の指示に従って操作する

ペア設定が終了すると、「Bluetooth端末」の一覧の端末名の下に接続状態が表示されます。

memo

◎Bluetooth®対応機器を検出できなかった場合は、IS11CAを検出可能にしてから、「デバイスのスキャン」を行ってください。(▶P.191「IS11CAを検出可能にする」)

Bluetooth®通信でファイルを送信する

あらかじめIS11CAのBluetooth®機能をONにしてください。また、送信先のBluetooth®対応機器とペア設定を行ってください。

■ギャラリーからIS11CAで撮影したフォトを送信する場合

1 ホーム画面→ →[ギャラリー]

アルバム選択画面が表示されます。

2 アルバムを選択→送信したいフォトをタップ

3 →[共有]→[Bluetooth]

4 Bluetooth端末の一覧で送信先のBluetooth®対応機器をタップ

相手のBluetooth®対応機器によっては、受信を許可するなどの操作が必要な場合があります。
送信を完了するとステータスバーに が表示されます。

Bluetooth®通信でファイルを受信する

あらかじめIS11CAのBluetooth®機能をONにしてください。また、送信先のBluetooth®対応機器とペア設定を行ってください。

1 送信側のBluetooth®対応機器からファイルを送信する

ステータスバーにファイル着信を知らせる が表示されます。

2 ステータスバーを下向きにフリック／ドラッグ

3 [Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

受信を完了するとステータスバーに が表示されます。

Bluetooth®対応機器との接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続中の機器をタップ→[OK]

ペア設定を残したまま接続が解除されます。

◎ペア設定を解除する場合は、ペア設定済みの機器をロングタッチ→[ペアを解除]／[切断してペアを解除]と操作してください。

IS11CAの端末名を変更する

他のBluetooth®対応機器に表示されるIS11CAの端末名を変更できます。
あらかじめIS11CAのBluetooth®機能をONにしてください。

1 Bluetooth設定画面→[端末名]→端末名を変更→[OK]

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.99
	お留守番サービス(ボイスメール含む)	P.194
	着信転送サービス	P.199
	割込通話サービス	P.202
	発信番号表示サービス	P.204
	番号通知リクエストサービス	P.204
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.203
	迷惑電話撃退サービス	P.205
	通話明細分計サービス	P.206

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する(標準サービス)

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」(▶P.167)を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.199)は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.204)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.196)の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定(録音／確認／変更)、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 ホーム画面→ → [1][4][1]→

2 ガイダンスに従って操作

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合(留守番開始1)

1 ホーム画面→ → [1][4][1][1]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始1]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終了]

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合(留守番開始2)

1 ホーム画面→ → [1][4][1][3]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番開始2]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終了]

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、au電話の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合(無応答転送)
- 通話中にかかってきた場合(「留守番開始1」で開始した場合のみ)(話中転送)
- 着信中に →[着信転送]と操作した場合(選択転送)

memo

◎ お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。なお、お留守番サービスの応答時間は変更できません。

◎ お留守番サービスと着信転送サービス(▶P.199)を同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。

◎「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面→ → [1][4][1][0]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終了]

memo

◎ お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎ お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここでご説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS11CAのお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.197「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す

「⚹」: 録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→ [発信] →[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→ [発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールで確認できます。

伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報あり」に設定されていて、同じ電話番号から複数の伝言・ボイスメールをお預かりした場合は、最新の伝言・ボイスメールのみについてお知らせします。

◎お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は次の通りです。

発番情報なし:1件

発番情報あり:20件

◎伝言・ボイスメールをお預かりしてから約48時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.195)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、Cメールで確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.195)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→ →[1][4][1][7]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[留守番伝言再生]→[はい]でも同様に操作できます。
ホーム画面→ → をタップ、または[1]をロングタッチしても同様に操作できます。

2 [ダイヤルキー]→ガイダンスに従ってキー操作

「1」: 同じ伝言をもう一度聞く
「2」: 伝言を保存
「4」: 5秒間巻き戻して聞き直す
「5」: 伝言を一時停止(20秒間)※
「6」: 5秒間早送りして聞く
「9」: 伝言を消去
「0」: 伝言再生中の操作方法を聞く
「#」: 次の伝言を聞く
「＊」: 前の伝言を聞く
※[終了]以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [終了]

memo

◎お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.196)も同じものとして扱われます。
◎伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認/変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→ →[1][4][1][4]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 [ダイヤルキー]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[終了]

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 **［ダイヤルキー］→［2］→10秒以内で名前を録音→［#］→［#］→［終了］**

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 **［ダイヤルキー］→［3］→応答メッセージを確認→［終了］**

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 **［ダイヤルキー］→［7］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［終了］**

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。
◎録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。
◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
（▶P.197「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）

1 **ホーム画面→ →［1］［6］［1］［0］→**

2 **［終了］**

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。

蓄積停止を解除する

1 **ホーム画面→ →［1］［6］［1］［1］→**

2 **ガイダンスを確認→［終了］**

memo

◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS11CA以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 **090-4444-XXXXに電話をかける**

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS11CAの電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については、「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.23）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→ [通話] →[1][4][1][9][1]→ [通話]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終了]

memo

◎ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。
◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→ [通話] →[1][4][1][9][0]→ [通話]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終了]

memo

◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.194）を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.204）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
①話中転送　②選択転送　③無応答転送
◎無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS11CAまでの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS11CAから転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 ホーム画面→ →[1][4][2][2]＋転送先電話番号を入力→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→ →[1][4][2][1][2]→ と操作して設定できます。
◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。なお、着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎GSMローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、IS11CAの電源が入っていないときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 ホーム画面→ →[1][4][2][3]＋転送先電話番号を入力→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終了]

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→ →[1][4][2][1][3]→ と操作して設定できます。
◎話中転送と割込通話サービス（▶P.202）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎GSMローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 ホーム画面→ →[1][4][2][4]＋転送先電話番号を入力→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終了]

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→ →[1][4][2][1][4]→ と操作して設定できます。
◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS11CAは呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 ホーム画面→ →[1][4][2][5]＋転送先電話番号を入力→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[選択転送]→[はい]と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 [終了]

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→ →[1][4][2][1][5]→ と操作して設定できます。
◎着信中に →[着信転送]と操作すると、転送先電話番号に転送します。
◎「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

海外の電話へ転送する

001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面→ →転送の種類によって、それぞれの番号を入力→

[1][4][2][2]：無応答転送　[1][4][2][4]：フル転送
[1][4][2][3]：話中転送　[1][4][2][5]：選択転送

2 [ダイヤルキー]→転送先電話番号を入力

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

001国際アクセスコード	➡	国番号（アメリカ）	➡	市外局番	➡	転送先電話番号
001010		1		212		123XXXX

3 [終了]

◎001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面→ →[1][4][2][0]→

ホーム画面→ →[設定]→[通話設定]→[転送電話]→[転送停止]→[はい]でも同様に操作できます。

2 [終了]

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS11CA以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 **ご利用のIS11CAの電話番号を入力**

3 **暗証番号(4桁)を入力**

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

4 **ガイダンスに従って操作**

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始／停止)に設定し直してください。

◎IS11CAはデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 **ホーム画面→ →[1][4][5][1]→**

2 **[終了]**

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.204)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。

◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.205)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

◎「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 **ホーム画面→ →[1][4][5][0]→**

2 **[終了]**

memo

◎「最大3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

◎「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 **を右へドラッグ**

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
をタップするたびにAさん･Bさんとの通話を切り替えることができます。
「終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面→ →[1][4][5][2]＋相手先電話番号を入力→

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186／184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中→[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、→ をタップするとAさんとの通話に戻ります。

4

3人で通話できます。
をタップすると、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話中は、Cメールを送ることはできません。

◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号がお客様のIS11CAのディスプレイに表示されるサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号(IS11CAの電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。
◎発信者番号通知の設定方法については、「発信者番号通知を設定する」(▶P.169)をご参照ください。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS11CAのディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎お留守番サービス(▶P.194)、着信転送サービス(▶P.199)、割込通話サービス(▶P.202)、三者通話サービス(▶P.203)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.205)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面→ →[1][4][8][1]→**

2 **[終了]**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外(国際ローミングエリア)へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面→ →[1][4][8][0]→**

2 **[終了]**

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎ お留守番サービス(▶P.194)、着信転送サービス(▶P.199)、割込通話サービス(▶P.202)、三者通話サービス(▶P.203)、番号通知リクエストサービス(▶P.204)のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **ホーム画面→ →[1][4][4][2]→**

2 **[終了]**

memo

◎ 受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎ 電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。

◎次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で受信拒否リストに登録されていた相手から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1 ホーム画面→ →[1][4][4][8]→

2 [終了]

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎「エリア設定」(▶P.210)を「日本」以外に設定している場合は、ご利用になれません。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→ →[1][4][4][9]→

2 [終了]

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面→ →[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

海外利用

グローバルパスポートCDMA／GSM

GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用のIS11CAをそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。IS11CAは渡航先に合わせてGSMネットワークとCDMAネットワークのどちらでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、世界のGSMネットワークとCDMAネットワークで話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。グローバルパスポートGSM／グローバルパスポートCDMAのご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照いただくか、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎ GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声電話などをご利用いただくサービスです。

◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

■ ご利用イメージ

1. 国内では、auのネットワークでご利用になれます。
2. IS11CAの「エリア設定」（▶P.210）を行います。
3. 世界のGSM／CDMAネットワークでいつもの番号で話せます。
4. 帰国したら「エリア設定」（▶P.210）を「日本」へ戻します。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/service/kokusai/tokomae/

■IS11CAを盗難・紛失したら

- 海外でIS11CAを盗難・紛失された場合は、auショップもしくはお客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- IS11CAに挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.173「UIMカードロックを設定する」）

■海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料は、各種割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- パケット通信をご利用にならない場合は、「データ通信を有効にする」（▶P.168）を無効に設定してください。

海外利用に関する設定を行う

海外でIS11CAを利用するには、渡航先で接続する通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。

1. **ホーム画面→ →[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[PRL設定]**
2. **[PRLバージョンを更新する]**
   PRLを取得します。画面の指示に従って、PRLデータをダウンロードしてください。

memo

◎PRLデータをダウンロードする場合には、別途パケット通信料がかかります。
◎古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

エリアを設定する

IS11CAを使用するエリアを設定します。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[ローミング設定]→[エリア設定]

2

日本		日本国内でご利用になる場合に選択します。
海外（自動）		海外でCDMAネットワークとGSMネットワークをご利用になる場合に選択します。 ・接続先のネットワークは自動で選択されます。
海外（CDMA）		海外でCDMAネットワークをご利用になる場合に選択します。
海外（GSM）	ネットワークを検索	利用可能なすべてのGSMネットワークを検索します。
	自動選択	最適なGSMネットワークを自動的に選択します。

memo

◎「エリア設定」を「海外（自動）」「海外（CDMA）」に設定すると、滞在国選択画面が表示される場合があります。滞在国を選択してください。
◎パケット通信ができない場合は、「海外（GSM）」で「ネットワークを検索」をタップし、ネットワーク（事業者）を変更するとパケット通信ができる場合があります。

データローミングを設定する

ローミング中にパケット通信を利用できるように設定します。

1 ホーム画面→ [アプリ] →[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[データローミング]

「OK」をタップすると、データローミングが有効になります。

memo

◎データローミングを有効にするには、あらかじめ「エリア設定」（▶P.210）を「日本」以外に設定してください。
◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの利用料（利用月のみ月額525円）と別途通信料がかかります。
◎一部地域ではデータローミングを無効にしていても、パケット通信が可能な場合があります。パケット通信を利用しない場合は「データローミング」を無効にすると共に、「データ通信を有効にする」（▶P.168）を無効に設定してください。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

例：韓国からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→ [電話]

電話番号入力画面が表示されます。

2 国際アクセス番号、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→ [発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に渡航先の国際アクセス番号が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

海外利用

memo

◎電話をかける相手がグローバルパスポート利用者の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面→

電話番号入力画面が表示されます。

■ CDMAネットワークをご利用の場合

2 電話番号を入力→

CDMAネットワークをご利用の場合は、渡航先によって番号が異なります。

渡航先	番号
アメリカ本土、ハワイ、サイパン	「1」＋市外局番＋相手の電話番号
ニュージーランド、韓国、中国、香港、マカオ、タイ、台湾、インドネシア、ベトナム、イスラエル、インド、ペルー、バミューダ諸島、バングラデシュ、バハマ、ベネズエラ	市外局番＋相手の電話番号
メキシコ	**■ 市内通話の場合** 相手の電話番号 **■ 市外通話の場合** 「01」＋市外局番＋相手の電話番号

■ GSMネットワークをご利用の場合

2 市外局番＋相手の電話番号を入力→

memo

◎「エリア設定」（▶P.210）を「海外（自動）」に設定している場合は、電話をかける前に接続先のネットワークの種類を確認してください。
接続先のネットワークの種類は、ホーム画面→ →［設定］→［端末情報］→［端末の状態］と操作すると表示される画面の「モバイルネットワークの種類」で確認できます。

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

memo

◎渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合

渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

例：アメリカから日本国内のau電話「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、au電話の電話番号を入力→

付録・索引

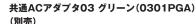
付録

周辺機器のご紹介

■ 電池パック（CAI11UAA）

■ φ3.5イヤホン延長ケーブル（試供品）

■ 共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売）
■ 共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売）
AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）
AC Adapter AO（0204PLA）（別売）
AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）
AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）
AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）
AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）
AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）
AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）
AC Adapter WORLD OF ALICE（LS1P004A）（別売）
AC Adapter KiiRoll（L01P005A）（別売）

■ 共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）

共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）

※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
※共通ACアダプタ01（別売）、共通ACアダプタ02（別売）で充電する際は、18芯-microUSB変換アダプタ01（別売）が必要です。
※共通ACアダプタ01は国内専用です。海外で充電する際は、上記（共通ACアダプタ01以外）の海外で使用可能なACアダプタを必ずご使用ください。

■ microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

※お使いのmicroUSBケーブルによりイラストと形状が異なることがあります。

■ auキャリングケースF ブラック（0105FCA）（別売）

■ microUSBモノラルイヤホン01（0301QLA）（別売）
■ microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（0301QVA）（別売）

※microUSBモノラルイヤホン01（別売）、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）をご使用の際は、アプリケーションによってはイヤホンのスイッチが動作しない場合があります。

■ 平型-microUSB変換アダプタ01（0301QXA）（別売）
■ 3.5φ-microUSB変換アダプタ01（0301QNA）（別売）
■ 18芯-microUSB変換アダプタ01（0301QYA）（別売）
■ 共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売）
■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）
■ ポータブル充電器01（0201PDA）（別売）
■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com

電池パックを交換する

電池パックは、IS11CA専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎電池パックの注意事項については、「電池パックについて」（▶P.16、▶P.21）をご参照ください。

■電池パックカバーを取り外すときのご注意

電池パックカバーを取り外すときは、右図の▨部（カメラ周辺）に指を強く押しつけながら電池パックカバーを引き上げないでください。極端に反らせた状態にすると、電池パックカバーが破損し、けがなどの原因となります。

電池パックを取り外す

電池パックを取り外すときは、本体の電源を切ってください。

1 バッテリーロックをFREE側にスライドする

2 **IS11CA本体の凹部から電池パックカバーを矢印の方向へ引き上げる**

3 **電池パックのPULLタブを持って、矢印の方向に引き上げて取り外す**

memo

◎電池パックを取り外すときは、PULLタブを持って上に引くようにしてください。PULLタブ以外から持ち上げようとすると、本体の接続部を破損するおそれがあります。
◎電池パックを取り外すときは、本体の電源をOFFにしてください。

電池パックを取り付ける

1 **バッテリーロックがFREE側になっていることを確認する**

2 **電池パックのPULLタブが電池パックの破線内に密着していることを確認し、IS11CA本体の接続部の位置を確かめて、電池パックを確実に押し込む**

3 **電池パックカバーの上端3箇所のツメを斜めにして本体の凹部へ入れ、電池パックカバーを閉じる**

4 電池パックカバーの図中○マーク位置8箇所を確実に押し、電池パックカバー全体に浮きがないことを確認してからバッテリーロックをLOCK側にスライドする

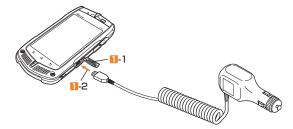
memo

◎ microSDメモリカード、au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。不完全な場合、microSDメモリカードやau ICカード、電池パックが破損するおそれがあります。
◎ 取り付け時に指定以外の取り付けかたをしますと、電池パックおよび電池パックカバー破損の原因となります。
◎ 電池パックカバーのツメが本体に乗り上げた状態で電池パックカバーを指で強く押し込むと、ツメが破損するおそれがあります。

共通DCアダプタ03（別売）を使用して充電する

電池パックをIS11CAに取り付けた状態で充電してください。

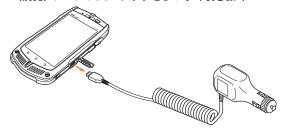
1 IS11CAに共通DCアダプタ03（別売）を接続する

外部接続端子キャップ（1-1）を開け、共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグを、先端の形状を確認して差し込みます（1-2）。

2 共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

IS11CAのLEDランプが赤色に点灯します。

充電時間は約210分です

IS11CAの電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
充電が完了すると、赤色に点灯していたLEDランプが消灯します。

3 **充電が終わったら、IS11CAから共通DCアダプタ03（別売）のmicroUSBプラグをまっすぐ引き抜く**

4 **IS11CAの外部接続端子キャップを閉じる**

5 **共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く**

イヤホンを使用する

イヤホン（市販品）を接続して使用します。

1 **IS11CAにイヤホン（市販品）を接続**

IS11CAのイヤホン端子キャップを開け、IS11CAにイヤホン（市販品）のコネクタを差し込みます。

memo

◎IS11CAのイヤホン端子にイヤホン（市販品）のコネクタを最後まで差し込めない場合は、φ3.5イヤホン延長ケーブル（試供品）を使用してイヤホン（市販品）をIS11CAに接続してください。

microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）を使用する

microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）とステレオイヤホン（市販品）を接続して使用します。

1 **IS11CAにmicroUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）を接続**

IS11CAの外部接続端子キャップを開け、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、平行に差し込みます。

2 **microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）にステレオイヤホン（市販品）を接続**

microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）にステレオイヤホン（市販品）のコネクタを差し込みます。

memo

◎microUSBモノラルイヤホン01（別売）を使用する場合は、microUSBモノラルイヤホン01（別売）のmicroUSBプラグをIS11CAの外部接続端子に接続してください。

◎microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）／microUSBモノラルイヤホン01（別売）のスイッチは、音声着信時と通話中のみご使用になれます。着信中にスイッチを押すと、通話が開始されます。通話中にスイッチを押すと、マイクがOFFになります。もう一度押すと、マイクがONになります。

通話を終了する

1 **通話を終了するときは、microUSBステレオイヤホン変換アダプタ01（別売）のスイッチを長押しする**

通話が終了します。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
[⏻]を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.34
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.216
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.19
	[⏻]を2秒以上長押ししていますか？	P.36
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.34
電源起動時のアニメーション表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.34
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.36
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.70
	電話番号入力後、をタップしていますか？	P.70
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.210
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.167
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.47
	サービスエリア外にいませんか？	P.47
	電源は入っていますか？	P.36
	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.210
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.170
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.167
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.199
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.47
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.33
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.210
Wi-Fiがつながらない	Wi-Fiの電波は十分に届いていますか？	P.48
	Wi-Fiの設定をしましたか？	P.184
ディスプレイ、LEDランプは点灯、点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.170
	マナーモードに設定されていませんか？	P.154
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.35
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.216
	録画サイズを「HD」に設定してムービーを起動していませんか？ 充電する場合は、ムービーを終了するか、録画サイズを「HD」以外に設定してください。	－
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.36
	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.172
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.36
おサイフケータイ®が使えない	電池が切れていませんか？	P.34
	「おサイフケータイ ロック設定」が設定されていませんか？	P.156
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.44
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.36
au ICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.39
	異なるau ICカードを挿入していませんか？	P.38 P.39
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.34
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※赤色のLEDランプが消灯するまで、充電してください。	P.34
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.17
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.47
	ecoモードを利用してください。	P.171

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときに受話口から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.47
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	バックライトを自動消灯するまでの時間が短く設定されていませんか？	P.171
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.171
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.70
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.33
画面が動かなくなり、どのキーをタップしても操作できない	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	P.36
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？通知がない場合は、電話帳に登録された画像は表示されず、電話帳に設定された着信音も鳴りません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.78
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.117
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.103
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.41
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.176
カメラが動作しない	microSDメモリカードはセットされていますか？	P.41
	電池残量が少なくなっていませんか？	P.34 P.121
	本体の温度が高くなっていませんか？	P.121

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

補修用性能部品について

当社はこのIS11CA本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはお客さまセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記お客さまセンターへお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　0077-7-113（通話料無料）
au電話からは　局番なしの113（通話料無料）

■auアフターサービスの内容について

<table>
<tr><th>サービス内容抜粋</th><th>安心ケータイサポート会員</th><th>無料会員</th></tr>
<tr><td>① 保証サービス
注:保証内の場合、無償修理</td><td>5年保証サービス</td><td>3年保証サービス</td></tr>
<tr><td>② 修理代金割引サービス
注:水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引</td><td>全額割引
(無料)</td><td>お客様負担額
5,250円(税込)</td></tr>
<tr><td>③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス
注:水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引</td><td>お客様負担額
5,250円(税込)</td><td>お客様負担額
10,500円(税込)</td></tr>
<tr><td rowspan="4">④ 紛失時あんしんサービス
注:盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引</td><td colspan="2">フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合</td></tr>
<tr><td>フルサポート解除料
全額免除</td><td>フルサポート解除料
お客様負担額
最大10,500円(税込)まで</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合</td></tr>
<tr><td>新しいau電話購入代金
最大18,900円(税込)
OFF</td><td>新しいau電話購入代金
最大6,300円(税込)OFF</td></tr>
<tr><td>⑤ 電池パック無料サービス</td><td>同一au電話を1年以上(または3年以上)継続利用することで電池パックを1個プレゼント</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>⑥ 無事故ポイントバック</td><td>同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1000ポイントプレゼント</td><td>なし</td></tr>
</table>

memo

修理代金割引サービス

◎水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。(合計2回まで)

◎電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年〜2年までの間、3年〜4年までの間の計2回(各1個の提供)となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

主な仕様

<table>
<tr><td rowspan="2" colspan="2">ディスプレイ</td><td>約3.6インチ、最大約6万5千色、IPS液晶</td></tr>
<tr><td>480×800ドット（ワイドVGA）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約155g（電池パック含む）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連続通話時間</td><td>国内</td><td>約450分</td></tr>
<tr><td>海外（GSM）</td><td>約440分</td></tr>
<tr><td>海外（CDMA）</td><td>約550分：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土／ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／バングラデシュ／バミューダ諸島／バハマ／ベネズエラ／香港
※対象国は2011年5月時点</td></tr>
<tr><td rowspan="4">連続待受時間</td><td rowspan="2">国内</td><td>約240時間（Wi-Fiを利用していないとき）</td></tr>
<tr><td>約130時間（Wi-Fiを利用しているとき）</td></tr>
<tr><td>海外（GSM）</td><td>約400時間</td></tr>
<tr><td>海外（CDMA）</td><td>約290時間：アメリカ本土／メキシコ／サイパン／中国本土
約400時間：ハワイ／韓国／台湾／インドネシア／イスラエル／インド／ベトナム／バングラデシュ／バハマ／香港
約500時間：ニュージーランド／タイ／マカオ／ペルー／バミューダ諸島／ベネズエラ
※対象国は2011年5月時点</td></tr>
<tr><td colspan="2">サイズ（幅×高さ×厚さ）</td><td>約66mm×129mm×14.5mm
（最厚部15.6mm）</td></tr>
</table>

memo

◎連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

■ 携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種IS11CAの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.533W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm)
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

- ○ 総務省のホームページ:
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- ○ 社団法人電波産業会のホームページ:
  http://www.arib-emf.org/index02.html
- ○ auのホームページ:
  http://www.au.kddi.com

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、2010年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(2011年3月現在)

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.59 inches (1.5 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.59 inches (1.5 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying

You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

Specific Absorption Rate (SAR) for Wireless Phones

The highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.90 W/kg, and when worn on the body, 0.70 W/kg.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID TYK-BHJ3994.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) web-site at http://www.ctia.org.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.
The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2W/kg, and when tested at the ear, the highest SAR value for this device was 0.699W/kg*.
As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.
The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/emf.

* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity for CDMA CAI11

The product "IS11CA" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://k-tai.casio.jp/ (Japanese only).

Safety Precautions

- The precautions must be observed at all times since they contain information intended to prevent the bodily injury or damage to property.
- The following describes the meaning of safety symbols and signal words.

Pictographs

⚠ DANGER	Indicates that death or serious bodily injury may result directly and immediately from improper use.
⚠ WARNING	Indicates that death or serious bodily injury may result from improper use.
⚠ CAUTION	Indicates that bodily injury and/or result from improper use.

Symbols

Don't	Indicates that it is prohibited.
No disassembly	Indicates that it must not be disassembled.
No wet hands	Indicates that you must not touch it with wet hands.
No liquids	Indicates that it must not be used near water, which means that you must not let it become wet.
Do	Indicates that it is an instruction-based compulsory conduct (must be acted).
Unplug	Indicates that you must unplug the power cord from the outlet.

Precautions for the Device, Battery Pack, Adapter and UIM (au IC-Card) (Common)

This product is designed to operate with AC adaptors limited to 6.2V, 1.5A maximum.

⚠ DANGER

Use the battery pack and adapter specified for the device.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns, injury or electric shock.

Do not use, keep or leave the devices in locations subject to high temperatures, such as near fire, indirect sunlight or inside a car on a hot day.
Doing so may cause fire, burns, or injury.

Do not put the devices in a microwave oven or pressurized container.
Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

Do not throw the device into fire.
Doing so may cause the device to ignite, explode, overheat or leak.

Do not place electrically conductive objects (wires, pencil leads, etc.) in contact with the external jacks. Do not insert those materials inside the terminal.
Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

Make sure to turn off the devices and stop charging before you get close to the places like a gas station where a flammable gas is generated.
Doing so may cause the gas to ignite. Turn off the power, when you use Osaifu-keitai at a gas station (if the IC card lock is set, turn the power off after the lock is released).

Do not disassemble or modify the equipment.
Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

WARNING

Do not throw the devices or expose it to strong shocks.
Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

When thunder is heard outside, stop using the devices immediately. Turn off handset and do not touch it.
Failing to do so may attract lightning and cause electric shock. When thunder is heard, stop using the devices and move to a safe place such as inside a building.

If the battery fails to charge in the specified time, stop charging immediately.
Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire.

When you play games or music with an earphone/microphone connected to the device, adjust the volume properly.
Too large a volume may lead to defective hearing. Also, hearing difficulties may cause an accident.

CAUTION

Do not leave the device in humid, dusty or hot places.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Do not leave the device on a slope or unstable surface.
The devices may fall and cause injury.

Keep the device out of young children's reach.
A young child may try to swallow it or suffer injury.

Do not touch the devices with sweaty hands or place it into a pocket of sweaty clothes.
Sweat and humidity may erode the internal components of the device and cause overheating or malfunction.

If something unusual happens, such as unusual odor, overheating, discoloration or deformation during use, charge or storage, be sure to:

- Unplug the power cord from the power outlet or the cigarette lighter socket.
- Turn off the power.
- Remove the battery pack.
- Contact your nearest au shop or Customer Center.

If you touch the warm part of these devices for a long period of time, it may cause redness, itch, skin irritation or low temperature burns depending on your constitution or physical condition.

When plugging/unplugging the AC adapter into/from the power outlet, make sure that no metallic straps or other metallic objects are caught between the plug and the socket.
Metallic objects may cause fire, burns or electric shock.

Precautions for the Device

Be careful when using the device while driving.
A penalty may be imposed for holding a mobile phone while driving. When you need to receive a call, tell the caller that you will call back later using hands-free functions, then pull off the road before using the phone.

Please turn off your device when inside an airplane.

If the display or camera lens is broken, be careful with the broken glass and any exposed the device parts.
A protective film is used for the display to avoid glass scattering. However, touching broken or exposed parts may cause injury.

Radio waves emitted by the device may adversely affect implanted pacemakers and ICDs when used in close proximity.

1. A person with an implantable cardiac pacemaker or defibrillator should use or carry the device at a distance more than 22 cm from the site of implantation.
2. Turn off the power in crowded places such as peak-hour trains if implanted electronic medical devices may be in use near you.
3. Take care of the following inside hospitals.
   - Do not take your devices into an operating room, intensive care unit (ICU), or coronary care unit (CCU).
   - Turn off the power inside hospital wards. If the Auto power function is set, make sure to disable the function before turning off the power.
   - Turn off the power even in hospital lobbies, waiting rooms, and corridors if electronic medical devices may be in use near you.
   - For use inside medical institutions, please follow the instructions given at individual locations
4. Electronic medical devices other than implanted pacemakers and ICDs may also be used outside hospitals. Users of electronic medical devices are advised to ask the manufacturer whether these instruments can be affected by radio waves.

Please turn off the power near electronic equipment that contains high-precision mechanisms or handles delicate signals.

The terminal may interfere with the operation of sensitive electronic equipment.

* Electronic equipment to watch out for: Hearing aids, implanted cardiac pacemakers, ICDs and other electronic medical devices; fire alarms, automatic doors, and other automatically controlled apparatus.

Users of implanted cardiac pacemakers, ICDs, and other electronic medical devices are advised to ask the manufacturer or sales agent whether or not these devices can be affected by radio waves.

Do not turn on the light near a person's eyes.

The light may affect eyesight. Also, this may dazzle or surprise him/her and cause injury.

Do not turn on the light against the car drivers, etc.

Doing so may interfere with driving and cause a traffic accident.

Do not direct the infrared data port towards your or another person's eyes.

Doing so may cause eye injury.

Do not direct the infrared data port towards consumer equipment with infrared devices during infrared communication.

Doing so may cause malfunction of the infrared devices and result in an accident.

CAUTION

Before using your devices in a vehicle, ask the manufacturer or sales agent whether the operation of the vehicle can be affected by radio waves.

In some types of vehicle, using the devices may interfere with the operation of the vehicle's electronic equipment. In this case, stop using the devices immediately.

There may be cases where the customer's physical condition or predisposition leads to itchiness, rashes, or sores. If this occurs, immediately stop using the devices and see a doctor.

Do not let magnetic cards, etc. come close to the devices.

The magnetic data in cash cards, credit cards, telephone cards, floppy disks, etc. may be erased.

Keep the external connector (earphone/microphone terminal) cap closed when not in use.

Doing so may cause malfunction due to dust or water getting in.

Do not put fluids such as water or substances such as pieces of metal or flammable materials into the UIM (au IC-Card) slot or microSD card slot inside of the devices.

Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

Do not swing the device by its strap or other parts.

The device may strike you or others around you, resulting bodily injury.

Before using the device, make sure that no metal objects (such as pins) are stuck to the earpiece or speaker.
Failing to do so may result in a metal object causing an ear or head injury, etc.

If you have a weak heart, take precautions when setting the Vibrator or Ring volume.
Failure to observe this precaution may affect your heart.

Precautions for the Battery Pack

Read the separate manuals supplied with the device and adapter carefully.

DANGER

Check the orientation of the battery pack before attaching it. If you have difficulty attaching it to the device, do not put excessive pressure on the battery.
Failure to observe this precaution may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Do not puncture the battery pack, hit it with a hammer or step on it.
Doing so may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Do not place metal items such as wires in contact with the charging terminals. Also, do not carry or store the battery with metal items such as necklaces.
Doing so may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Never use the battery pack if it has fallen to have something abnormal such as deformation and damage.
Failure to observe this precaution may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Do not allow the devices to become wet with liquids, such as water, drinking water or pet urine.

Do not use or charge the wet battery pack.
Doing so may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Do not touch the power cord of the adapter or the power outlet with wet hands.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

If the battery pack leaks, do not touch battery fluid with your face, hands, etc.
Failure to observe this precaution may cause loss of eyesight or damage to your skin. If the battery fluid comes into your eyes or mouth or it adheres to your skin or clothing, immediately rinse with clean water. In the case that it comes into contact with your eyes or mouth, see a doctor immediately after rinsing.

If the battery pack leaks or emits an unusual odor, stop using it immediately and move it away from any flame or fire.
The battery fluid is flammable and could ignite, causing a fire or explosion.

The battery pack is consumable. Battery life varies depending on usage conditions, etc., but it is time to change battery packs when the usage time has become extremely short even though the battery pack has been fully recharged. In this case, please purchase a new battery pack.

Keep your pets away from the battery pack as they may accidentally bite it.
Failure to observe this precaution may cause the battery pack to ignite, explode, overheat or leak.

Precautions for the Adapter

⚠ WARNING

Use the specified voltage and current. Use the AC Adapter for Global Use to charge the battery overseas.
Using the adapters with incorrect voltage may cause fire, burns or electric shock.
AC Adapter: AC 100V
DC Adapter: DC 12V/24V (specific to vehicle with negative ground)
AC Adapter for Global Use: AC 100V to 240V (household AC outlet only)

When plugging the AC adapter into the power outlet, make sure to insert it firmly.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns or electric shock.

If the fuse in the DC adapter blows, always replace it with the specified type of fuse.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns or electric shock. Refer to the respective manuals for the information on the specified fuse.

Do not put heavy objects on the power cord of the adapter.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Do not use the adapter if its power cord is damaged.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Do not let the charging terminals contact with your body (hand, finger, etc.).
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Do not touch the adapter when you see lightning or hear thunder.
Doing so may cause electric shock.

Unplug the adapter from the power outlet or cigarette lighter socket before cleaning it. Also, wipe off any dust on the plug.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns or electric shock.

Do not allow the devices to become wet with liquids, such as water, drinking water or pet urine.
Doing so may cause fire, burns, injury or electric shock.

Do not touch the power cord of the adapter or the power outlet with wet hands.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Unplug the adapter from the power outlet or cigarette lighter socket when the adapter will be left unused for a long period.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns or electric shock.

CAUTION

Do not cover or wrap the devices with bedding, etc. while in use or charging.
Doing so may cause fire or burns.

Always grasp the plug when unplugging the adapter from the power outlet or cigarette lighter socket. Do not pull the cord itself.
Failure to observe this precaution may cause fire, burns or electric shock.

Do not use the DC adapter to charge the battery when the car engine is not running.
Doing so may drain the car battery.

Do not leave the devices in humid, dusty or hot places.
Doing so may cause fire, burns or electric shock.

Precautions for the UIM (au IC-Card)

CAUTION

Be careful with sharp edges when removing the UIM (au IC-Card).
Sharp edges may cause injury.

Use only the UIM (au IC-Card) designated for device.
Failing to do so may cause date loss or malfunction.

Do not use or leave the UIM (au IC-Card) in hot places such as near a fire or heater.
Doing so may cause a malfunction.

Do not damage, scratch, unnecessarily touch, or short-circuit the IC.
Doing so may cause data loss or malfunction.

Do not drop the UIM (au IC-Card) or expose it to strong shocks.
Doing so may cause malfunction.

Do not bend the UIM (au IC-Card) or place a heavy object on it.
Doing so may cause malfunction.

Do not allow the UIM (au IC-Card) to get wet or leave it in places of high humidity.
Doing so may cause a malfunction.

Avoid storing the UIM (au IC-Card) in direct sunlight or hot and humid places.
Failing to do so may cause a malfunction.

Handling Precautions

General Notes

- The IS11CA is water resistance/dust resistance, however, do not allow water to seep in or dust to get in the device. Also, do not allow accessories and optional items to get wet or be exposed to dust. The accessories and optional items are not water resistance/dust resistance. Do not use them in humid locations such as bathrooms, and avoid exposing them rain. If you carry the device close to your skin, sweat may cause internal components to corrode and result in malfunction. The device cannot be repaired in the following cases: the water exposure detection sticker shows water exposure; tests determine that corrosion has occurred due to water exposure, condensation, or perspiration. These cases are not covered by the warranty, and any repairs that may be possible will be carried out at the subscriber's expense.
- Do not put excessive pressure on the device or battery. Do not put the device in a bag filled with many objects or sit down with it in a hip pocket. Excessive pressure may result in malfunction or damage to the LCD, internal circuit or the battery pack.
- Avoid using the device in extremely high or low temperatures. The ambient temperature of the room should be 5°C to 35°C with humidity of 35% to 90%.
- Occasionally clean the connection terminals with a dry cotton bud, etc. Soiled connectors may result in poor connections, loss of power, or incomplete charging. Wipe with dry cloth or cotton swab. When cleaning, take care not to damage connectors.
- Wipe with a soft, dry cloth (such as a cloth designed for glasses). Never use chemicals such as alcohol, thinners, benzene or detergents as these agents may erase the printing on the device or cause discoloration.
- Reception may be affected if you use your device near a landline phone, television, or radio in use. Use the device away from such devices.
- It is normal for the device to become warm while being used or charged. This is not a malfunction. Keep using it.
- Do not remove the battery while the device power is on to avoid malfunction.
- If your child uses the device, instruct him/her on how to use it. Check if he/she always uses the device correctly as you instruct. Improper usage could result in bodily injury.

Handling the Device

- Do not drop the device or expose it to strong shocks. Doing so may cause malfunction or damage.
- Do not scratch the display with metallic objects. Doing so may cause scratches, malfunction or damage.
- Do not put a sticker, etc. on the display and keys. Doing so may cause malfunction.

- Please keep a separate record of the information you have registered in your device.
- When connecting an external device to the external connector, do not insert at an angle or pull the cord. Doing so may cause malfunction or damage.
- When using the device public places, take care not to annoy other people around you.
- Do not place the device near an air conditioning vent. Condensation may form due to rapid changes in temperature, and this may cause internal corrosion and malfunction.
- Make sure to hold the device at a safe distance from your ear when you use the hands-free mode or the ring tone sounds.
- Do not remove the microSD card or turn off the power while in use. Doing so may cause data loss or malfunction.
- Do not leave the camera exposed to direct sunlight. Doing so may discolor or burn the components of the camera.
- Be sure to observe proper etiquette when using the camera.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.

■ Handling the Battery Pack

- Be sure to charge the battery before using the device for the first time or if the device has not been used for long time.
- Do not dispose of used battery packs with ordinary garbage. Doing so may cause fire and create an environmental hazard. Put insulation tape on the terminals of used battery pack and return it to your nearest au shop, or dispose of the battery pack in accordance with your local regulations.
- Depending on the usage condition, the battery pack may inflate slightly when the battery life is almost over. This is not a malfunction.

■ Handling the Adapter

- The ambient temperature of the room should be 5°C to 35°C.

■ Copyrights

- Do not commercially use or transfer pictures taken with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.

■ Handling the UIM (au IC-Card)

- To preserve the environment, bring discarded UIM (au IC-Card) to au shop or PiPit.
- Do not apply excessive force to the UIM (au IC-Card) when attaching/removing it.
- Note that the warranty does not cover damage caused by inserting the UIM (au IC-Card) into another type of IC card reader or writer.
- Always keep the IC part clean. Wipe with a soft, dry cloth (such as eyeglass cloth).
- Do not put a label or sticker on the UIM (au IC-Card).

名前から引く索引

数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

SNS（ソーシャルネットワークサービス）やチャットを利用する

Wi-Fiを利用する

アプリケーションを入手する

インターネットにアクセスする

音声を録音する

海外で利用する

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示／再生する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。(米国輸出規制により、以下の国々に本製品を持ち込むことはできません。(2011年4月現在)キューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリア)

U.S law and international agreements currently prohibit export of this device's browser and security technology to the following countries-Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria. (Other restrictions regarding this device may apply.)

microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® operating system です。
Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
Adobe Flash Player Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Flash、およびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Android マーケットおよびAndroid マーケット ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴ、Google マップおよびGoogle マップ ロゴ、Google マップ ナビおよびGoogle マップ ナビ ロゴ、Google 音声検索およびGoogle 音声検索 ロゴ、Google LatitudeおよびGoogle Latitude ロゴ、Google プレイスおよびGoogle プレイス ロゴ、Google トークおよびGoogle トーク ロゴ、Picasaは、Google Inc.の商標または登録商標です。

「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

らくらく無線スタートはＮＥＣアクセステクニカ株式会社の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。
「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合

- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

- 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。

① 本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
② 本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
③ 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
④ 本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
GPL、LGPLは、ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

T9®はNuance Communications, Inc.，および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

emblendは、日本及びその他の国におけるアプリックス又は関連会社の商標です。

「G'zOne」はカシオ計算機株式会社の登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ''AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

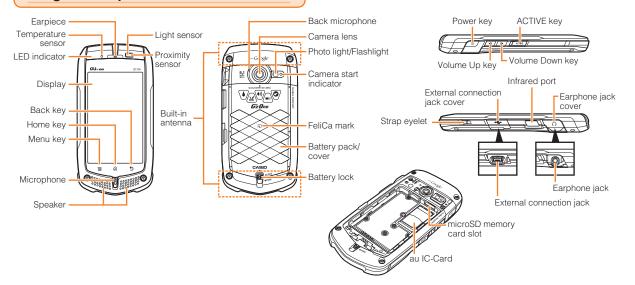
【OpenSSL License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ''AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

English Simple Manual（簡易英語版）

IS11CA au by KDDI

Turning Power On and Off

● **Turning Power On**

Hold down [⏻] for at least a few seconds.

● **Turning Power Off**

Hold down [⏻] for at least a few seconds. ▶ Tap “Power off” ▶ “OK”.

Switching the Screen to English

On the Home screen: Tap [▦] ▶ “設定”(Settings) ▶ “言語とキーボード” (Language & keyboard) ▶ “言語を選択” (Select language) ▶ “English”.

Checking Your Own Phone Number

On the Home screen: Tap [▦] ▶ “Settings” ▶ “About phone” ▶ “Status”.

Making and Answering a Call

● **Making a Call**

On the Home screen: Tap [phone icon]. ▶ Enter the phone number you want to call. ▶Tap [phone icon].

To end a call: Tap “End”.

● **Answering a Call**

When the phone starts ringing, drag [icon] to the right.

To adjust the earpiece volume during a call: Use [◄]/[►].

Storing and Recalling Address Book Entries

● **Storing an Entry**

On the Home screen: Tap [menu icon] ▶ “Contacts” ▶ [+].

▶ Enter the data. ▶ Tap “Save”.

● **Recalling an Entry**

On the Home screen: Tap [menu icon] ▶ “Contacts”.

▶ Tap the entry you want to view the detail.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● **Recording a Movie Clip**

On the Home screen: Tap [menu icon] ▶ “Camcorder”.

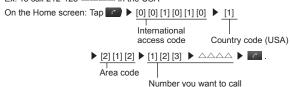
▶ Tap [icon] to start recording. ▶ Tap [icon] to stop recording.

● **Taking a Snapshot**

On the Home screen: Tap [menu icon] ▶ “Camera”.

▶ Tap [icon] to take a snapshot.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

Other Handy Features

● **Setting the Silent Mode**

On the Home screen: Tap [menu icon] ▶ “Settings” ▶ “Sound” ▶ “Silent mode”.

Repeat the above operation to disable the Silent Mode.

For inquiries, call: Customer Center

For general information

● If you are calling from a landline phone: [フリーコール] 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

For repairs, loss or theft

● If you are calling from a landline phone: [フリーコール] 0077-7-113 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 113 (toll free)

簡易英語

中文简易说明书（簡易中国語版）

IS11CA au by KDDI

开启或切断电源

● **开启电源**

按住［⏻］几秒钟。

● **切断电源**

按住［⏻］几秒钟。▶轻按“Power off”（关闭电源）▶“OK”（是）。

切换到英语显示

在首页屏幕上：轻按 ▶“設定”（设定）▶“言語とキーボード”（语言和键盘）▶“言語を選択”（选择语言）▶“English”（英文）。

检查您自己的电话号码

在首页屏幕上：轻按 ▶“Settings”（设定）▶“About phone”（关于手机）▶“Status”（状态）。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

在首页屏幕上: 轻按 。 ▶输入您想要拨打的电话号码。

▶轻按 。

结束通话:轻按“End”(结束)。

● **接听电话**

在电话铃声响起时, 将 拖曳到右侧。

调整听筒音量:使用 / 。

保存和查看电话簿内的名单

● **保存名单**

在首页屏幕上: 轻按 ▶“Contacts”(联系人) ▶ 。

▶输入数据。▶轻按“Save”(保存)。

● **查看名单**

在首页屏幕上: 轻按 ▶“Contacts”(联系人)。

▶轻按名单查看详细内容。

使用照相机(视频和快照)

● **拍摄视频**

在首页屏幕上: 轻按 ▶“Camcorder”(视频)。

▶轻按 开始拍摄。▶轻按 停止拍摄。

● **拍摄快照**

在首页屏幕上: 轻按 ▶“Camera”(照片)。

▶轻按 拍摄快照。

拨打国际长途电话

举例:想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△

其他手机功能

● **设置静音模式**

在首页屏幕上: 轻按 ▶“Settings”(设定)▶“Sound”(声音)

▶“Silent mode”(静音模式)。

想要取消静音模式,则重复上述步骤。

如需咨询,请致询:客户中心

综合信息

● 从座机上请拨打电话 : 0077-7-111（免费）

● 从au手机上请拨打电话 :157（免费）

维修、挂失、失窃

● 从座机上请拨打电话 : 0077-7-113（免费）

● 从au手机上请拨打电话 :113（免费）

文字入力の詳細情報

■記号一覧

分類																	
一般	#(半角)	＆	@(半角)	：	?(半角)	‥	―	®	†	§	★	◎	○	□	▲	▷	◀
	＃	*(半角)	＠	!(半角)	？	…	¦	ª	‡	※	◯	◐	◇	■	▽	▶	♤
	&(半角)	＊	:(半角)	！	・	〜	©	º	¶	☆	●	◑	◆	△	▼	◁	♠
	◇	♥	〒	☞	°	♩	♯										
	◆	♧	☎	√	・	♪	♭										
	♡	♣	♨	⊿	〓	♬											
矢印	→	↓	↖	⇨	⇩												
	←	↗	↙	⇦													
	↑	↘	⇆	⇧													
括弧	‘	“	[(半角)	］	}(半角)	〉	«	」	【	〛							
	’	〔	［	{(半角)	｝	《	»	『	】								
	”	〕	](半角)	｛	〈	》	「	』	〚								
罫線	─	┐	├	┴	┃	┛	┳	╋	┨	┝	┸						
	│	┘	┬	┼	┏	┗	┫	┠	┷	┰	╂						
	┌	└	┤	━	┓	┣	┻	┯	┿	┥							
学術	+(半角)	−	±	≠	≈	＜	≦	≫	⊂	⊅	∈	∪	⊗	⇒	∠	¬(半角)	∽
	＋	×	=(半角)	≒	≡	>(半角)	≧	∧	⊃	⊆	∋	∩	∅	⇔	⊥	￢	∝
	-(半角)	÷	＝	≅	<(半角)	＞	≪	∨	⊄	⊇	∉	⊕	∥	↔	∟	⌒	∞
	♂	∬	∴	∀	∇												
	♀	∮	∵	∃	ℵ												
	∫	∑	√	∂													
単位	°	℃	$(半角)	￠	€	％	ℓ	㌢	㌧	㍑	㌦	㍊	㎝	㎏	㎠	㎣	㎦
	′	¥(半角)	＄	£(半角)	¤	‰	㍉	㍍	㌃	㍗	㌣	㌻	㎞	㏄	㎡	㎤	
	″	￥	¢(半角)	￡	%(半角)	Å	㌔	㌘	㌶	㌍	㌫	㎜	㎎	㎟	㎢	㎥	
他	№	™	㈹	㍼	⅓	¾	③	⑥	⑨	⑫	⑮	⑱					
	㏍	㈱	㍾	㍻	⅔	①	④	⑦	⑩	⑬	⑯	⑲					
	℡	㈲	㍽	½	¼	②	⑤	⑧	⑪	⑭	⑰	⑳					

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■顔文字一覧

分類														
笑	(^-^)	(^o^)	(^^)/	(^O^)	(*^^*)	(^-^*)	(^—^)	(*^o^*)	(^_^)V	o(^o^)o	ヽ(^o^)ノ	(^｡^)	(*^^)v	(o^^o)
	(^_^)	(*^_^*)	(^_-)	(~o~)	(*⌒▽⌒*)	(^.^)	o(^-^)o	(^^)v	(^_^)ゞ	ヾ(´ｖ｀)k	ヽ(^｡^)ノ	(●´ｏ｀●)	>^_^<	(´艸｀)
	(^^)	(^_^)/	(^_^)v	!(^^)!	(*^▽^*)	(^O^)v	(#^_^#)	(*^｡^*)	(^〇^)	ヽ(^0^)ノ	(^_^)ノ	(^・^)	(^_^)b	(^^)/
	(^o^)ノ	(^0^)	ヾ(^^)	(*^—^)	(*^—゜)	ヾ(≧▽≦)	(o゜▽゜)o	＼(^_^)	(o^-^)	(*´∀｀)	(^^)	(^-^)	(●´∀｀●)	
	(*^-^*)	(^^*)	(≧▽≦)	(ノ^^)ノ	(*´▽｀*)	＼(^^)	(^—^*)	(@^▽^@)	(￣▽￣)	(^^)	o(^▽^)o	(^_^)	o(^-^)	
	(*^O^*)	(´ー｀)	(*'▽'*)	(≧∀≦)	(*゜▽゜)ノ	(○´∀｀○)	(・∀・)	(*^^)	(≧▽≦*)	(´▽｀)	(〃'▽'〃)	(^o^)	(●´ω｀●)	
汗	(^｡^;)	(@_@)	(^-^;	(*_*;	(゜o゜;	(>_<)ヽ	(>_<)ゞ	(;_・)	(V_V)	(^o^;	(^^ゞ	σ(^◇^;)	(゜〇゜;)	(゜◇゜)
	(^_^;)	(+_;)	(/_;)	(^-^;)	(;O;)	(^.^;	(^0^;)	(^_^;	;^_^)	(^◇^;)	(・_・;)	(◎-◎;)	^^;	(・・;)
	(^^;)	(*_*)	(>_<)	σ(^_^;	(+_+)	(;_;)	(・_・;)	(~｡~;)?	(?_?;	(・_;)	(..;)	(><@)	^_^;	(・・;)
	(゜Д゜)	(゜Д゜;)	(°°)	(≧◇≦)	(゜Д゜)	(*゜ロ゜)								
	(゜o゜;)	(゜∀゜)	(゜ロ゜)	(；´Д｀)	(゜∀゜ゞ)	(o・д・)								
	(゜ω゜)	(°°;)	(￣｡￣;)	(´Д｀)	(*゜д゜*)									
泣	(T_T)	(;_;)	(;_;)/~~~	(:_;)	>_<	(ToT)/~~~	(+_+)	(×_×)	(ToT)	(｡・・)	(≧Д≦)	＿｜￣｜○		
	(>_<)	(/_;)	(>.<)	(+o+)	(; ;)	(T.T)	(・_;)	(T-T)	(´・ω・｀)	(>_<)	(｡・ω・｡)	(ノД｀)		
	(>o<)	(*_*)	(x_x)	(>｡<)	(;.;)	(T^T)	(・_・、)	(´д｀)	(>_<)	(｡・・｡)	orz	｡゜(゜´Д｀゜)゜｡		
怒	(-_-#)	(-.-;)	(-.-)	(￣0￣)	-_-#	(｀´)	(--)	(--;)	(-_-)	(￣△￣)				
	(-_-)	(-.-#)	(-_-;)	(￣･￣)	(-｡-;)	(｀ε´)	(｀Д´)	(゜Д゜)	ヽ(゜Д゜)ノ	(-｡-)				
	(--;)	(-_-#)ﾋﾟｸｯ	(--#)	(-o-;)	(｀_´)	｀_´	(-o-)	(-.-)	(*｀Д´*)	(-_-)o				
他	(-_-)zzz	m(_ _)m	_(^_^)_	(@_@)	(_ _)/ﾊﾝｾｲ	(☆｡☆)	■D＼(^^	(-.-)y-゜゜	(-.-)y-゜゜゜	(__)	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ	(^.^)/~~~	(;￢_￢)	<m(__)m>
	(^x^)	<(_ _)>	(^^)/~~~	(^-^)_旦~	(-.-)y-~~	(p_-)	▽・w・▽	(-_-)ｼﾞｯ	(^_-)-☆	(+｡+)ｱﾁｬｰ｡	o(^-^)oﾜｸﾜｸ	(^з^)-☆	(^з^)-☆Chu!!	m(__)m
	(゜◇゜)ｶﾞｰﾝ	_(._.)_	(^_^)/~	(._.)φ	(>_<)	(^∧^)	σ(^_^)	(=^..^=)ﾐｬｰ	φ(..)	(-｡-)y-゜゜゜	(^｡^)y-゜゜゜	(¨ ¨)＼(゜゜)	(^_^)ノ	(^o^)/~~~
	(^.^)))~~~bye!!	(___ ___)	(o_ _)o	(*´Д｀*)	(・∀・)	＿｜￣｜○								
	(_ _)	(*・ω・)ノ	(・ω・)	(・д・)	(゜Д゜)	(￣○￣)								
	☆彡	(-.-)	(・_・)	(｀・ω・´)	orz	(´д｀)								
横	:-)	:)	:-<	:-#	:-O	:-V	;^)	[:-)	8-O					
	:-/	:-]	:-<>	:-*	:-P	:-X	(:-)	{:-)	｡-)					
	:-(	:-{}	:->	:-@	:-Q	:^D	):-(	8->	•-)					

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■ 絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）

- ●異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- ●マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。
- ●他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。
  パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html
  ※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

《お客様各位》

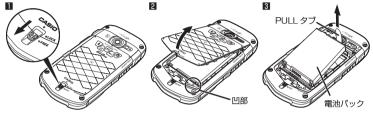
このたびは、G'zOne IS11CAをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

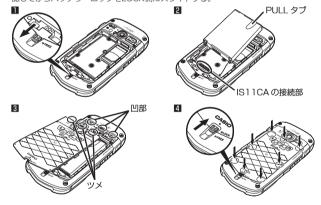
電池パックカバーを取り外すときのご注意

電池パックカバーを取り外すときは、右図の部（カメラ周辺）に指を強く押しつけながら電池パックカバーを引き上げないでください。
極端に反らせた状態にすると、電池パックカバーが破損し、けがなどの原因となります。

電池パックの交換のしかたについて

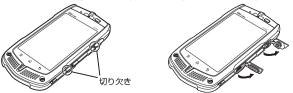
■取り外しかた

1. バッテリーロックをFREE側にスライドする。
2. IS11CA本体の凹部から電池パックカバーを矢印の方向へ引き上げる。
3. 電池パックのPULLタブを持って、矢印の方向へ引き上げて取り外す。

■取り付けかた

1. バッテリーロックがFREE側になっていることを確認する。
2. 電池パックのPULLタブが電池パックの破線内に密着していることを確認し、IS11CA本体の接続部の位置を確かめて、電池パックを確実に押し込む。
3. 電池パックカバーの上端3箇所のツメを斜めにして本体の凹部へ入れ、電池パックカバーを閉じる。
4. 電池パックカバーの図中○マーク位置8箇所を確実に押し、電池パックカバー全体に浮きがないことを確認してからバッテリーロックをLOCK側にスライドする。

防水性能について

- 外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップをしっかりと閉じ、電池パックカバーは完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- お風呂場／キッチンなどの水場や雨の中で水に濡れたり、送話口、受話口に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行って乾燥させてください。
  乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。
  詳細については『取扱説明書』の「防水・防塵・耐衝撃性能のご注意」／「快適にお使いいただくために」／「水に濡れたときの水抜きについて」をご参照ください。

外部接続端子キャップ／イヤホン端子キャップの開けかたについて

外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップは下図のとおり、切り欠きより正しく開けてください。

※ 上記以外の開けかたをすると、キャップを破損し、防水性能が損なわれます。

長時間ご使用時には本体が温かくなりますのでご注意ください

ブラウザ使用中や通話、カメラ機能などを繰り返し長時間使用した場合や充電用機器を接続中には、本体の一部が温かくなることがありますが故障ではありません。

● 長時間触れていると低温やけどの原因になる場合がありますのでご注意ください。

ディスプレイ取扱上のご注意

IS11CAのディスプレイパネルには強化ガラスを使用しています。破損してしまった場合、破損部でけがをするおそれがあります。
万一、破損の際には破損部に手を触れずにauショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

HDムービーご利用時のご注意

● ムービーを起動中に録画サイズを「HD」に設定していると、充電できません。充電する場合は、ムービーを終了するか、録画サイズを「HD」以外に設定してください。
● HDムービーを起動中は消費電力が大きいため、電池パックのご利用可能時間が短くなります。
● HDムービーを起動中に電池残量が減少した場合は、早めにHDムービーを終了し、充電することをおすすめします。そのままHDムービーをご利用になると、電源OFFになる可能性がありますのでご注意ください。
● microSDメモリカードの状態によっては、正常にムービーを録画できない場合や、ムービー再生時に音声の音飛びや映像のコマ落ちなどが発生し、正常に再生できない場合があります。

電池パックのご利用時間について

各機能を組み合わせてご利用することにより、ご利用可能な連続通話時間(または連続待受時間)は短くなります。

<例>HDムービー録画ご利用による連続通話時間(または連続待受時間)の変化(目安)

電池パック容量の使用の割合(イメージ図)	HDムービー録画ご利用時間※	連続通話時間(連続待受時間の場合)
連続通話(または連続待受)	0分	約450分(約240時間)
	約60分	約225分(約120時間)
HDムービー録画	約96分	約90分(約48時間)

満充電された電池パックでのHDムービー連続録画時間の目安は約120分です。

※数値は次の条件でのメーカーによる計測値です。実際の録画条件や環境によってご利用時間は変動するものであり、保証するものではありません。
- 新品の電池パックを使用し、常温にて電波の強さ(受信電界)強( )/画面の明るさ「ゲージの中央」/撮影ライト「OFF」の条件で連続録画した場合の時間です。なお、連続待受時間についてはWi-Fi「OFF」の条件での時間です。

● 充電用機器はau指定のものをご使用ください。指定外の充電用機器を使用した場合、ご利用可能な時間は短くなります。
● バックライト消灯時間が長く設定されていたり、明るさを通常より明るく設定している場合、ご利用可能な時間は短くなります。

ecoモードについて

● IS11CAには、電池の消費を抑えるための「ecoモード」があります。
ecoモードにすると、画面の明るさやバックライト、ホーム画面の壁紙が、電池の消費を軽減する設定に変更されます。また、ecoモードオプション設定を変更すると、ecoモード中にBluetooth®機能や、Wi-Fi、GPS 機能、同期を停止させて、電池の消費を抑えることができます。
詳しくは、取扱説明書の「ecoモードを設定する」をご参照ください。
● ecoモードを設定するには、ホーム画面→ →[設定]→[ecoモード]→[ecoモード]をタップしてecoモード設定を有効にします。

電池消費の軽減について

● IS11CAは複数のアプリケーションを同時に使用することができます。
現在起動しているアプリケーションの他に、その前に使用していたアプリケーションも画面上では見えませんが、バックグラウンドではまだ終了していない場合があります。
バックグラウンドでアプリケーションが起動していることで、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。こまめに終了することで、電池の消費を抑えることができます。
ホーム画面で をロングタッチすると起動中のアプリ一覧画面が表示されます。

発売元:KDDI(株)　沖縄セルラー電話(株)
再生紙を使用しています。
製造元:カシオ計算機株式会社
2011年5月第1版　MDT-000162-JJA0

お客様各位

このたびは、G' zOne IS11CAをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

2011年8月のケータイアップデートによって、取扱説明書の内容を下記の通り変更させていただきます。

■ P.58「ロックを解除する」

説明文を以下へ変更いたします。

画面ロック（▶P.172）を解除するときや、重要な操作を行うときは、ロックNo.／ロック解除パターン／パスワードの入力を求められます。（▶P.23「ご利用いただく各種暗証番号について」）
お買い上げ時の設定ではロックNo.の入力を求められますが、「ロック解除方法選択」（▶P.172）の設定を変更すると、ロック解除パターン／パスワードを使用できます。

以下の操作説明を追加いたします。

■ パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な操作をする
パスワード入力画面が表示されます。

2 パスワードを入力→[OK]

memoを以下へ変更いたします。

◎ロックNo.／ロック解除パターン／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」をタップし、入力可能になったら再入力してください。

■ P.99「Cメールを利用する」

memoを削除いたします。

memo

◎Cメールは機能拡張が予定されています。機能拡張の内容と対応時期については、auホームページでお知らせします。

■ P.99「Cメールを作成して送信する」

手順3を以下へ変更いたします。

3「メッセージを入力」欄をタップ→本文を入力
本文は全角70／半角140文字まで入力できます。

memoへ以下を追加いたします。

◎全角51／半角101文字以上のCメールは、送信先によっては分割されて2通のCメールとして受信されます。

memoを以下へ変更いたします。

◎送信するCメールの文字数、相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
はい：Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
いいえ：Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールはスレッドに保存されます。

■ P.100「Cメールを受信する」

memoへ以下を追加いたします。

◎全角51／半角101文字以上のCメールは、分割され2通のCメールとして受信します。

■ P.102「Cメール安心ブロック機能を設定する」

説明文を以下へ変更いたします。

■ Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「ご指定の相手へは送信できません」とエラーメッセージが表示され、送信はされません。

■ P.172「現在地情報とセキュリティの設定をする」

手順2「入力時バイブレーション」の説明文を以下へ変更いたします。

2

入力時バイブレーション	ロックNo.／ロック解除パターン／パスワードの入力時に、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。

■ P.172「ロック解除の入力パターンを選択する」

説明文を以下へ変更いたします。

ロックを解除する際にロックNo.／ロック解除パターン／パスワードのどちらを入力するかを選択します。同時にロックNo.／ロック解除パターン／パスワードの登録も行います。

以下の操作説明を追加いたします。

■ ロック解除時にパスワードを入力する場合

2 [パスワード]

3 新しいパスワードを入力→[次へ]
パスワードは、4～16桁のお好みの英数字･記号に設定できます。

4 確認のためもう一度パスワードを入力→[OK]

■ P.236「名前から引く索引」

「は行」へ以下を追加いたします。

取扱説明書の記載内容に誤りがございましたので、下記の通り変更させていただきます。

■ P.99「Cメールを作成して送信する」

memoより以下を削除いたします。

◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。

以上

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

使い終わったケータイに入ったデータは、バックアップや消去がしっかりとできるので安心です。

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは
フリーコール 0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合は下記の番号にお電話ください。（通話料無料）

フリーコール 0120-977-033（沖縄を除く地域）
フリーコール 0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。お近くのauショップへお持ちください。

携帯電話•PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

MDT-000162-JAA1
2011年6月第2版

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：カシオ計算機株式会社